

昭島市 市民意識調査  
報告書

令和8年1月  
昭島市



# 目次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査設計	1
4.	回収結果	1
5.	地区別回収結果	2
6.	報告書の見方	3
II	調査回答者の属性	5
III	調査票と単純集計結果	7
IV	調査結果	
1	定住意向	
(1)	居住年数	23
(2)	定住意向	26
(3)	住み続けたい理由	31
(4)	住み続けたいと思わない理由	34
2	昭島市への愛着度	
(1)	ふるさととしての愛着度	35
(2)	親しみや愛着を持っていない理由	37
(3)	暮らしの満足度	38
(4)	満足していない理由	40
3	災害対策	
(1)	災害に対する対策	41
(2)	災害に対する備え	43
(3)	市が災害対策としてすべきこと	45
4	防犯	
(1)	住んでいる地域の治安（防犯）への安心	47
5	地域活動・自治会	
(1)	行っている地域活動	49
(2)	地域での人と人とのつながりづくりの必要性	52
(3)	自治会への加入状況	54
(4)	自治会活動で重要だと思うもの	57

6	生涯学習	
	(1) スポーツの頻度	59
	(2) 音楽・演劇・美術などの鑑賞	61
	(3) 図書館の利用頻度	63
	(4) 図書館を利用していない理由	65
7	学校教育	
	(1) 学校教育の充実すべき取り組み	67
8	環境	
	(1) 気候変動への対応策	69
	(2) 地球温暖化問題への取り組み	71
	(3) ごみ減量化への取り組み	73
	(4) 水と緑に関する市民活動	74
9	昭島の水道水	
	(1) 水道水の飲用状況	76
10	都市景観	
	(1) 昭島のまちなみや景観に対する意識	79
11	少子化	
	(1) 子育てをしやすい環境づくりに必要なこと	81
12	広報	
	(1) 市に関わる情報の入手方法	83
13	デジタル化	
	(1) 利用したい昭島市のインターネットサービス	85
	(2) デジタル施策の優先度	87
14	男女共同参画	
	(1) 男女の立場または待遇	89
15	市政	
	(1) 昭島の魅力	98
	(2) 魅力あるまちづくりへの施策	101
	(3) 行政サービスの水準と負担	104
	(4) 市政への市民の声の反映	106
	(5) 市政への参画・協働	108
16	市役所	
	(1) 市役所の窓口サービスについての評価	110
	(2) 窓口サービスが悪いと感じた理由	112

# I 調査の概要



## 1. 調査目的

市政に関する市民の意識・意見・要望等を把握し、今後の行政施策の参考資料とするものである。

## 2. 調査項目

昭島市 市民意識調査は、次のテーマについて調査した。

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| (1) 定住意向 (Q5～Q8)       | (10) 昭島の水道水 (Q30)    |
| (2) 昭島市への愛着度 (Q9～Q10)  | (11) 都市景観 (Q31)      |
| (3) 暮らしの満足度 (Q11～Q12)  | (12) 少子高齢化 (Q32)     |
| (4) 災害対策 (Q13～Q15)     | (13) 広報 (Q33)        |
| (5) 防犯 (Q16)           | (14) デジタル化 (Q34～Q35) |
| (6) 地域活動・自治会 (Q17～Q20) | (15) 男女共同参画 (Q36)    |
| (7) 生涯学習 (Q21～Q24)     | (16) 市政 (Q37～Q41)    |
| (8) 学校教育 (Q25)         | (17) 市役所 (Q42～Q43)   |
| (9) 環境 (Q26～Q29)       |                      |

## 3. 調査設計

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| (1) 調査地域 | 昭島市全域                   |
| (2) 調査対象 | 昭島市在住の満16歳以上の個人         |
| (3) 標本数  | 2,000人(男女各1,000人)       |
| (4) 抽出方法 | 昭島市住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収又はインターネット回答    |
| (6) 調査期間 | 令和7年9月10日(水)～9月30日(火)   |

※層化二段無作為抽出法とは、地域をいくつかのブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査地域及び住民基本台帳を利用して(二段)、地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

## 4. 回収結果

- |           |        |
|-----------|--------|
| (1) 標本数   | 2,000人 |
| (2) 有効回収数 | 1,321人 |
| (3) 有効回収率 | 66.1%  |



## 6. 報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答の比率を合計しても100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%とならないことがある。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示している。
- (5) 性・年齢などの属性、または、他の質問項目とのクロス集計の分析(帯グラフや表)において、無回答を除いているため、各項目の合計が全体の合計(n)と一致しないことがある。
- (6) クロス集計による分析では、分析軸の項目のうち、件数が30未満の項目については、全体結果と比率に大きな差がある選択肢があっても、本文中にふれていないことがある。
- (7) 割合の表記については、以下のとおりとする。

表記	約4割(4割)	4割以上	4割半ば	5割近く	約5割(5割)
範囲	39.0~41.0% (40.0%)	41.1~43.9%	44.0~46.0%	46.1~48.9%	49.0~51.0% (50.0%)

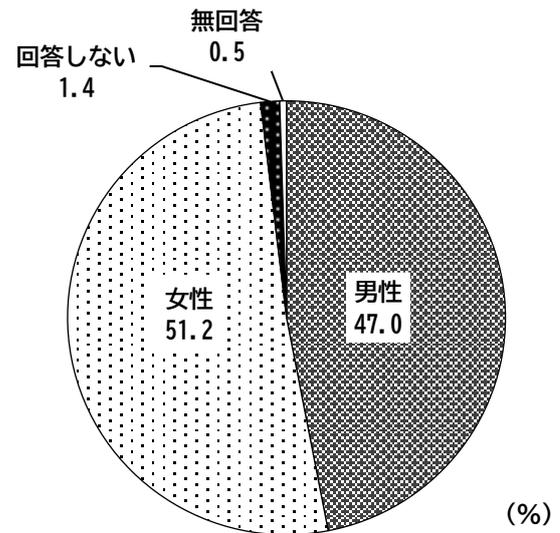


## Ⅱ 調査回答者の属性



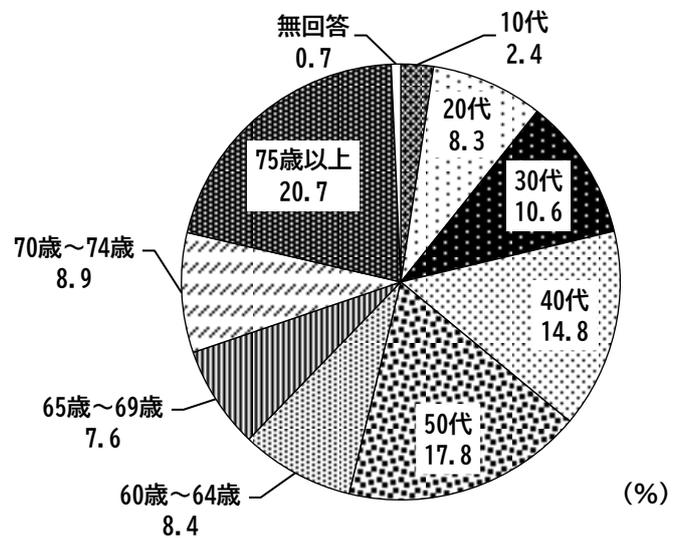
[性別 (Q1)]

	基数	構成比 (%)
男性	621	47.0
女性	676	51.2
回答しない	18	1.4
無回答	6	0.5
合計	1,321	100.0



[年齢 (Q2)]

	基数	構成比 (%)
10代	32	2.4
20代	109	8.3
30代	140	10.6
40代	195	14.8
50代	235	17.8
60歳~64歳	111	8.4
65歳~69歳	100	7.6
70歳~74歳	117	8.9
75歳以上	273	20.7
無回答	9	0.7
合計	1,321	100.0



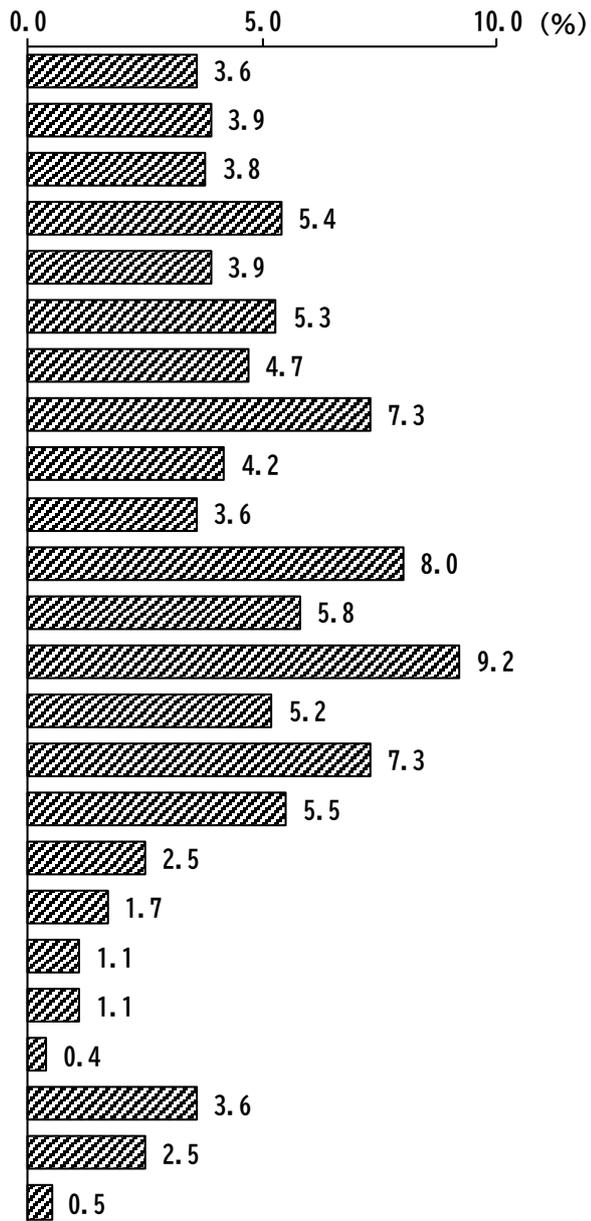
[性・年代別]

	全体		男性		女性		回答しない		性別 無回答	
	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)
10代	32	2.4	13	2.1	18	2.7	1	5.6	0	0.0
20代	109	8.3	50	8.1	56	8.3	3	16.7	0	0.0
30代	140	10.6	61	9.8	78	11.5	1	5.6	0	0.0
40代	195	14.8	88	14.2	103	15.2	4	22.2	0	0.0
50代	235	17.8	108	17.4	121	17.9	6	33.3	0	0.0
60代	211	16.0	107	17.2	101	14.9	2	11.1	1	16.7
70歳以上	390	29.5	192	30.9	197	29.1	1	5.6	0	0.0
無回答	9	0.7	2	0.3	2	0.3	0	0.0	5	83.3
合計	1,321	100.0	621	100.0	676	100.0	18	100.0	6	100.0

II 調査回答者の属性

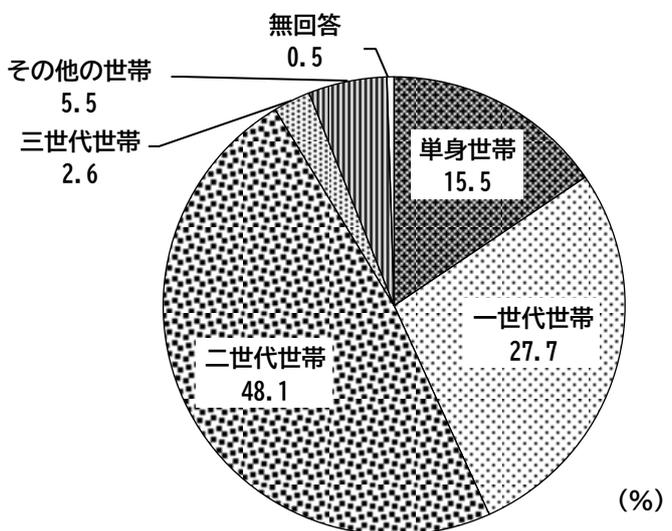
[居住地 (Q3)]

	基数	構成比 (%)
東町	47	3.6
郷地町	51	3.9
武蔵野	50	3.8
玉川町	71	5.4
福島町	52	3.9
朝日町	70	5.3
つつじが丘	62	4.7
美堀町	97	7.3
昭和町	56	4.2
大神町	47	3.6
松原町	106	8.0
田中町	76	5.8
緑町	122	9.2
拝島町	69	5.2
中神町	96	7.3
宮沢町	72	5.5
上川原町	33	2.5
もくせいの社	23	1.7
代官山	14	1.1
福島町 (番地)	14	1.1
築地町 (番地)	5	0.4
中神町 (番地)	48	3.6
宮沢町 (番地)	33	2.5
無回答	7	0.5
合計	1,321	100.0



[家族構成 (Q4)]

	基数	構成比 (%)
単身世帯	205	15.5
一世代世帯	366	27.7
二世帯世帯	636	48.1
三世帯世帯	35	2.6
その他の世帯	72	5.5
無回答	7	0.5
合計	1,321	100.0



### Ⅲ 調査票と単純集計結果



## 昭島市 市民意識調査

### 御協力をお願い

日頃より、市政に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび市では、市民の皆様から市政に関する御意見をうかがい、今後の行政施策の参考とさせていただくため、市民意識調査を実施します。

対象として、満16歳以上の市民の方2,000人を無作為に選ばせていただきました。調査は無記名で行い、結果はすべて統計的に処理しますので、個人のお名前などが出ることは一切ありません。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、どうぞ、率直な御意見、お考えをお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和7年9月

昭島市

#### 【お問い合わせ先】

昭島市企画部広報課

〒196-8511 昭島市田中町一丁目17番1号

電話：042-544-5122（直通）

ファクス：042-546-5496

## 【 回答方法 】

- \* 宛名の御本人が御回答ください。なお、御本人による記入・入力が困難な場合は、御本人の意見をお聞きしたうえで、御家族の方などが代行してもかまいません。
- \* 調査票に直接記載することも、インターネットで回答することもできますので、御都合の良い方法をお選びください。
- \* 御多忙のところ恐縮ですが、**令和7年9月30日(火)まで**に御回答ください。

### ■調査票に直接記載して回答する場合

- ① 設問ごとに、回答欄のあてはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。  
なお、特に指定のある項目については、それにしたがって御回答ください。
- ② 各設問において「その他」を選んだ場合は、( )内に具体的に記入してください。  
書ききれない場合は、余白をお使いください。
- ③ 同封の返信用封筒に入れて御返送ください。御協力いただきありがとうございました。

### ■インターネットで回答する場合

- ① 右の二次元コードを読み込むか、下記のURLをインターネットブラウザのURL欄に直接入力して、回答フォームにアクセスしてください。

<https://logoform.jp/form/Zue8/1097048>



- ② 最初に右に記載のIDを入力してください。

なお、このIDは二重回答を防ぐためのものであり、個人を特定するものではありません。

あなたのID

●●●●●●●●

- ③ 各設問に御回答ください。  
なお、各設問において「その他」を選んだ場合など、回答内容により設問の表示が自動的に切り替わりますので、設問順に御回答ください。
- ④ すべて入力が完了したら、『回答する』をクリックして終了です。御協力いただきありがとうございました。

## 基本項目（あなた御自身のこと）

Q1 あなたの性別は n=1,321 (%)

1 男性	47.0	2 女性	51.2	3 回答しない	1.4	無回答	0.5
------	------	------	------	---------	-----	-----	-----

Q2 あなたの年齢は n=1,321 (%)

1 10代	2.4	4 40代	14.8	7 65歳～69歳	7.6
2 20代	8.3	5 50代	17.8	8 70歳～74歳	8.9
3 30代	10.6	6 60歳～64歳	8.4	9 75歳以上	20.7
				無回答	0.7

Q3 あなたのお住まいはどちらですか。次の中から1つだけ選んでください。

（番地）とは、住居表示をしていない地区です。

n=1,321 (%)

1 東町	3.6	9 昭和町	4.2	17 上川原町	2.5
2 郷地町	3.9	10 大神町	3.6	18 もくせいの杜	1.7
3 武蔵野	3.8	11 松原町	8.0	19 代官山	1.1
4 玉川町	5.4	12 田中町	5.8	20 福島町（番地）	1.1
5 福島町	3.9	13 緑町	9.2	21 築地町（番地）	0.4
6 朝日町	5.3	14 拝島町	5.2	22 中神町（番地）	3.6
7 つつじが丘	4.7	15 中神町	7.3	23 宮沢町（番地）	2.5
8 美堀町	7.3	16 宮沢町	5.5	無回答	0.5

Q4 あなたの家族構成は次のどれですか。1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 単身世帯（1人で住んでいる世帯）	15.5
2 一世帯世帯（夫婦だけで住んでいる世帯）	27.7
3 二世帯世帯（親と子どもとで住んでいる世帯）	48.1
4 三世帯世帯（親と子ども夫婦と孫とで住んでいる世帯）	2.6
5 その他の世帯（1～4のいずれにもあてはまらない世帯）	5.5
無回答	0.5

## 定住意向

Q5 あなたは、昭島市に何年住んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

n=1,321 (%)

1 3年未満	8.0	3 5年～10年未満	7.3	5 20年以上	63.2
2 3年～5年未満	3.7	4 10年～20年未満	17.3	無回答	0.5

### Ⅲ 調査票と単純集計結果

Q6 あなたは、これからも昭島市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1	今後とも住み続けたい	} Q7^	55.3
2	どちらかというに住み続けたい		30.3
3	どちらかというに住み続けたいとは思わない	} Q8^	4.2
4	住み続けたいとは思わない		1.4
5	どちらともいえない		7.5
	無回答		1.2

(Q6で「1 今後とも住み続けたい」「2 どちらかというに住み続けたい」とお答えの方に)

Q7 昭島市に住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,131 (%)

1	長く住んでいるから	35.7	5	歴史や伝統があるから	0.2
2	便利で暮らしやすいから	32.4	6	治安が良いから	1.7
3	緑が多く自然環境が良いから	7.3	7	水がおいしいから	11.8
4	親切であたたかみがあるから	1.5	8	その他（具体的に）	5.6
				無回答	3.9

(Q6で「3 どちらかというに住み続けたいとは思わない」「4 住み続けたいとは思わない」とお答えの方に)

Q8 昭島市に住み続けたいと思わない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。 n=75 (%)

1	買い物や交通が不便だから	16.0	5	自然環境が悪いから	4.0
2	車や電車の騒音がうるさいから	4.0	6	文化的・都会的でないから	12.0
3	航空機騒音がうるさいから	13.3	7	治安が悪いから	13.3
4	航空機の訓練中の事故などが不安だから	1.3	8	その他（具体的に）	30.7
				無回答	5.3

## 昭島市への愛着度

Q9 あなたは、昭島市に対して、ふるさととしての親しみや愛着を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 持っている	35.3	3 あまり持っていない	} Q10 ^	15.4
2 やや持っている	35.0	4 持っていない		5.4
		5 どちらともいえない		8.2
		無回答		0.7

(Q9で「3 あまり持っていない」「4 持っていない」とお答えの方に)

Q10 親しみや愛着を持っていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。 n=275 (%)

1 住み始めて日が浅いから	30.2
2 仕事などで昭島市にいる時間が短いから	8.7
3 昭島市のことをよく知らないから	17.1
4 暮らしにくいと感じるから	14.2
5 その他（具体的に）	29.5
無回答	0.4

## 暮らしの満足度

Q11 あなたは、現在の暮らしに満足していますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 満足している	32.9	3 あまり満足していない	} Q12 ^	12.6
2 やや満足している	45.4	4 満足していない		3.9
		5 どちらともいえない		4.7
		無回答		0.5

(Q11で「3 あまり満足していない」「4 満足していない」とお答えの方に)

Q12 満足していないのはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。 n=218 (%)

1 暮らし向きのこと	19.7	5 住まいのこと	11.5
2 仕事のこと	11.9	6 生活環境のこと	26.1
3 健康のこと	5.0	7 人づきあいのこと	2.3
4 家族のこと	5.5	8 その他（具体的に）	12.8
		無回答	5.0

## 災害対策

Q13 あなたが、地震など災害に対して日頃から対策を講じていることは何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。 n=1,321 (%)

1 防災訓練（初期消火訓練など）に参加	12.8
2 （一部でも）家具の転倒落下移動防止の実施	36.9
3 住宅用火災警報器の設置	42.4
4 感震ブレーカーの設置	6.8
5 防災ガイドブックやハザードマップの確認（家族での約束）	39.3
6 その他（上記以外で対策をしている）	16.2
7 何もしていない	18.8
無回答	1.8

Q14 あなたが、地震など災害に対して日頃から備えているものは何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。 n=1,321 (%)

1 懐中電灯や携帯ラジオ	68.1	6 カセットコンロ・燃料	41.4
2 飲料水や食料	66.2	7 発電機・ポータブルバッテリー	17.1
3 薬	33.3	8 その他（上記以外でも災害用として備えているものがある）	9.8
4 消火器（スプレータイプ含む）	18.9	9 何も備えていない	11.2
5 簡易トイレ・ポケットトイレ	37.5	無回答	1.4

Q15 あなたは、大規模地震や集中豪雨などの自然災害に備えるため、昭島市はどのような対策を講じる必要があると思いますか。最も重要だと思う項目を次の中から2つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1 食料・飲料水などの備蓄	49.1	5 防災士や防災ボランティアの育成	3.9
2 正確・迅速な情報伝達	35.3	6 上下水道や電気などの耐震強化	36.8
3 高齢者・障害者など、災害に弱い人への対策	21.7	7 防災訓練の充実・強化	2.3
4 避難所の整備、避難所生活の向上	41.3	8 自主防災組織への支援	2.3
		無回答	1.3

## 防犯

Q16 あなたは、自分の住んでいる地域が治安（防犯）の面で安全で安心して暮らせる場所だと感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 安心している	20.2	3 どちらかといえば不安である	16.3
2 どちらかといえば安心している	58.0	4 不安である	3.9
		無回答	1.7

## 地域活動・自治会

Q17 あなたは、現在、地域でどのような活動をしていますか。次の中からあてはまるものをいくつか選んでください。 n=1,321 (%)

1	自治会などの地域貢献活動（自治会、子ども会、老人クラブ、防犯、防災などの活動）	17.7
2	NPO 法人等、法人格を持った団体での活動	1.3
3	ボランティアなどの社会貢献活動	5.7
4	音楽、美術、趣味などの文化芸術活動	5.9
5	スポーツ・レクリエーション活動	10.4
6	その他の活動	3.1
7	していないが、機会があればしたい	37.0
8	していないし、今後もするつもりはない	28.2
	無回答	2.6

Q18 地域での人と人とのつながりのために何が必要と考えますか。特にあてはまるものを次の中から3つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1	日々の挨拶や声掛け	74.4	6	自治会への加入促進	9.6
2	住民同士の地域情報の共有	31.3	7	ボランティア活動の充実	8.2
3	市による地域情報の提供	37.2	8	サークル・サロン活動の充実	10.2
4	伝統行事・祭りへの参加促進	20.1	9	地域のホームページや SNS づくり	11.6
5	新しいイベントづくり	11.1	10	活動場所の確保	13.6
				無回答	2.5

Q19 あなたは、現在、自治会に加入していますか。次の中から選んでください。 n=1,321 (%)

1	加入している	33.6	2	加入していない	64.6	無回答	1.7
---	--------	------	---	---------	------	-----	-----

(自治会に加入されていない方も御回答ください。)

Q20 自治会での活動のうち、あなたが重要だと思うものや参加したいと思うものを次の中から2つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1	防災・防犯への取り組み	61.8	4	お祭りやイベント	23.5
2	地域をきれいにする清掃活動	24.4	5	自治会館の利用	5.5
3	高齢者や障害者への福祉活動	20.7	6	地域での子どもの見守り	31.6
				無回答	6.1

## 生涯学習

Q21 あなたは、この1年間でどのようなスポーツ（ジョギングやウォーキングなどの軽い運動も含みます。）をしましたか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 ほぼ毎日している	21.7	3 月に1回はしている	11.3
2 週に1回はしている	31.3	4 ほとんどまたはまったくしていない	34.1
		無回答	1.7

Q22 あなたは、この1年間に音楽、演劇、美術などを外出して鑑賞したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 鑑賞したことがある	46.9	4 興味がない	13.8
2 興味はあるが、機会がない	17.2	5 その他	3.0
3 近くで鑑賞する機会があれば、鑑賞したい	17.0	無回答	2.2

Q23 あなたは、昭島市の図書館をどのくらい利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 ほぼ毎日利用している	0.3
2 週に1回は利用している	4.2
3 月に1回は利用している	17.8
4 ほとんどまたはまったく利用していない → Q24へ	76.2
無回答	1.5

(Q23で「4 ほとんどまたはまったく利用していない」とお答えの方に)

Q24 利用していない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。 n=1,007 (%)

1 読みたい本は自分で購入するから	32.6	5 図書館まで遠い	28.3
2 開館時間、開館日に利用できない	11.3	6 インターネットで用が足りている	24.9
3 図書館がどこにあるかわからない	7.7	7 その他	12.0
4 本を読まない	22.9	無回答	0.5

## 学校教育

Q25 昭島市は、未来を担う子どもたちの育成に向けて、教育振興基本計画に基づき、学校教育の充実に取り組んでいます。あなたが、今後、更に充実すべきと思う取り組みは何ですか。次の中から2つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1 確かな学力の定着	25.7	4 学校、家庭、地域・社会との連携・協働	26.2
2 豊かな心の醸成	42.8	5 教育環境の整備	24.8
3 健やかな体の育成	23.5	6 不登校、いじめなど心の問題への対応	39.7
		無回答	2.6

## 環境

Q26 地球温暖化に伴う気候変動は、様々な被害を引き起こしています。どのような取り組みが必要だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1 省エネ活動の推進、環境にやさしいエネルギーの利用推進	40.7
2 自然生態系の保護への取り組み	28.8
3 気候災害への備えの充実・強化	41.4
4 熱中症対策の充実・強化	25.1
5 環境教育の充実	11.4
6 水と緑の保全活動	39.2
無回答	2.0

Q27 地球温暖化の防止等のため、どのような取り組みを行っていますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。 n=1,321 (%)

1 太陽光パネルの設置、または、再生可能エネルギー100%電気の購入	10.0
2 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、水素自動車の購入	7.7
3 家庭用燃料電池の購入	3.5
4 蓄電池の購入	8.9
5 住宅の断熱化	18.8
6 上記1~5の取り組みは行っていない	62.4
無回答	2.5

### Ⅲ 調査票と単純集計結果

Q28 あなたは、ごみの減量化のために、日頃からどのようなことに取り組んでいますか。  
次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

※昭島市は、可燃ごみの処理について、現在の清掃センターに修繕を施し、焼却処理を継続して  
います。施設を安定稼働していくために、更なるごみの減量化が必要です。 n=1,321 (%)

1	マイバッグ等を利用し、レジ袋の使用を極力減らす	84.7
2	外出時にマイボトルを携帯する	52.7
3	小さな紙も分別して「雑誌・雑古紙」として出す	60.6
4	食品ロスを減らすため、食材は必要な分だけ購入し、食べきれぬ量を作る	51.7
5	コンポスト容器や電動式生ごみ処理機を利用して生ごみを減らす	5.6
6	不要な衣類は、拠点回収やリサイクルショップなどに出す	36.6
7	古紙、古布、びん、缶などは地域の市民団体による集団回収に出す	34.3
8	上記1～7の取り組みは行っていない	2.3
	無回答	0.5

Q29 あなたは、今までに、昭島市における水と緑に関する市民活動に参加したことがあ  
りますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。 n=1,321 (%)

1	公園、用水路、森林や多摩川などでの草刈り、清掃	14.1
2	水と緑に関する学習・保全活動	3.3
3	街角の花壇の手入れ	2.3
4	緑化のための募金をする	4.1
5	緑や水辺に関するイベントへの参加	3.9
6	上記1～5の中にはない	74.0
	無回答	3.8

## 昭島の水道水

Q30 あなたは、深層地下水 100%の昭島市の水道水をそのまま飲みますか。次の中から1  
つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1	そのまま飲む	66.7	4	市販の飲料水を購入している	7.1
2	沸かしてから飲む	5.5	5	その他	0.6
3	浄水器を使っている	19.6		無回答	0.5

## 都市景観

Q31 あなたは、昭島のまちなみや景観に関して、どのように感じていますか。次の中から  
1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 美しいと思う	15.0	4 美しくないと思う	5.1
2 やや美しいと思う	48.6	5 その他	4.9
3 あまり美しいとは思わない	25.3	無回答	1.1

## 少子高齢化

Q32 あなたが、子育てをしやすい環境をつくるために必要だと思うものを、次の中から3  
つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1 保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実	61.8
2 一時預かり・病児保育など預かりサービスの充実	38.2
3 子育ての経済的負担の軽減（手当支給・医療費・保育料など）	57.3
4 子育てに関する相談・支援体制の整備	25.0
5 公園・子育てひろば事業など遊びのための環境整備	31.0
6 母と子の健康の維持増進	10.4
7 産前・産後の支援（家事育児支援、産後ケアなど）	24.8
8 その他	4.8
無回答	3.2

## 広報

Q33 あなたは、昭島市に関わる情報をどのような方法で入手していますか。次の中からあ  
てはまるものをいくつでも選んでください。 n=1,321 (%)

1 紙で配布される「広報あきしま」	86.1	8 昭島市公式動画チャンネル	0.5
2 インターネットで見える「広報あきしま」	9.6	9 昭島市市民便利帳	10.5
3 あきしま市議会だより	29.9	10 携帯メール情報サービス	5.8
4 昭島市公式ホームページ	25.4	11 ポスター・チラシ・リーフレットなど	18.8
5 昭島市公式 X	2.9	12 家族や友人、近所の人のお話	29.1
6 昭島市公式 Instagram	2.2	13 その他	4.2
7 昭島市公式 LINE	6.4	無回答	0.7

## デジタル化

Q34 昭島市が提供するインターネットを利用したサービスのうち、あなたが、現在利用しているもしくは今後利用したいものはどれですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。 n=1,321 (%)

1	あきしま子育てアプリ	3.5	11	市民図書館蔵書検索・予約サービス	14.2
2	昭島市ごみ分別アプリ	27.6	12	広報あきしま（電子版）	6.7
3	あきしま省エネ家計簿	1.6	13	マイナポータル	18.5
4	Yahoo! 防災速報（昭島市に設定）	17.0	14	ぴったりサービス	0.8
5	Akishima City Free Wi-Fi	7.3	15	昭島市公式ホームページ	27.2
6	電子申請サービス	14.6	16	Yahoo! 暮らし（昭島市）	3.0
7	公共施設予約サービス	6.9	17	昭島市公式 LINE	7.4
8	コンビニ交付サービス	17.9	18	昭島市公式 X	3.5
9	市民図書館電子書籍サービス	9.4	19	昭島市公式 Instagram	3.0
10	市民図書館座席予約サービス	4.8	20	特になし	27.6
				無回答	5.8

Q35 昭島市のデジタル化施策として、優先して行うべきと思う取り組みは何ですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1	オンラインでの申請・相談・キャッシュレス決済の導入	44.0
2	道路や駐輪場の混雑状況可視化サービスの導入	16.8
3	通学路の危険箇所や防犯情報の可視化サービスの導入	30.4
4	災害発生時における避難所運営状況確認サービスの導入	51.8
5	産官学民等のステークホルダー（関係者）と共創の場づくり	3.9
6	市内企業のデジタル化等を促すための人材・財源面の支援	7.4
7	母子の健康情報の管理、予防接種などのお知らせ機能の導入	15.1
8	タブレットPCでの授業・自宅学習機能の導入	11.4
9	市内の診療科目別病院・診療所の検索・予約サービスの導入	43.5
10	健康情報の管理及び、健康増進のアドバイスサービスの導入	9.3
11	高齢者や障害者に対するデジタル化の支援	22.7
12	パソコン教室やスマートフォン教室の開催	10.0
13	空き家や道路の陥没等の危険箇所の通報・改善機能の導入	28.5
14	特になし	9.7
	無回答	4.8

## 男女共同参画

Q36 あなたは、次の各分野において男女の立場または待遇が対等になっていると思いますか。ア～クのそれぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。 n=1,321 (%)

項目	立場または待遇	女性が優遇	やや女性が優遇	対等	やや男性が優遇	男性が優遇	無回答
ア	家庭生活では	6.6	12.6	42.4	24.8	7.6	6.0
イ	職場では	2.1	6.2	35.0	33.1	14.0	9.5
ウ	教育の場では	1.8	5.8	67.5	12.3	2.5	10.1
エ	地域活動の場では	1.0	9.2	51.1	24.6	5.1	9.0
オ	法律や制度では	3.0	7.1	39.7	31.7	9.9	8.5
カ	しきたりや習慣では	1.1	4.9	23.4	44.0	18.4	8.3
キ	余暇生活では	3.3	13.9	55.3	15.8	3.6	8.2
ク	全体としては	2.2	5.7	41.5	37.4	6.2	7.0

市政

Q37 あなたは、市外の人に昭島の良さを伝えるとしたら何を伝えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から3つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1	景観（まちなみ）や住環境が良い（住みやすい）	31.9
2	深層地下水100%の水道水	82.4
3	買い物や交通（電車・バス）が便利	33.5
4	水や緑といった自然環境に恵まれている	35.9
5	地域で行われる祭りなどの伝統行事	5.5
6	市民くじら祭、郷土芸能まつり、産業まつりなどのイベント	17.9
7	新種と認定されたアキシマクジラの化石	12.1
8	その他	4.6
	無回答	4.2

Q38 あなたは、市外の人から「住んでみたい」「訪れてみたい」と思っていただけの魅力あるまちづくりのため、今後5年間で、昭島市はどのような施策を特に重点的にすすめていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1	防犯・防災・安全に関すること	42.5	6	高齢者・生活困難者への福祉	22.0
2	学校教育に関すること	13.6	7	環境の保全	23.3
3	文化・スポーツの振興	10.1	8	産業や観光に関すること	9.8
4	道路・公園などインフラの整備	33.5	9	健康づくりの推進	4.5
5	児童福祉・子育て支援	23.8	10	その他	3.1
				無回答	4.0

Q39 あなたは、行政サービスの水準と負担について、どのような対応をすることが望ましいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1	行政サービスが一層充実するのであれば、サービスに見合った市民の負担が増えるのは仕方がない	9.8
2	多少の市民負担の増加程度であれば、行政サービスを充実させるべきである	22.1
3	市民負担が増えるのであれば、行政サービスをこれ以上充実させるべきではない	6.7
4	行政サービスを直接受ける人の負担を増やすなど、負担のあり方を検討すべきである	15.9
5	行政改革を推進することで市民負担を増やさず、行政サービスを維持するべきである	27.2
6	その他	1.8
7	わからない	12.3
	無回答	4.2

Q40 あなたは、現在の市政は、市民の声を反映していると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 反映している	4.4	4 反映していない	10.7
2 やや反映している	22.0	5 どちらともいえない	38.8
3 あまり反映していない	16.7	6 その他	3.6
		無回答	3.9

Q41 あなたは、「市政への参画・協働」をするにあたって、どのように市政に関わっていきたいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。 n=1,321 (%)

1 市による各種アンケート	63.3	5 各種ボランティア活動	19.4
2 市長への手紙など	10.1	6 公募による審議会などの委員	5.4
3 パブリックコメントの活用	11.1	7 その他	15.2
4 市長との懇談会や対話集会	8.0	無回答	7.9

## 市役所

Q42 あなたは、市役所の窓口サービスについて、どう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。 n=1,321 (%)

1 良い	23.5	4 悪い → Q43へ	5.4
2 まあまあである	24.5	5 窓口サービスを利用したことがない	5.8
3 普通	37.8	無回答	3.0

(Q42で「4 悪い」とお答えの方に)

Q43 どのような理由からそう思われましたか。次の中から1つだけ選んでください。 n=71 (%)

1 どの窓口かわからなかった	5.6	4 職員の態度や言葉づかいが悪かった	39.4
2 一つの窓口で用が済まなかった	7.0	5 職員の説明などがわかりづらかった	9.9
3 時間がかかった	9.9	6 その他	21.1
		無回答	7.0

たいへんお疲れさまでした。これで質問は終わりです。  
御協力ありがとうございました。



## IV 調查結果



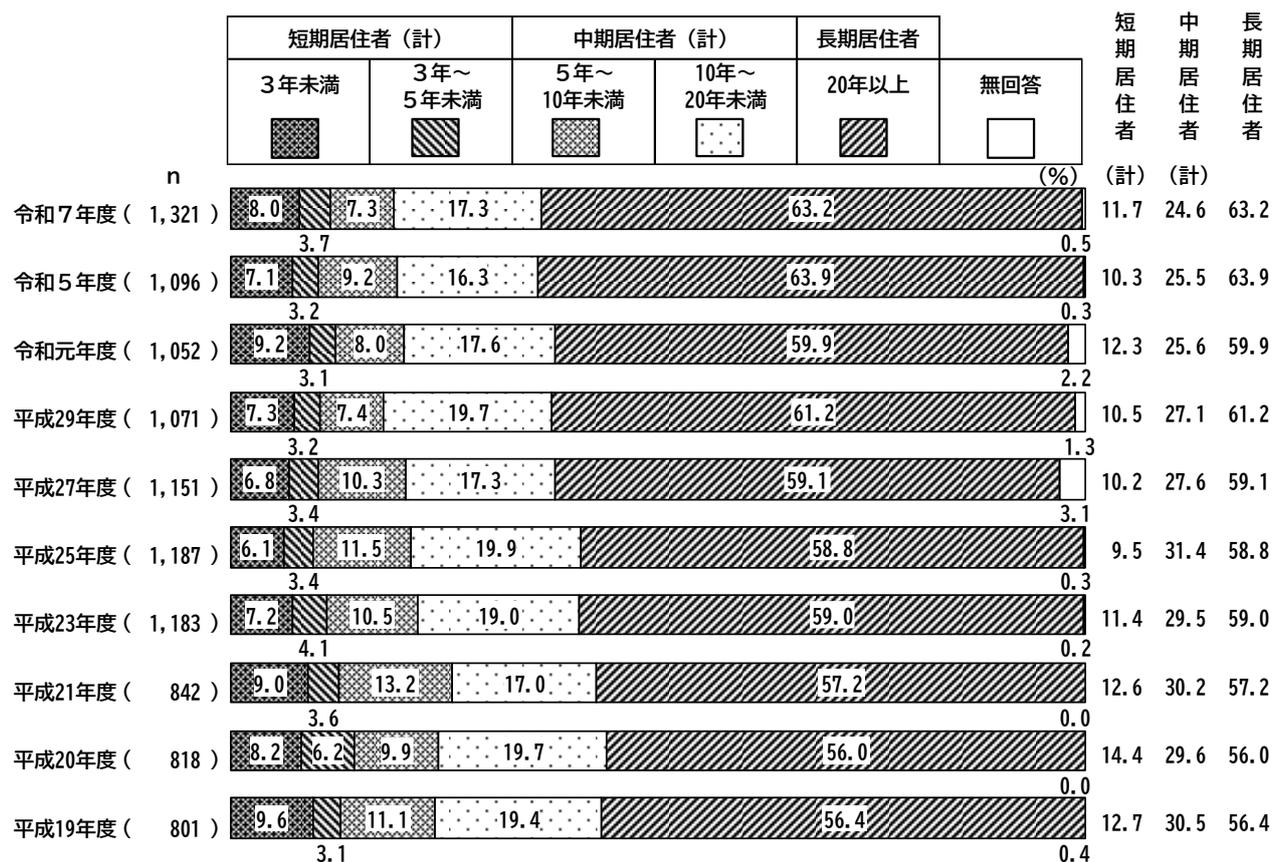
## 1 定住意向

## (1) 居住年数

Q5 あなたは、昭島市に何年住んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=1,321)

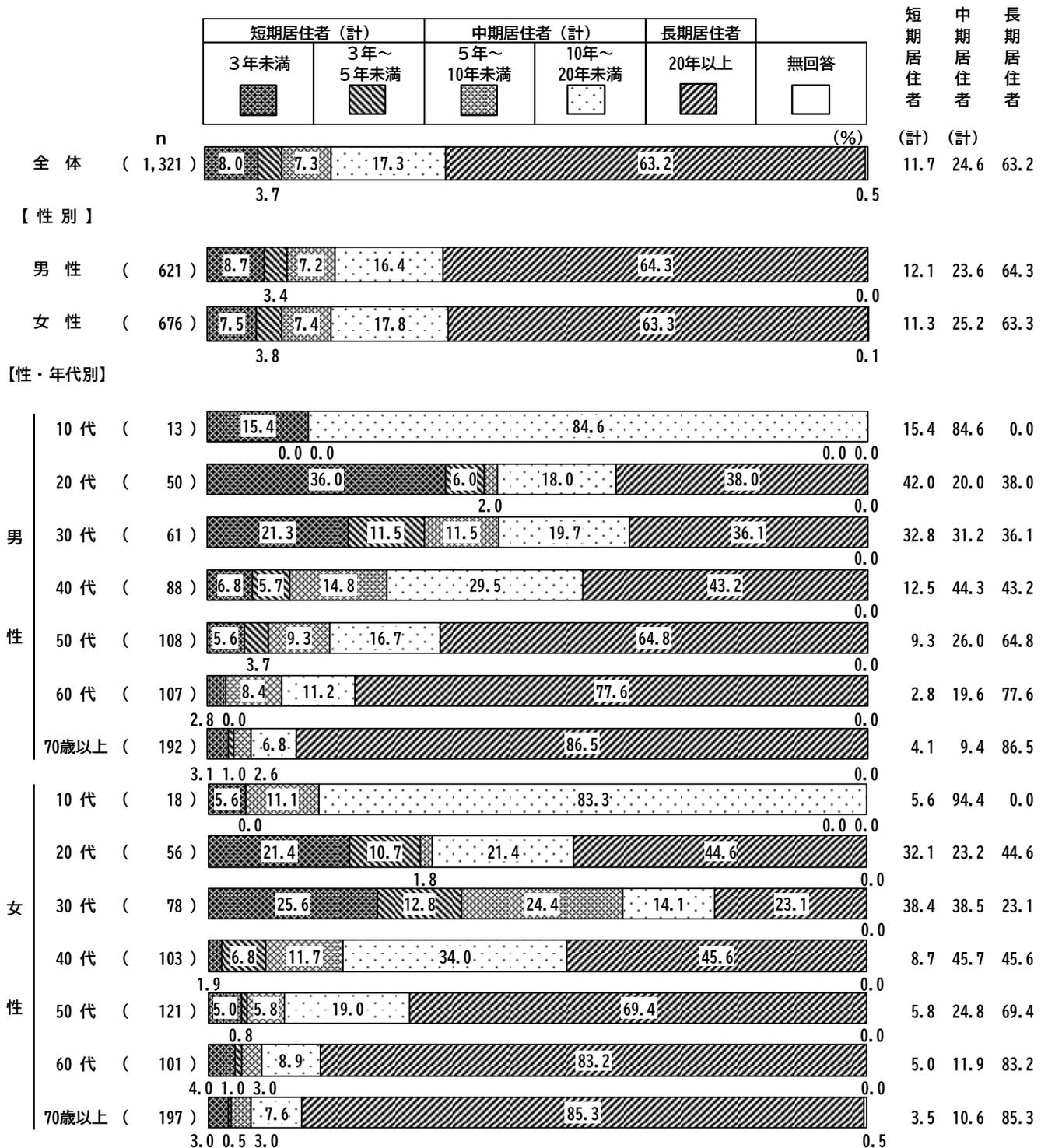
図1-1-1 居住年数（全体、過年度比較）



昭島市での居住年数を聞いたところ、「3年未満」（8.0%）と「3年～5年未満」（3.7%）を合わせた『短期居住者（計）』（11.7%）は1割以上、「5年～10年未満」（7.3%）と「10年～20年未満」（17.3%）を合わせた『中期居住者（計）』（24.6%）は2割半ばとなっている。「20年以上」の『長期居住者』（63.2%）は6割以上となっている。

過去の調査と比較すると、『長期居住者』の割合は緩やかな増加傾向がみられる。（図1-1-1）

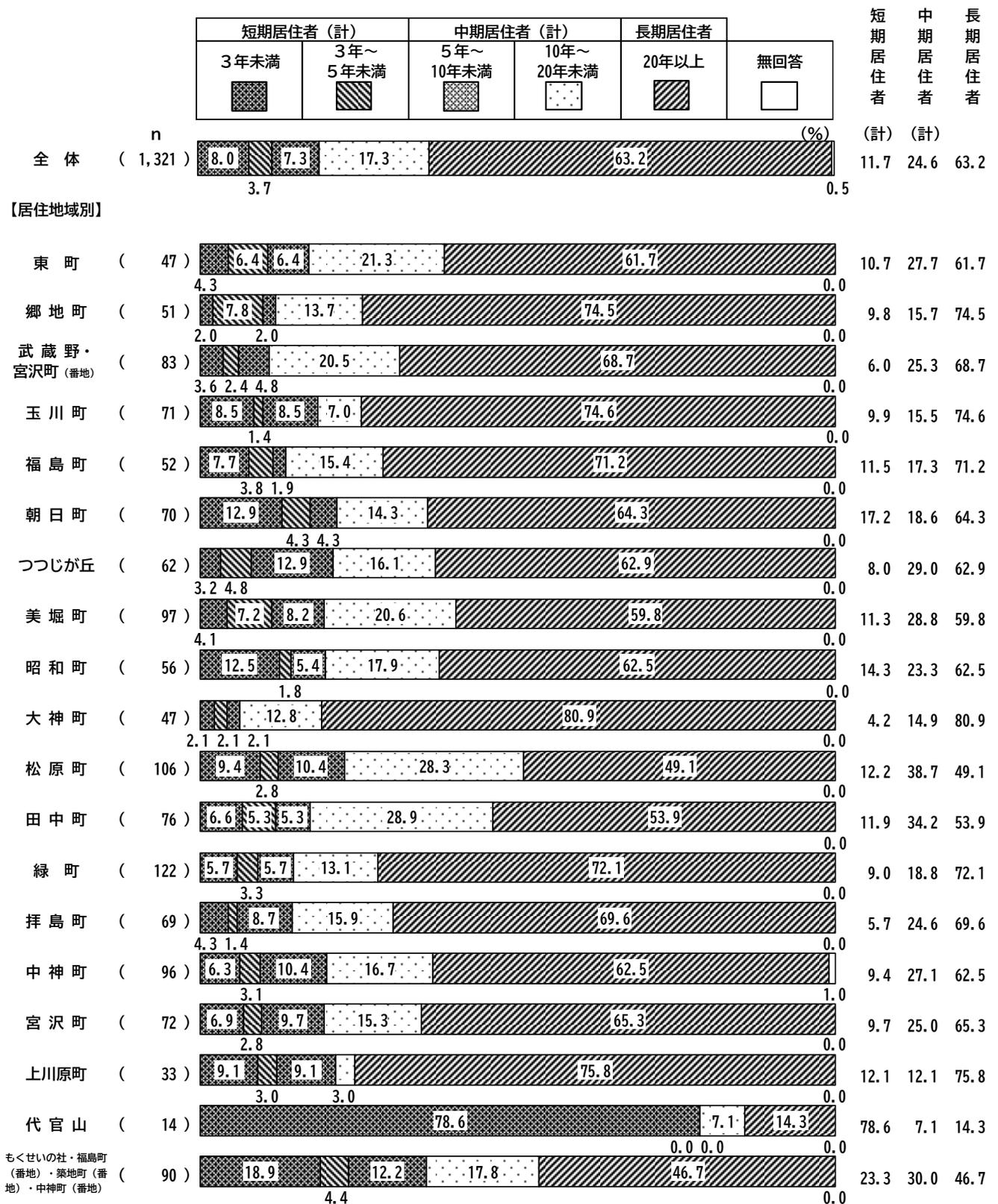
図1-1-2 居住年数（性・年代別）



性別にみると、『中期居住者（計）』は女性（25.2%）が男性（23.6%）より1.6ポイント高くなっている。一方、『長期居住者』は男性（64.3%）が女性（63.3%）より1.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『短期居住者（計）』は男性20代（42.0%）で4割以上となっている。『中期居住者（計）』は女性40代（45.7%）で4割半ばとなっている。「20年以上」の『長期居住者』の割合をみると、男女ともに30代が最も低くなっている一方、男性70歳以上（86.5%）で9割近く、女性70歳以上（85.3%）で8割半ばと高くなっている。（図1-1-2）

図1-1-3 居住年数（居住地域別）



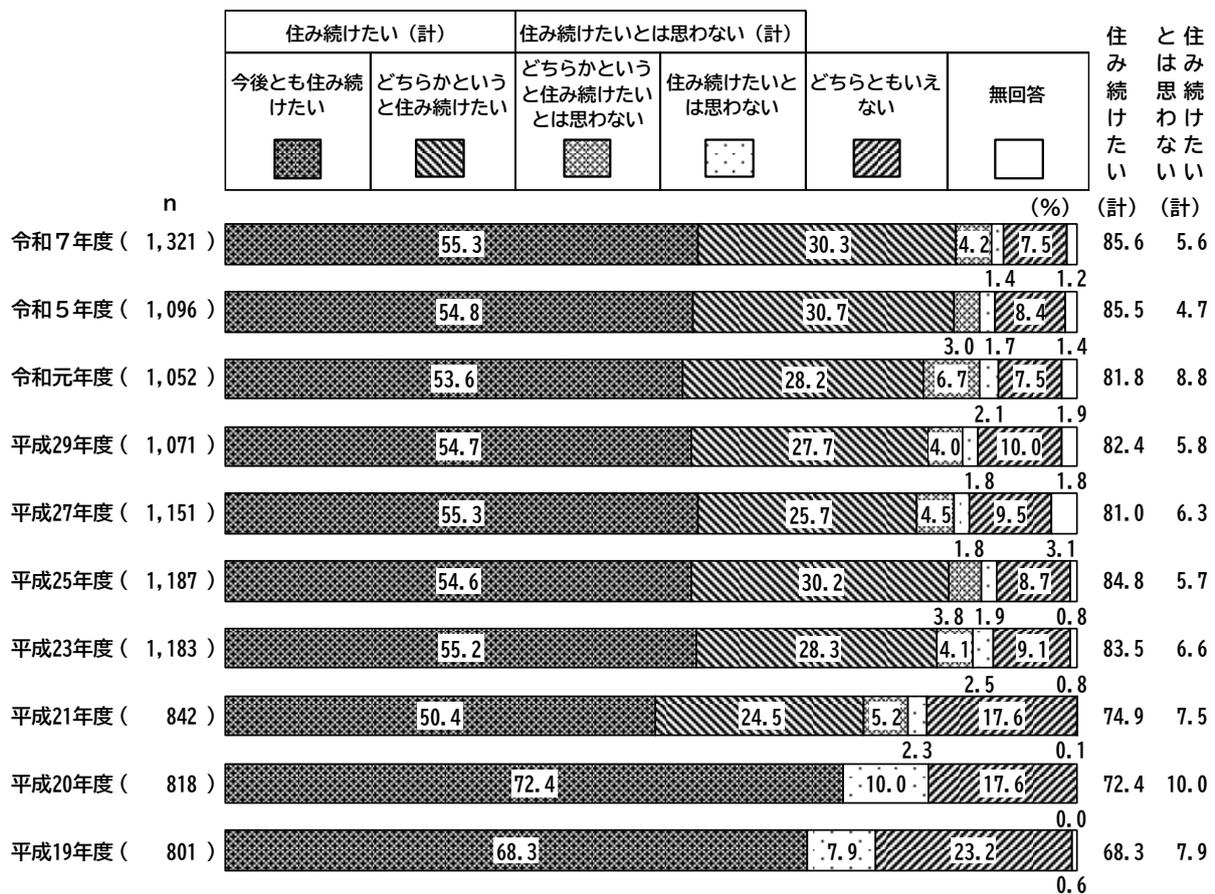
居住地域別にみると、『短期居住者（計）』はもくせい社・福島町（番地）・築地町（番地）・中神町（番地）（23.3%）で2割以上と高くなっている。『中期居住者（計）』は松原町（38.7%）で4割近くと高くなっている。『長期居住者』は大神町（80.9%）で約8割と高くなっている。

（図1-1-3）

(2) 定住意向

Q6 あなたは、これからも昭島市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=1,321)

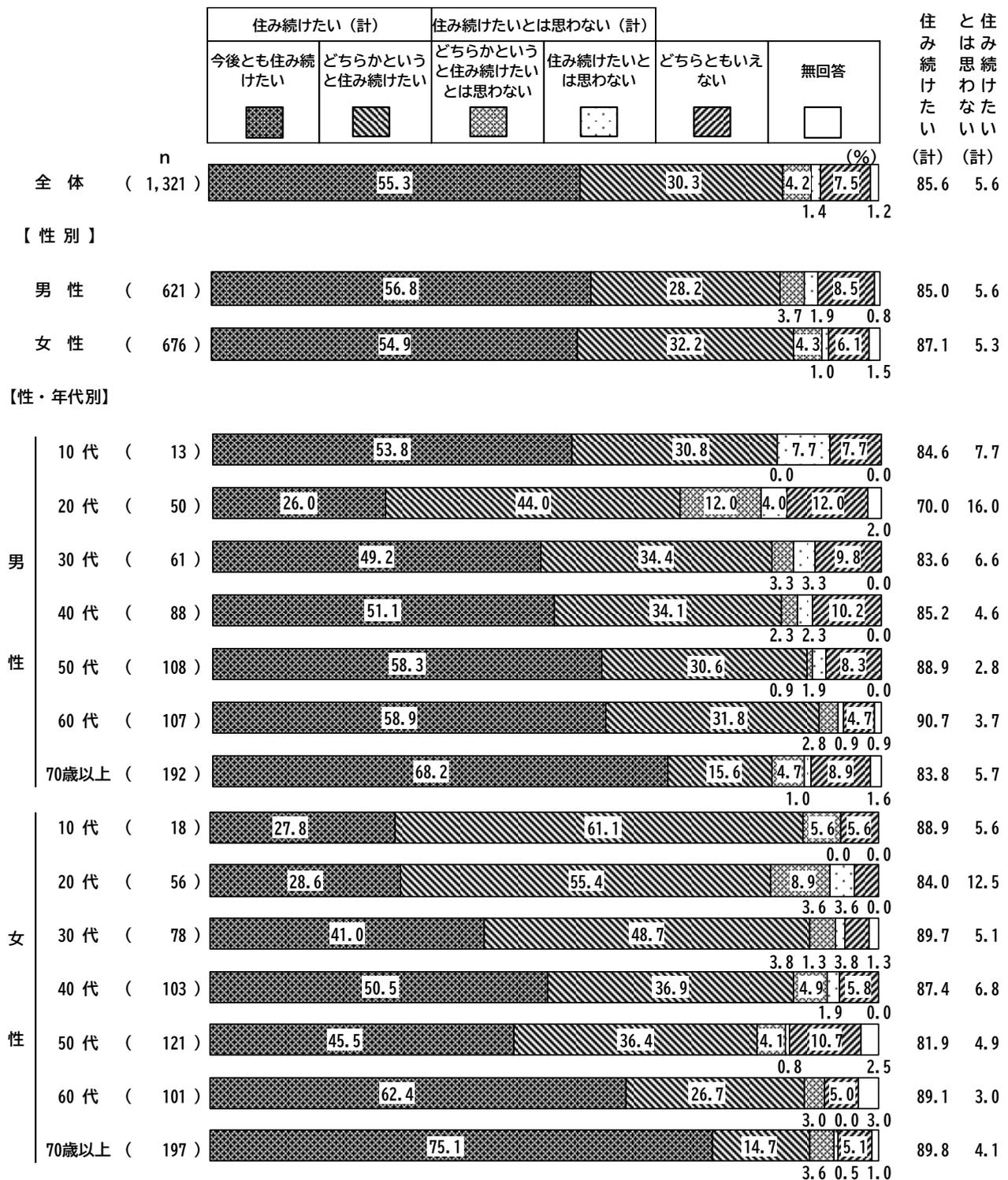
図1-2-1 定住意向（全体、過年度比較）



※平成20年度調査までは、選択肢が「住み続けたい」「住み続けたいとは思わない」「どちらともいえない」の3項目。

これからも昭島市に住み続けたいか聞いたところ、「今後とも住み続けたい」（55.3%）と「どちらかというに住み続けたい」（30.3%）を合わせた『住み続けたい（計）』（85.6%）は8割半ばとなっており、過去の調査と比較して最も高くなっている。また、「どちらかというに住み続けたいとは思わない」（4.2%）と「住み続けたいとは思わない」（1.4%）を合わせた『住み続けたいとは思わない（計）』（5.6%）は1割未満となっている。（図1-2-1）

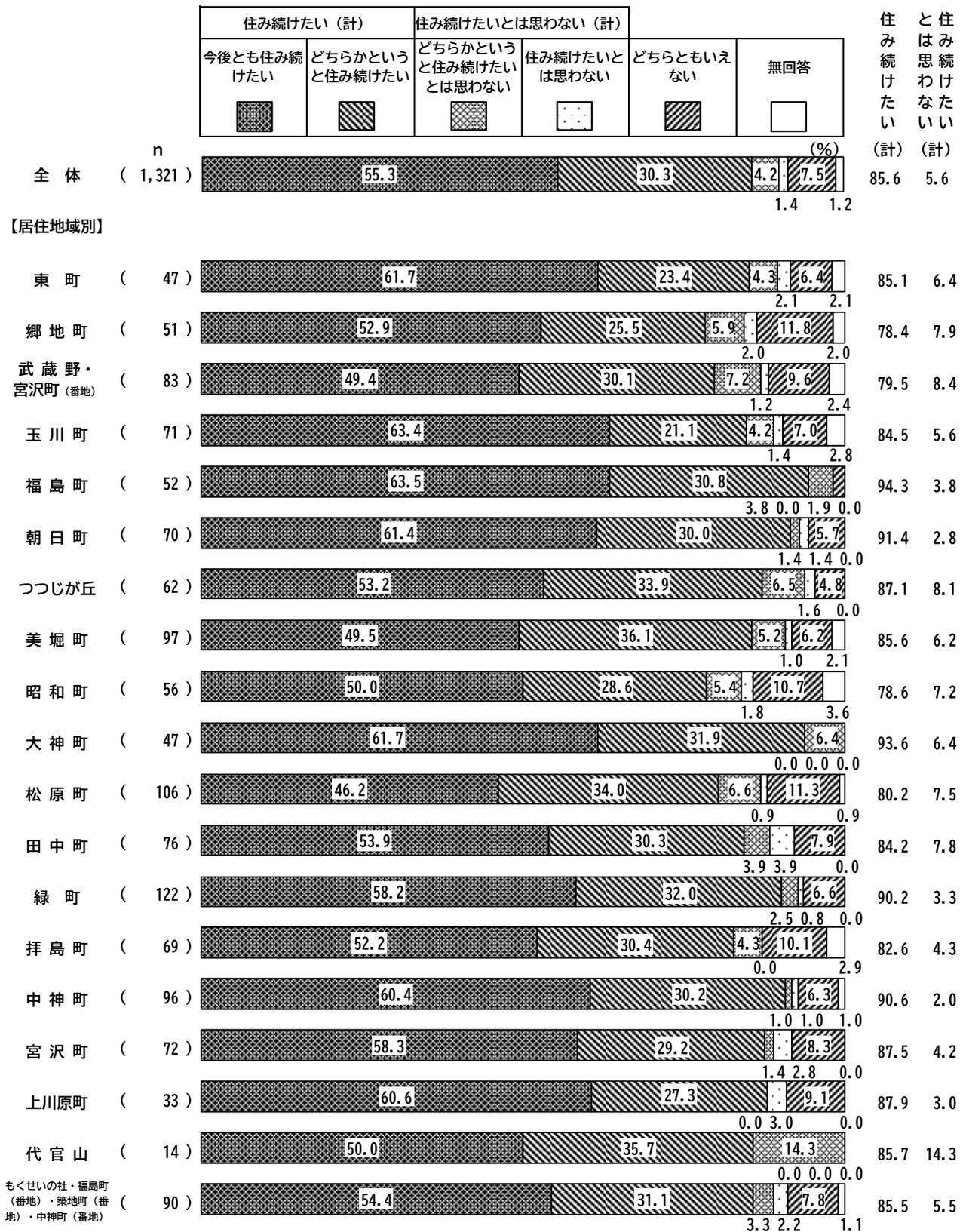
図1-2-2 定住意向（性・年代別）



性別にみると、『住み続けたい（計）』が女性（87.1%）は男性（85.0%）より2.1ポイント高くなっている。

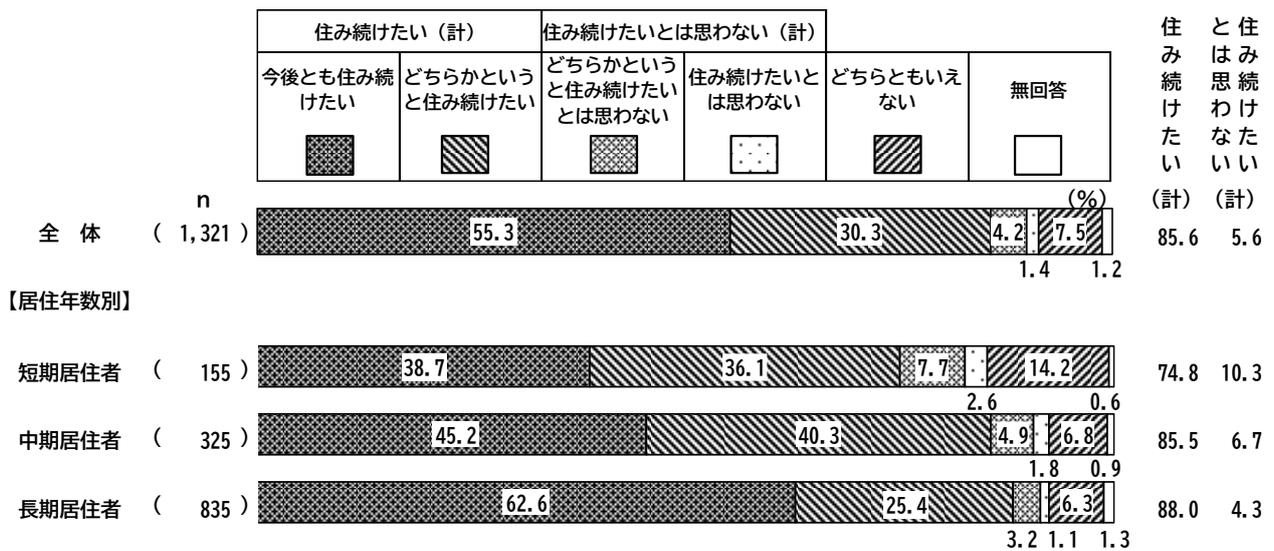
性・年代別にみると、『住み続けたい（計）』は男性20代（70.0%）を除く全ての性・年代で80%以上と高くなっている。（図1-2-2）

図1-2-3 定住意向（居住地域別）



居住地域別にみると、『住み続けたい（計）』は福島町（94.3%）で9割半ばと高くなっている。一方、『住み続けたいとは思わない（計）』は代官山（14.3%）を除く全ての地域で1割未満となっている。（図1-2-3）

図1-2-4 定住意向（居住年数別）

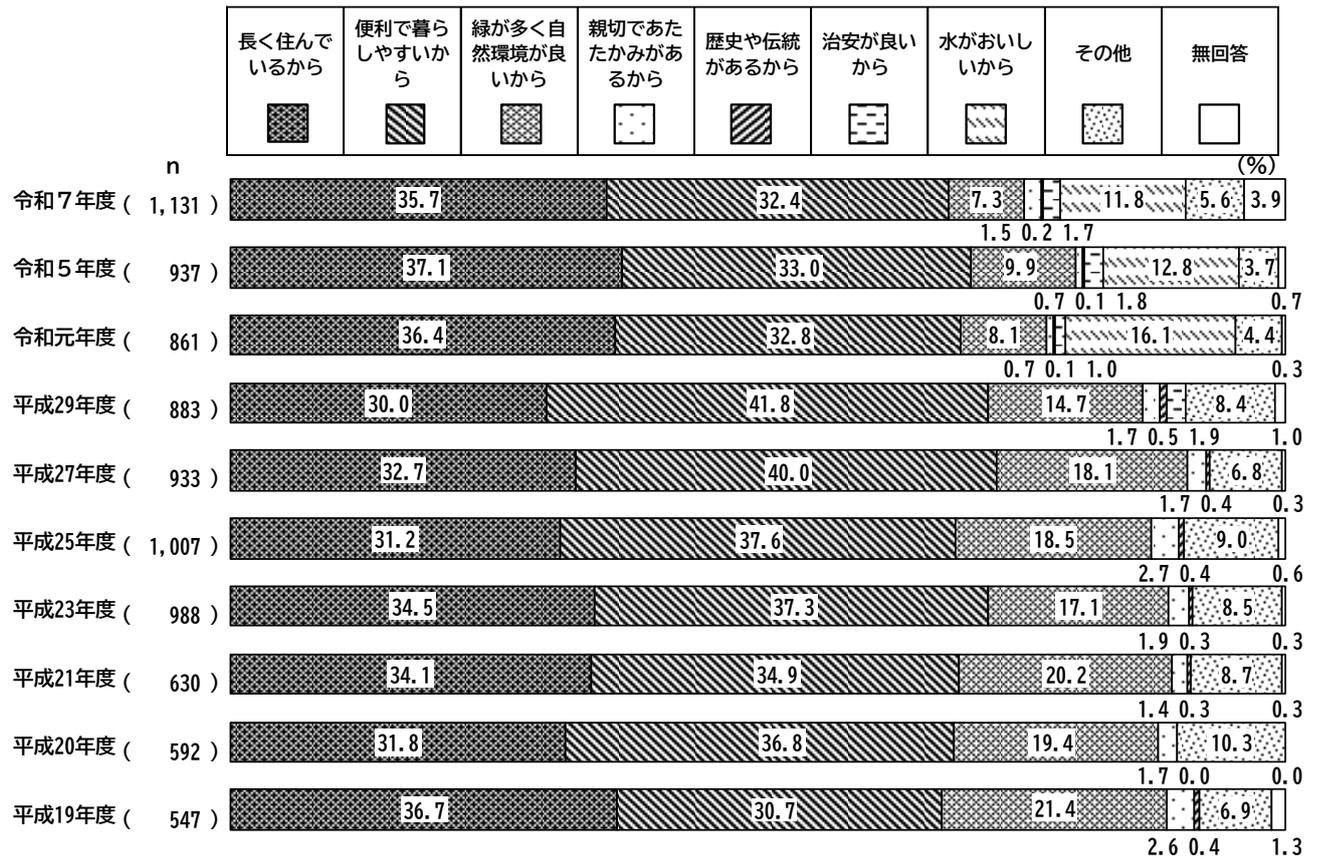


居住年数別にみると、『住み続けたい（計）』は居住年数が長くなるほど割合が高く、長期居住者（88.0%）で9割近くとなっている。（図1-2-4）

(3) 住み続けたい理由

(Q6で「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」とお答えの方に)  
 Q7 昭島市に住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。  
 (n=1,131)

図1-3-1 住み続けたい理由（全体、過年度比較）

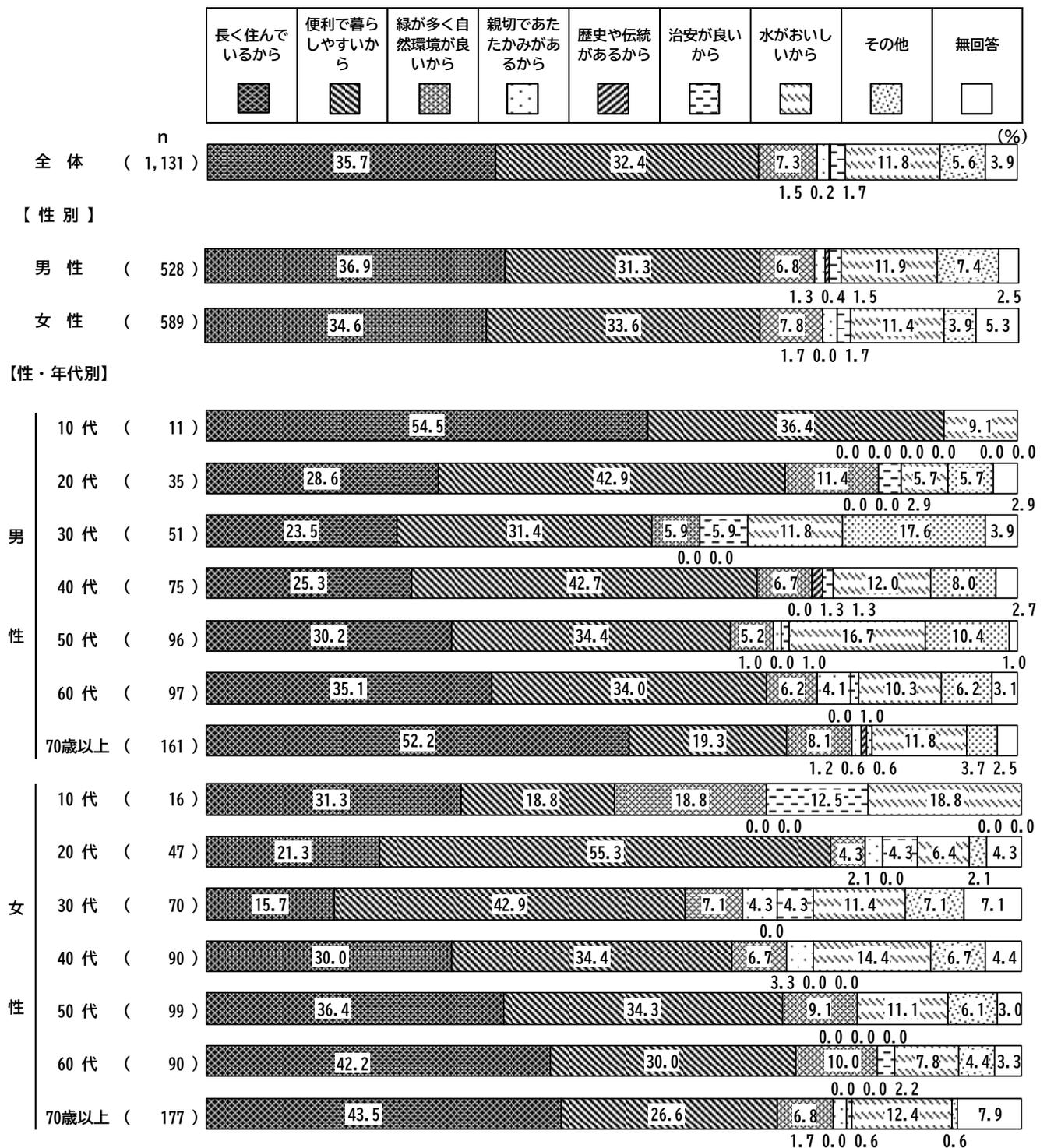


※「長く住んでいるから」は、平成29年度調査までは「むかしから住んでいるから」となっていた。  
 ※「治安が良いから」は、平成29年度調査から追加された選択肢。  
 ※「水がおいしいから」は、令和元年度調査から追加された選択肢。

昭島市に「住み続けたい」と回答した人（1,131人）に、その理由を聞いたところ、「長く住んでいるから」（35.7%）が3割半ばで最も高く、次いで「便利で暮らしやすいから」（32.4%）、「水がおいしいから」（11.8%）、「緑が多く自然環境が良いから」（7.3%）などの順となっている。

平成29年度調査までは「便利で暮らしやすいから」が最も高くなっていたが、それ以降は「長く住んでいるから」が最も高い傾向となっている。（図1-3-1）

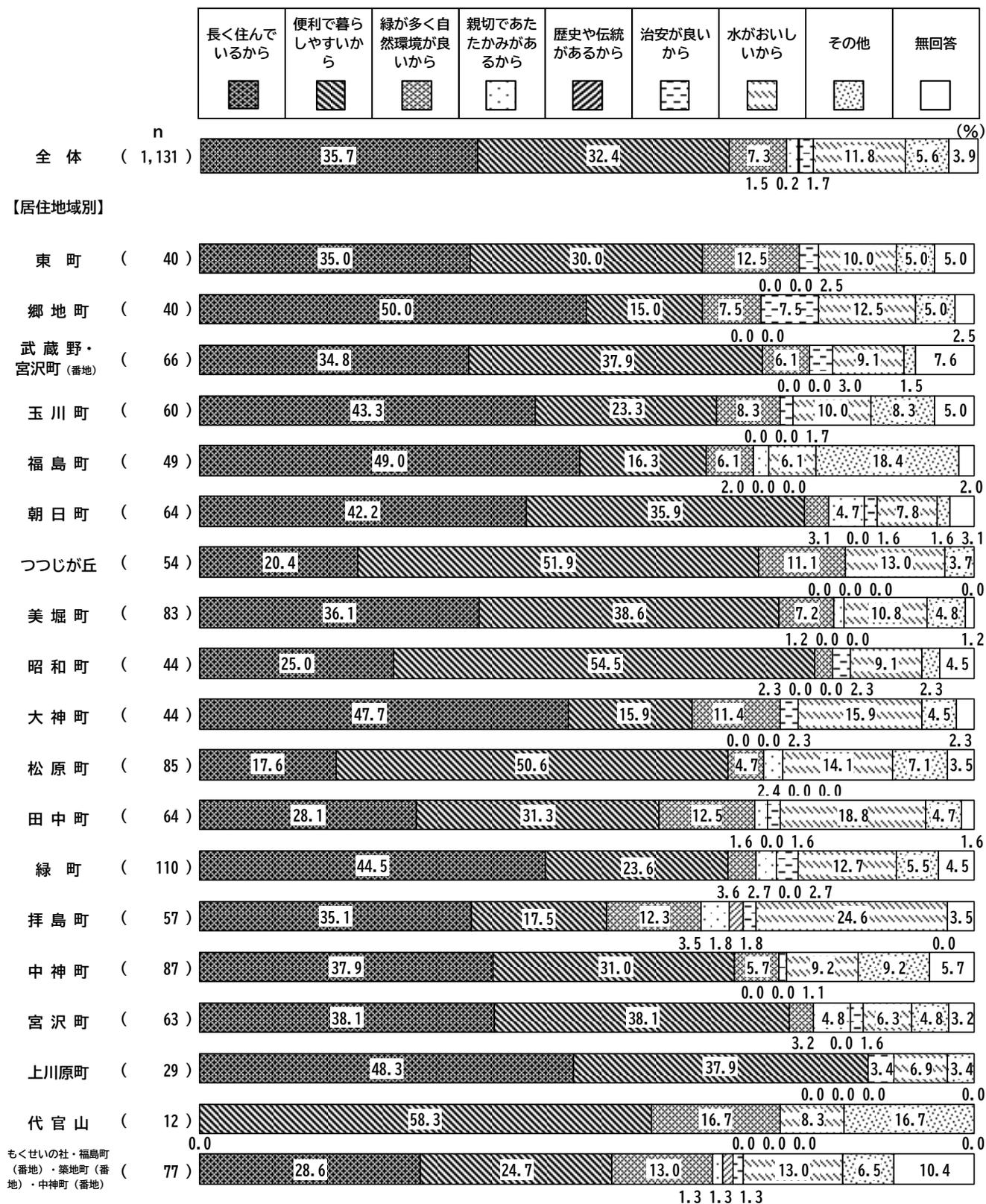
図1-3-2 住み続けたい理由（性・年代別）



性別にみると、「長く住んでいるから」は男性（36.9%）が女性（34.6%）より2.3ポイント高くなっている。一方、「便利で暮らしやすいから」は女性（33.6%）が男性（31.3%）より2.3ポイント高くなっている。

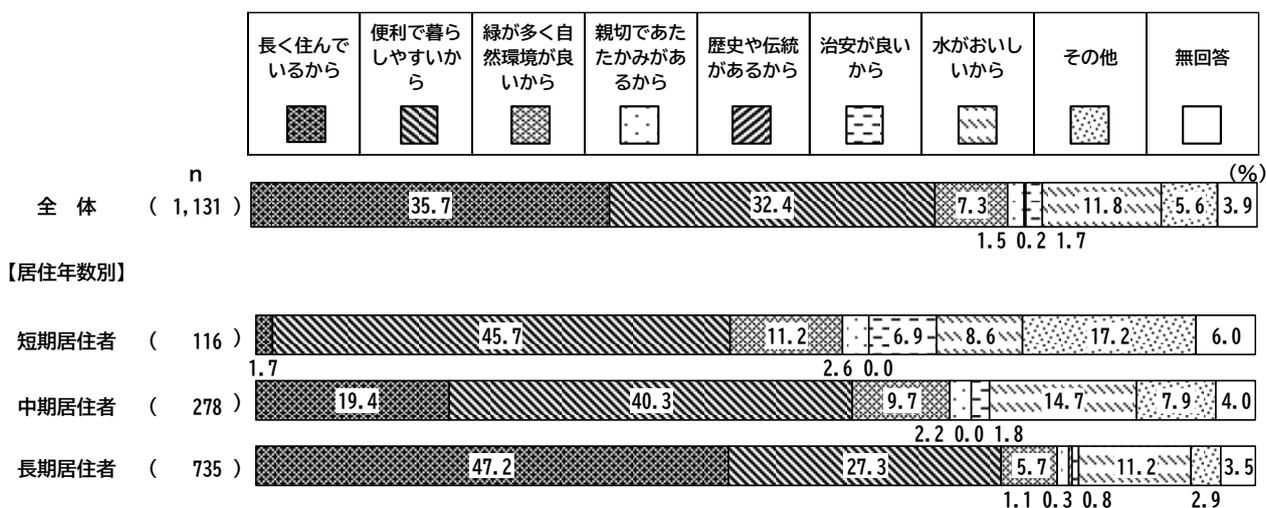
性・年代別にみると、「長く住んでいるから」は男性70歳以上（52.2%）で5割以上と高くなっている。「便利で暮らしやすいから」は女性20代（55.3%）で5割半ばと高くなっている。「水がおいしいから」との回答で最も高かったのは、男性50代（16.7%）となっている。（図1-3-2）

図1-3-3 住み続けたい理由（居住地域別）



居住地域別にみると、「長く住んでいるから」は郷地町（50.0%）で5割と高くなっている。「便利で暮らしやすいから」は昭和町（54.5%）で5割半ばと高くなっている。「水がおいしいから」との回答で最も高かったのは、拝島町（24.6%）となっている。（図1-3-3）

図1-3-4 住み続けたい理由（居住年数別）

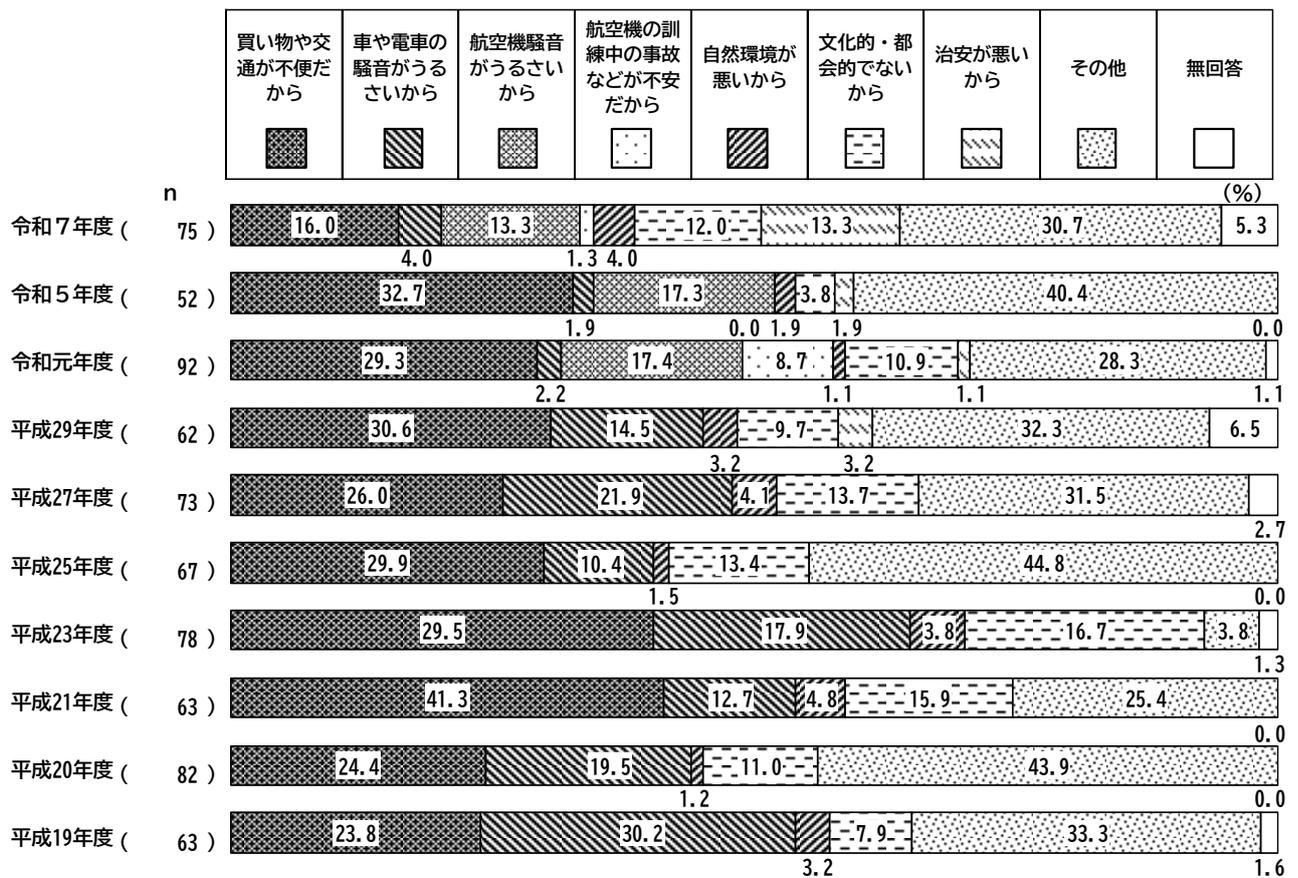


居住年数別にみると、「長く住んでいるから」は長期居住者（47.2%）で5割近くと高くなっている。「便利で暮らしやすいから」は短期居住者（45.7%）で4割半ばとなっている。「水がおいしいから」は中期居住者（14.7%）で1割半ばとなっている。（図1-3-4）

(4) 住み続けたいと思わない理由

(Q6で「どちらかというに住み続けたいとは思わない」「住み続けたいとは思わない」とお答えの方に)  
 Q8 昭島市に住み続けたいと思わない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。(n=75)

図1-4-1 住み続けたいと思わない理由（全体、過年度比較）



※「車や電車の騒音がうるさいから」は、平成29年度調査までは「車や飛行機の騒音がうるさいから」となっていた。  
 ※「航空機騒音がうるさいから」と「航空機の訓練中の事故などが不安だから」は、令和元年度調査から追加された選択肢。  
 ※「治安が悪いから」は、平成29年度調査から追加された選択肢。

昭島市に「住み続けたいとは思わない」と回答した人（75人）に、その理由を聞いたところ、「買い物や交通が不便だから」（16.0%）が1割半ばで最も高く、次いで「航空機騒音がうるさいから」（13.3%）、「治安が悪いから」（13.3%）、「文化的・都会的でないから」（12.0%）などの順となっている。

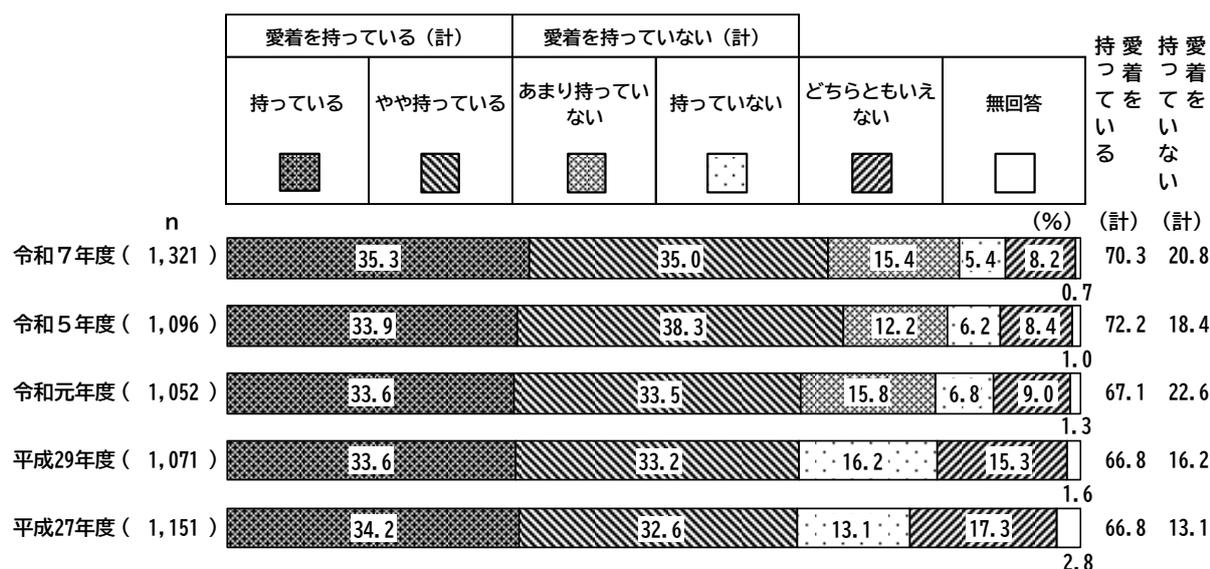
令和5年度調査と比較すると、「買い物や交通が不便だから」は16.7ポイント、「航空機騒音がうるさいから」は4.0ポイント、それぞれ減少している。一方、「治安が悪いから」は11.4ポイント、「文化的・都会的でないから」は8.2ポイント、それぞれ増加している。（図1-4-1）

## 2 昭島市への愛着度

## (1) ふるさととしての愛着度

Q9 あなたは、昭島市に対して、ふるさととしての親しみや愛着を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=1,321)

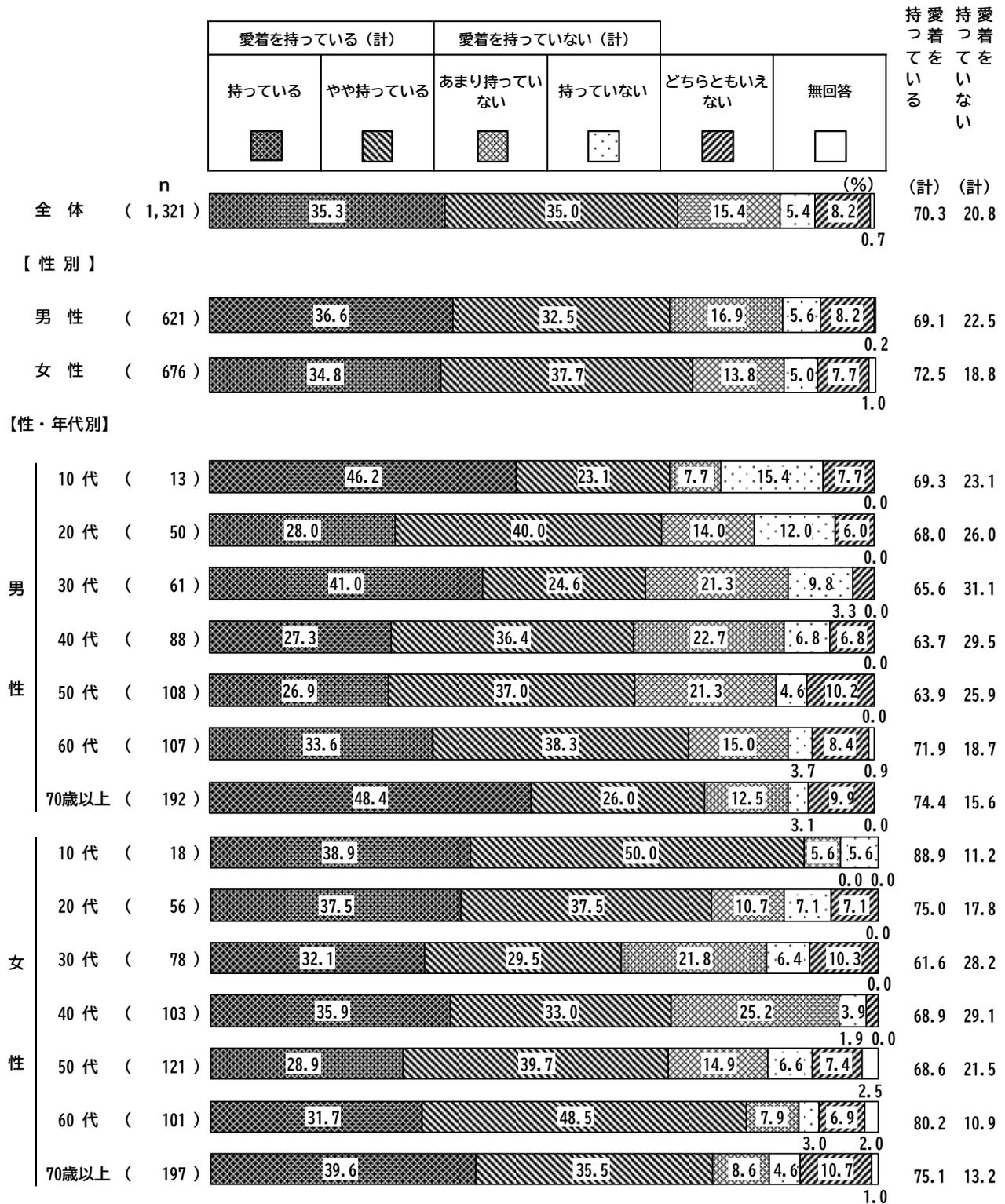
図2-1-1 ふるさととしての愛着度（全体、過年度比較）



昭島市に対して、ふるさととしての親しみや愛着を持っているか聞いたところ、「持っている」（35.3%）と「やや持っている」（35.0%）を合わせた『愛着を持っている（計）』（70.3%）は約7割となっている。一方、「あまり持っていない」（15.4%）と「持っていない」（5.4%）を合わせた『愛着を持っていない（計）』（20.8%）は約2割となっている。

令和5年度調査と比較すると、『愛着を持っている（計）』は1.9ポイント減少している。一方、『愛着を持っていない（計）』は2.4ポイント増加している。（図2-1-1）

図2-1-2 ふるさととしての愛着度（性・年代別）



性別にみると、『愛着を持っている（計）』は女性（72.5%）が男性（69.1%）より3.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『愛着を持っている（計）』は女性60代（80.2%）で約8割と高くなっている。一方、『愛着を持っていない（計）』は男性30代（31.1%）で3割以上となっている。

（図2-1-2）

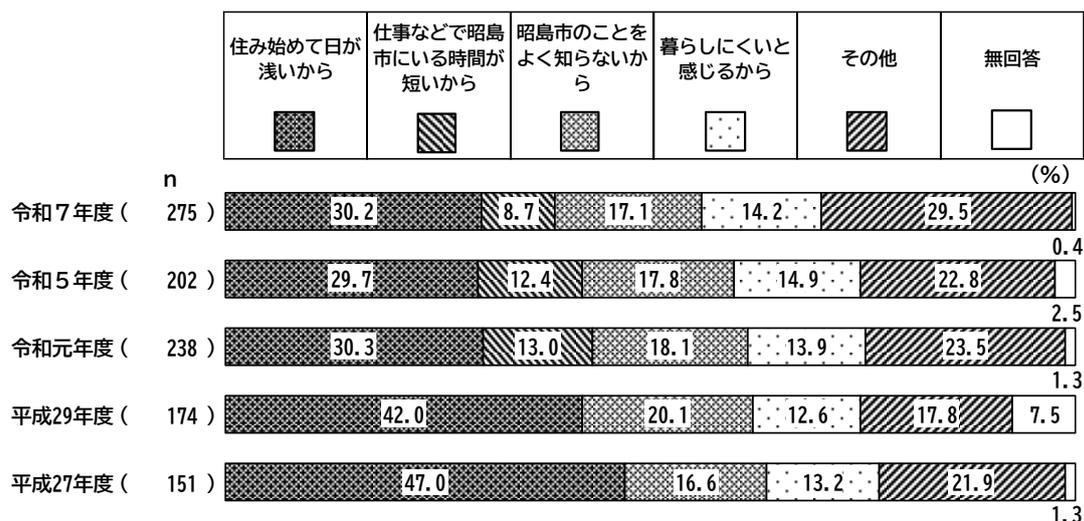
## (2) 親しみや愛着を持っていない理由

(Q9で「あまり持っていない」「持っていない」とお答えの方に)

Q10 親しみや愛着を持っていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

(n=275)

図2-2-1 親しみや愛着を持っていない理由（全体、過年度比較）



※「住み始めて日が浅いから」は、平成29年度調査までは「長く住んでいない、日中は仕事で昭島にいないなど、昭島にいる時間（期間）が短い」となっていた。

※「仕事などで昭島市にいる時間が短いから」は、令和元年度調査から追加された選択肢。

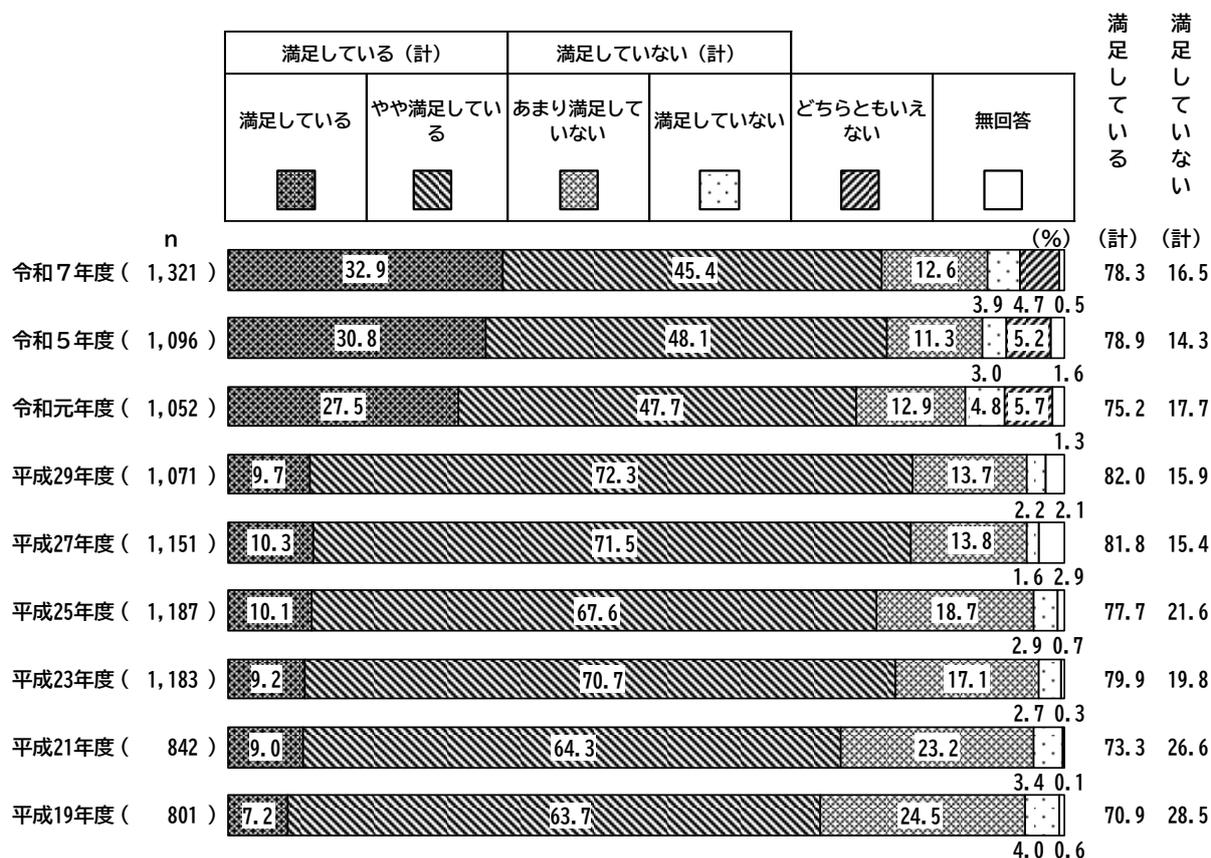
昭島市に親しみや愛着を「持っていない」と回答した人（275人）に、その理由を聞いたところ、「住み始めて日が浅いから」（30.2%）が約3割で最も高く、次いで「昭島市のことをよく知らないから」（17.1%）、「暮らしにくいと感じるから」（14.2%）、「仕事などで昭島市にいる時間が短いから」（8.7%）の順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「仕事などで昭島市にいる時間が短いから」は3.7ポイント減少している。（図2-2-1）

## (3) 暮らしの満足度

Q11 あなたは、現在の暮らしに満足していますか。次の中から1つだけ選んでください。  
(n=1,321)

図2-3-1 暮らしの満足度（全体、過年度比較）

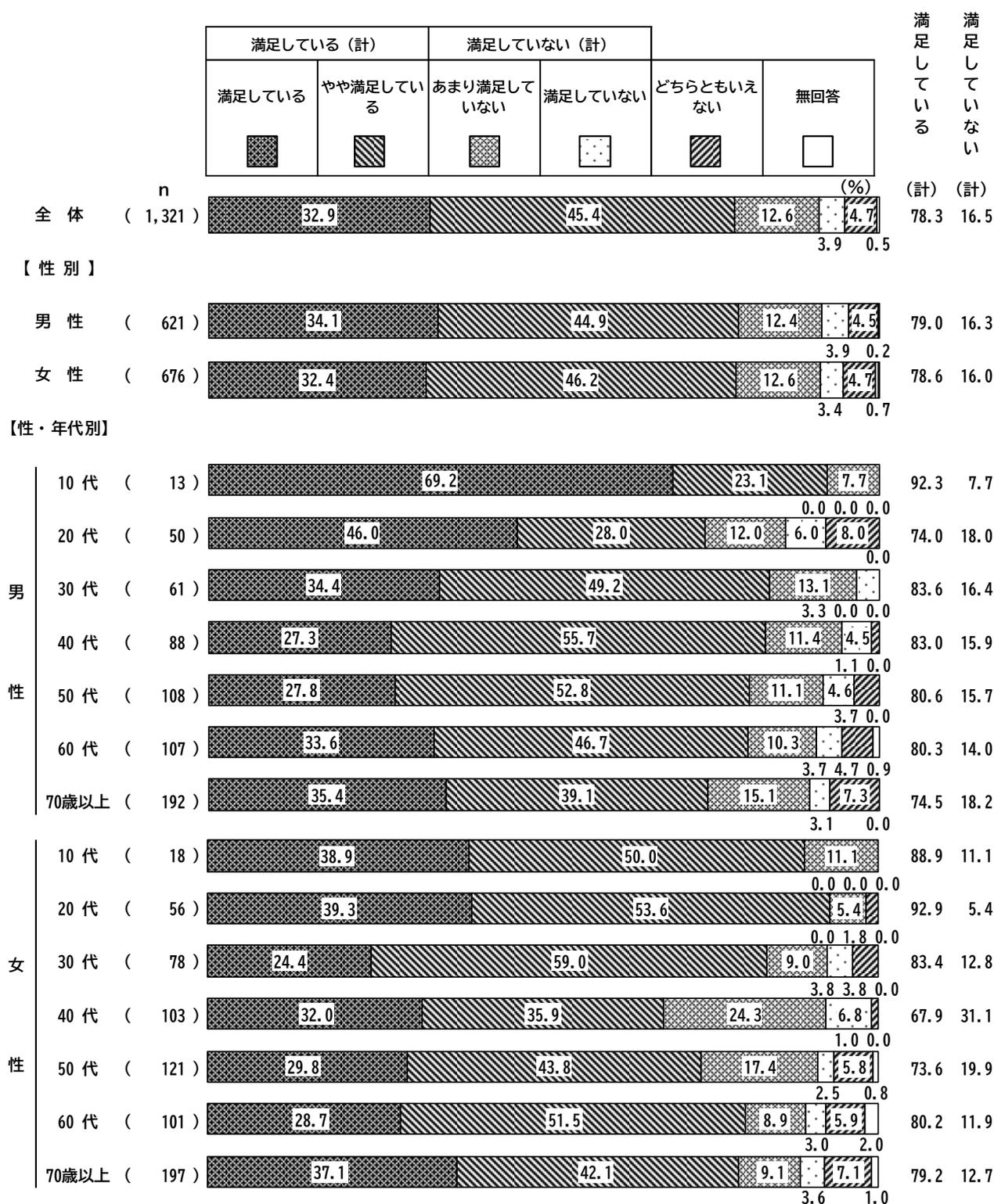


※「満足している」は、平成29年度調査までは「非常に満足している」となっていた。  
 ※「やや満足している」は、平成29年度調査までは「まあ満足している」となっていた。  
 ※「満足していない」は、平成29年度調査までは「全く満足していない」となっていた。  
 ※「どちらともいえない」は、令和元年度調査から追加された選択肢。

現在の暮らしに満足しているか聞いたところ、「満足している」(32.9%)と「やや満足している」(45.4%)を合わせた『満足している（計）』(78.3%)は8割近くとなっており、『満足している（計）』は令和元年度から増加傾向がみられる。一方、「あまり満足していない」(12.6%)と「満足していない」(3.9%)を合わせた『満足していない（計）』(16.5%)は2割近くとなっている。

(図2-3-1)

図2-3-2 暮らしの満足度（性・年代別）



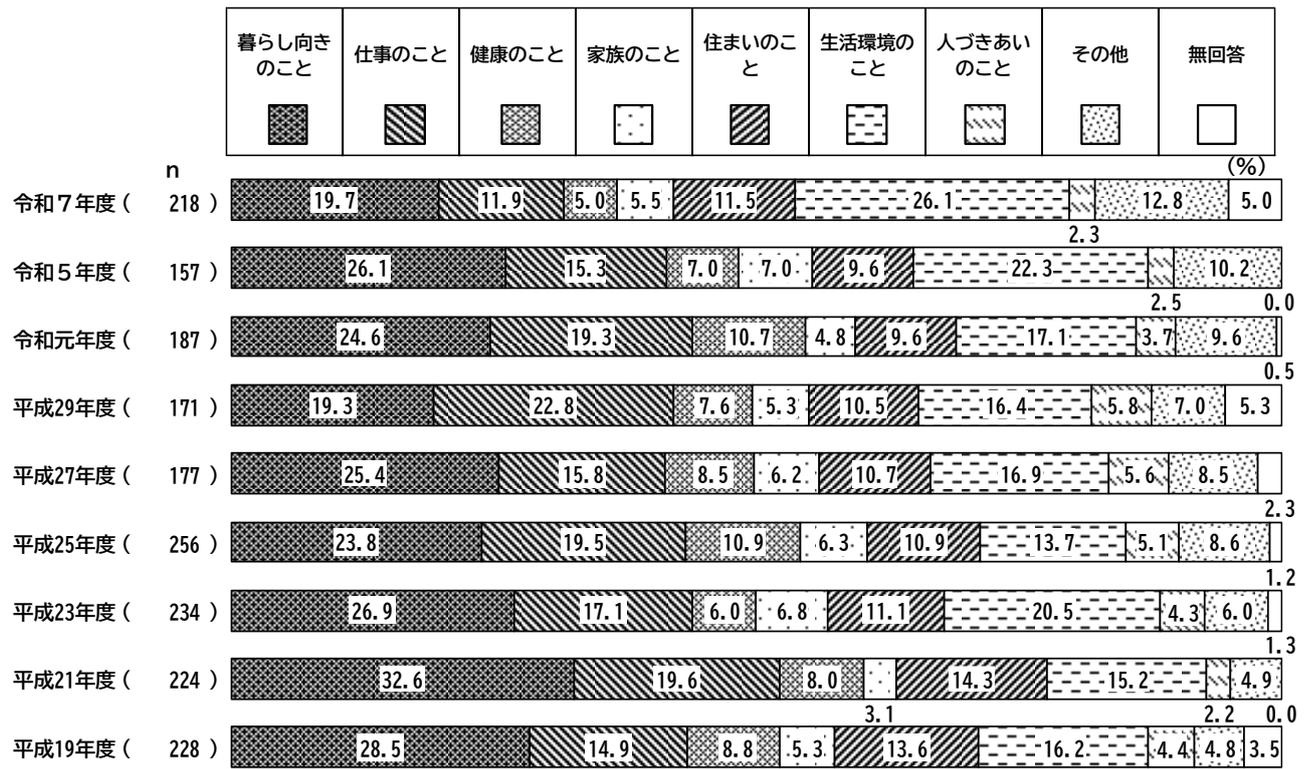
性別にみると、『満足している（計）』は男性（79.0%）が女性（78.6%）より0.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『満足している（計）』は女性20代（92.9%）で9割以上、男性30代（83.6%）で8割以上と高くなっている。一方、『満足していない（計）』は女性40代（31.1%）で3割以上となっている。（図2-3-2）

(4) 満足していない理由

(Q11で「あまり満足していない」「満足していない」とお答えの方に)  
 Q12 満足していないのはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。  
 (n=218)

図2-4-1 満足していない理由（全体、過年度比較）



現在の暮らしに「満足していない」と回答した人（218人）に、その理由を聞いたところ、「生活環境のこと」（26.1%）が3割近くで最も高く、次いで「暮らし向きのこと」（19.7%）、「仕事のこと」（11.9%）、「住まいのこと」（11.5%）などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「暮らし向きのこと」はより6.4ポイント、「仕事のこと」は3.4ポイント、それぞれ減少している。一方、「生活環境のこと」は3.8ポイント増加している。

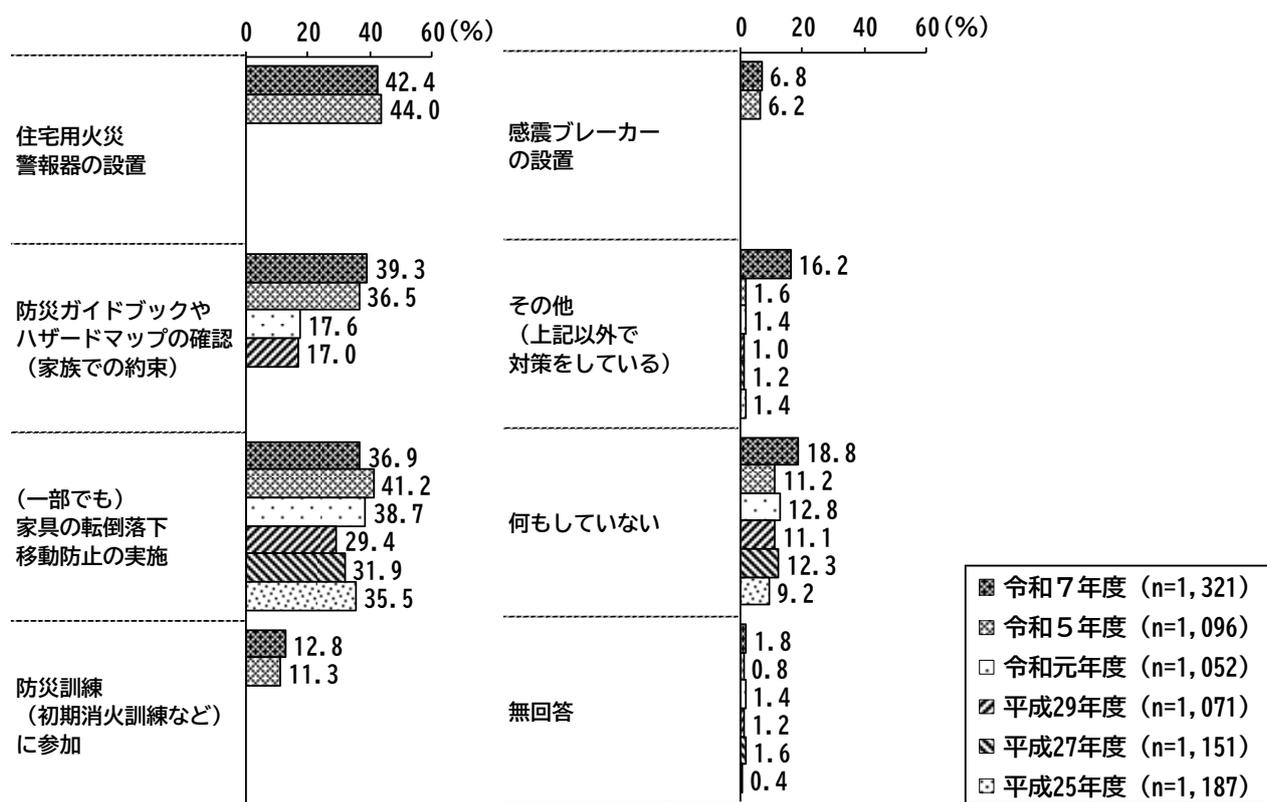
(図2-4-1)

## 3 災害対策

## (1) 災害に対する対策

Q13 あなたが、地震など災害に対して日頃から対策を講じていることは何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(n=1,321)

図3-1-1 災害に対する対策（全体、過年度比較）



※「防災ガイドブックやハザードマップの確認(家族での約束)」は、令和5年度調査までは「ハザードマップの確認」となっており、平成29年度調査から追加された選択肢。

※「住宅用火災警報器の設置」、「防災訓練(初期消火訓練など)に参加」、「感震ブレーカーの設置」は、令和5年度調査から追加された選択肢。

※「(一部でも)家具の転倒落下移動防止の実施」は、令和元年度調査までは「家具の転倒防止」となっていた。

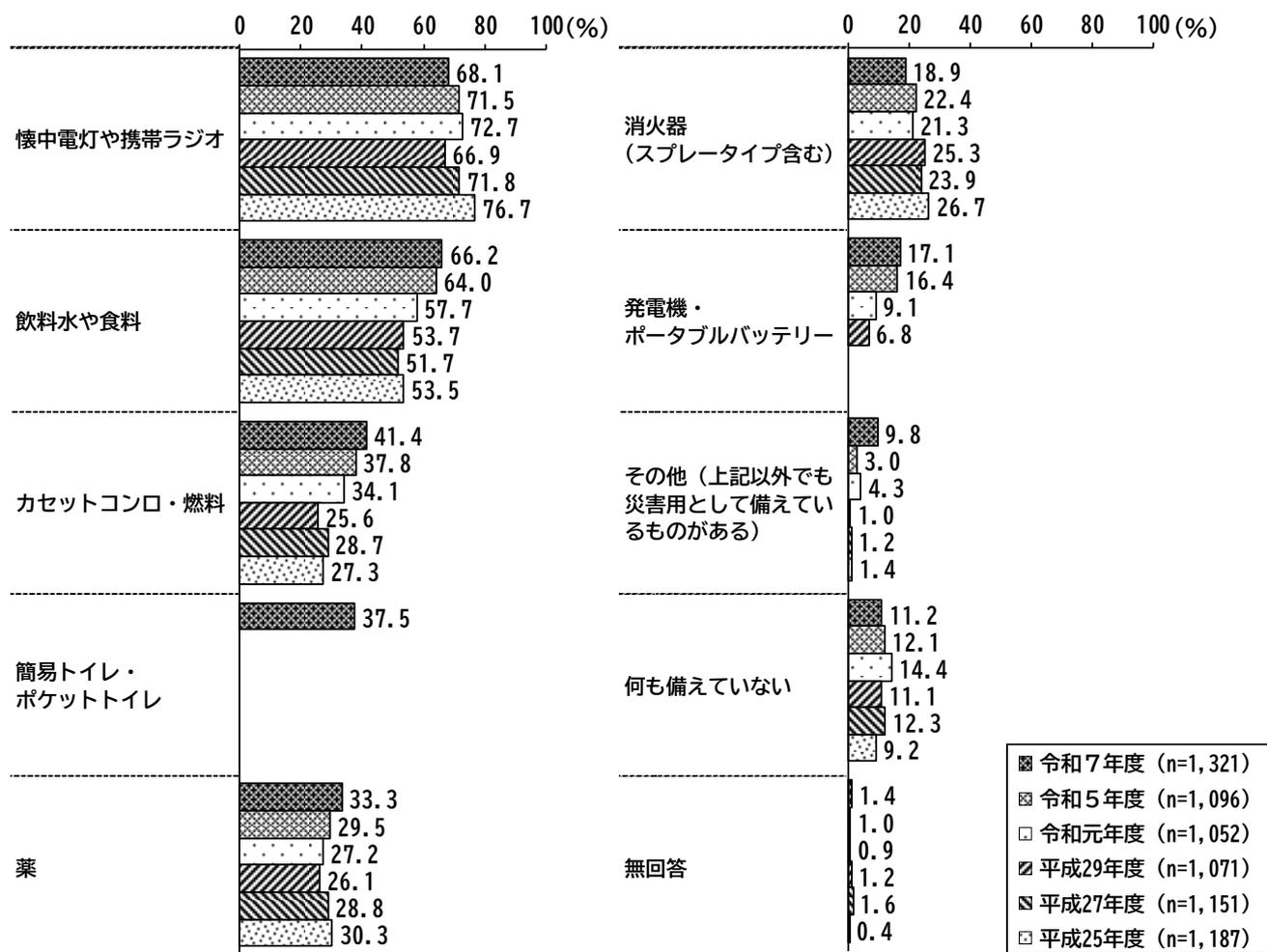
災害に対して日頃から対策を講じていることを聞いたところ、「住宅用火災警報器の設置」(42.4%)が4割以上で最も高く、次いで「防災ガイドブックやハザードマップの確認(家族での約束)」(39.3%)、「(一部でも)家具の転倒落下移動防止の実施」(36.9%)、「防災訓練(初期消火訓練など)に参加」(12.8%)などの順となっている。(図3-1-1)



## (2) 災害に対する備え

Q14 あなたが、地震など災害に対して日頃から備えているものは何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(n=1,321)

図3-2-1 災害に対する備え（全体、過年度比較）



※「簡易トイレ・ポケットトイレ」は、令和7年度調査から追加された選択肢。

※「薬」は、令和5年度調査までは「救急医薬品」となっていた。

※「消火器 (スプレータイプ含む)」は、令和5年度調査までは「消火器」となっていた。

※「発電機・ポータブルバッテリー」は、平成29年度調査から追加された選択肢で、令和5年度調査までは「発電機・バッテリー充電器」となっていた。

※「その他 (上記以外でも災害用として備えているものがある)」は、令和5年度調査までは「その他」となっていた。

※「何も備えていない」は、平成29年度調査までは「何もしていない」となっていた。

災害に対して日頃から備えているものを聞いたところ、「懐中電灯や携帯ラジオ」(68.1%)が7割近くで最も高く、次いで「飲料水や食料」(66.2%)、「カセットコンロ・燃料」(41.4%)、「簡易トイレ・ポケットトイレ」(37.5%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「飲料水や食料」は2.2ポイント、「カセットコンロ・燃料」は3.6ポイント、それぞれ増加している。一方、「懐中電灯や携帯ラジオ」は3.4ポイント減少している。

(図3-2-1)

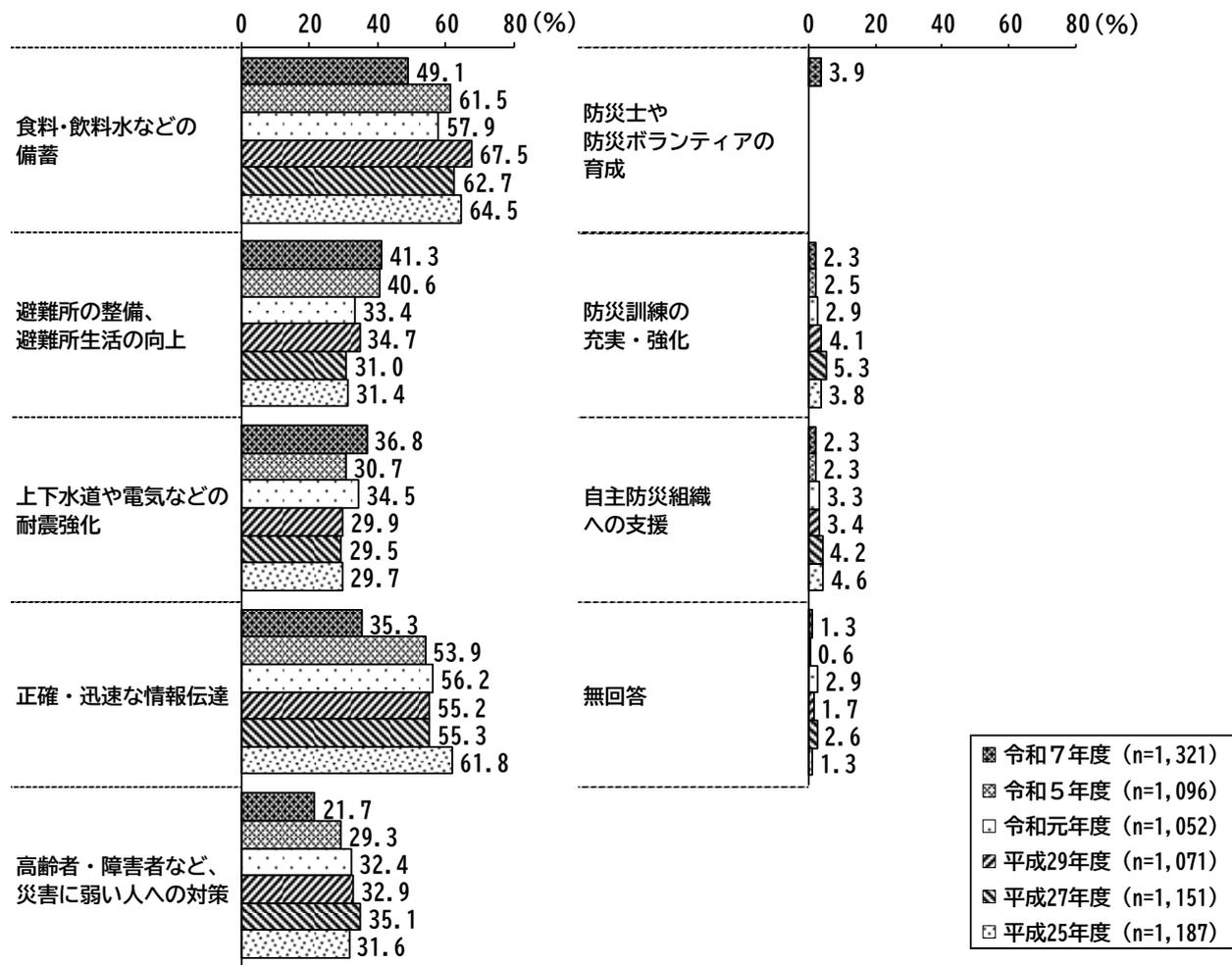


## (3) 市が災害対策としてすべきこと

Q15 あなたは、大規模地震や集中豪雨などの自然災害に備えるため、昭島市はどのような対策を講じる必要があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

(n=1,321)

図3-3-1 市が災害対策としてすべきこと（全体、過年度比較）



※「避難所の整備、避難所生活の向上」は、令和5年度調査までは「避難場所・避難道路などの整備」となっていた。

※「上下水道や電気などの耐震強化」は、平成29年度調査までは「水道や電気などの耐震強化」となっていた。

※「防災士や防災ボランティアの育成」は、令和7年度調査から追加された選択肢。

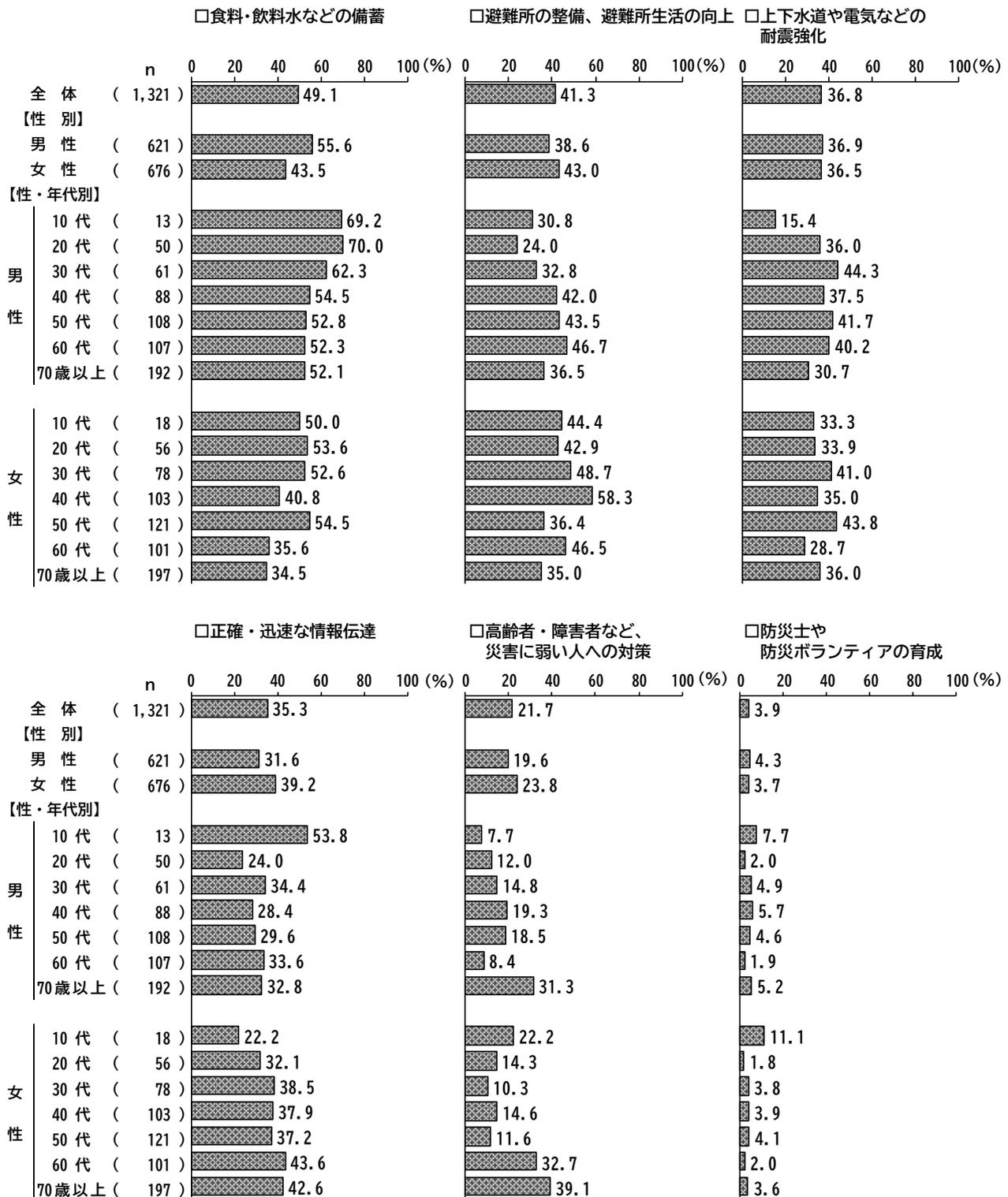
※「防災訓練の充実・強化」は、令和5年度調査までは「防災訓練の実施」となっていた。

※「自主防災組織への支援」は、令和5年度調査までは「自主防災組織の整備充実」となっていた。

自然災害に備えるため、昭島市はどのような対策を講じる必要があるか聞いたところ、「食料・飲料水などの備蓄」(49.1%)が約5割で最も高く、次いで「避難所の整備、避難所生活の向上」(41.3%)、「上下水道や電気などの耐震強化」(36.8%)、「正確・迅速な情報伝達」(35.3%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「上下水道や電気などの耐震強化」は6.1ポイント増加している。一方、「食料・飲料水などの備蓄」は12.4ポイント、「正確・迅速な情報伝達」は18.6ポイント、それぞれ減少している。(図3-3-1)

図3-3-2 市が災害対策としてすべきこと（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「食料・飲料水などの備蓄」は男性（55.6%）が女性（43.5%）より12.1ポイント高くなっている。一方、「避難所の整備、避難所生活の向上」は女性（43.0%）が男性（38.6%）より4.4ポイント高くなっている。

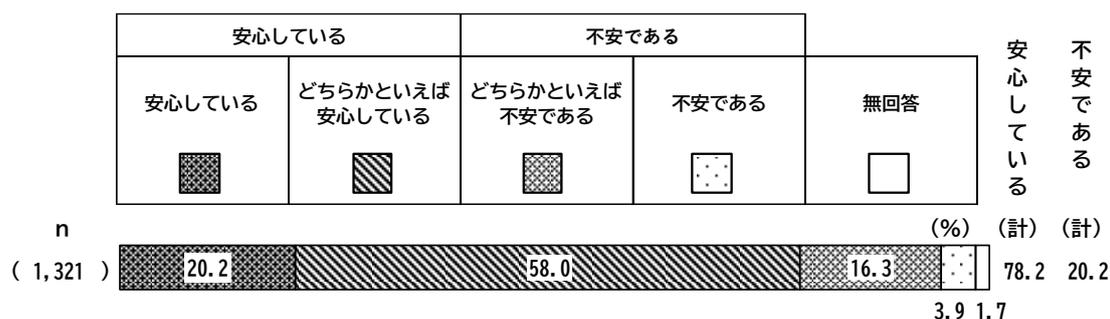
性・年代別にみると、「食料・飲料水などの備蓄」は男性20代（70.0%）で7割と高くなっている。「避難場所の整備、避難生活の向上」は女性40代（58.3%）で6割近くと高くなっている。「上下水道や電気などの耐震強化」は男性30代（44.3%）で4割半ばとなっている。（図3-3-2）

## 4 防犯

## (1) 住んでいる地域の治安（防犯）への安心

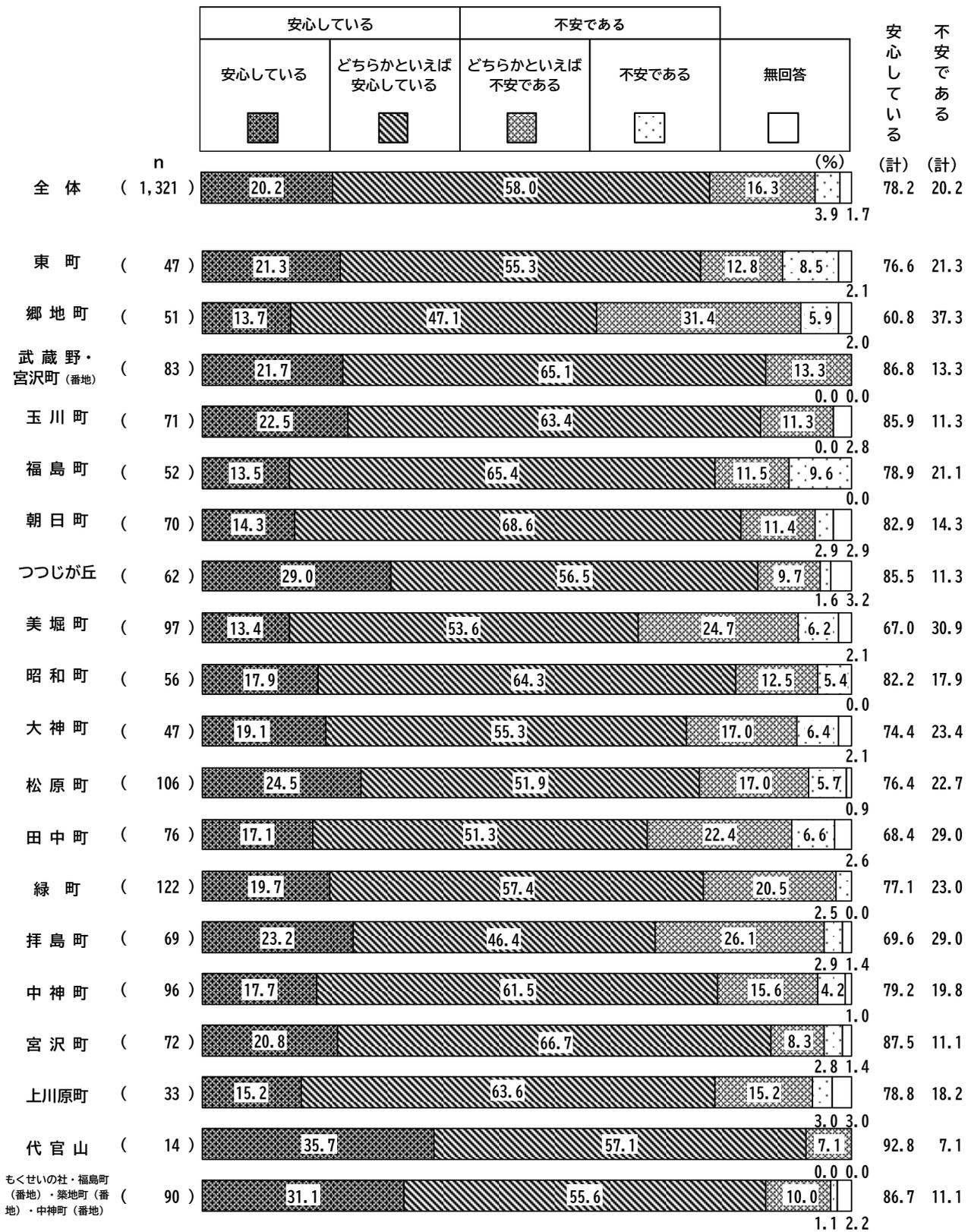
Q16 あなたは、自分の住んでいる地域が治安（防犯）の面で安全で安心して暮らせる場所だと感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。 (n=1,321)

図4-1-1 安全で安心して暮らせる場所だと感じているか（全体）



自分の住んでいる地域が治安（防犯）の面で安全で安心して暮らせる場所だと感じているか聞いたところ、「安心している」（20.2%）と「どちらかといえば安心している」（58.0%）を合わせた『安心している（計）』（78.2%）は8割近くとなっている。一方、「どちらかといえば不安である」（16.3%）と「不安である」（3.9%）を合わせた『不安である（計）』（20.2%）は約2割となっている。（図4-1-1）

図4-1-2 安全で安心して暮らせる場所だと感じているか（居住地域別）

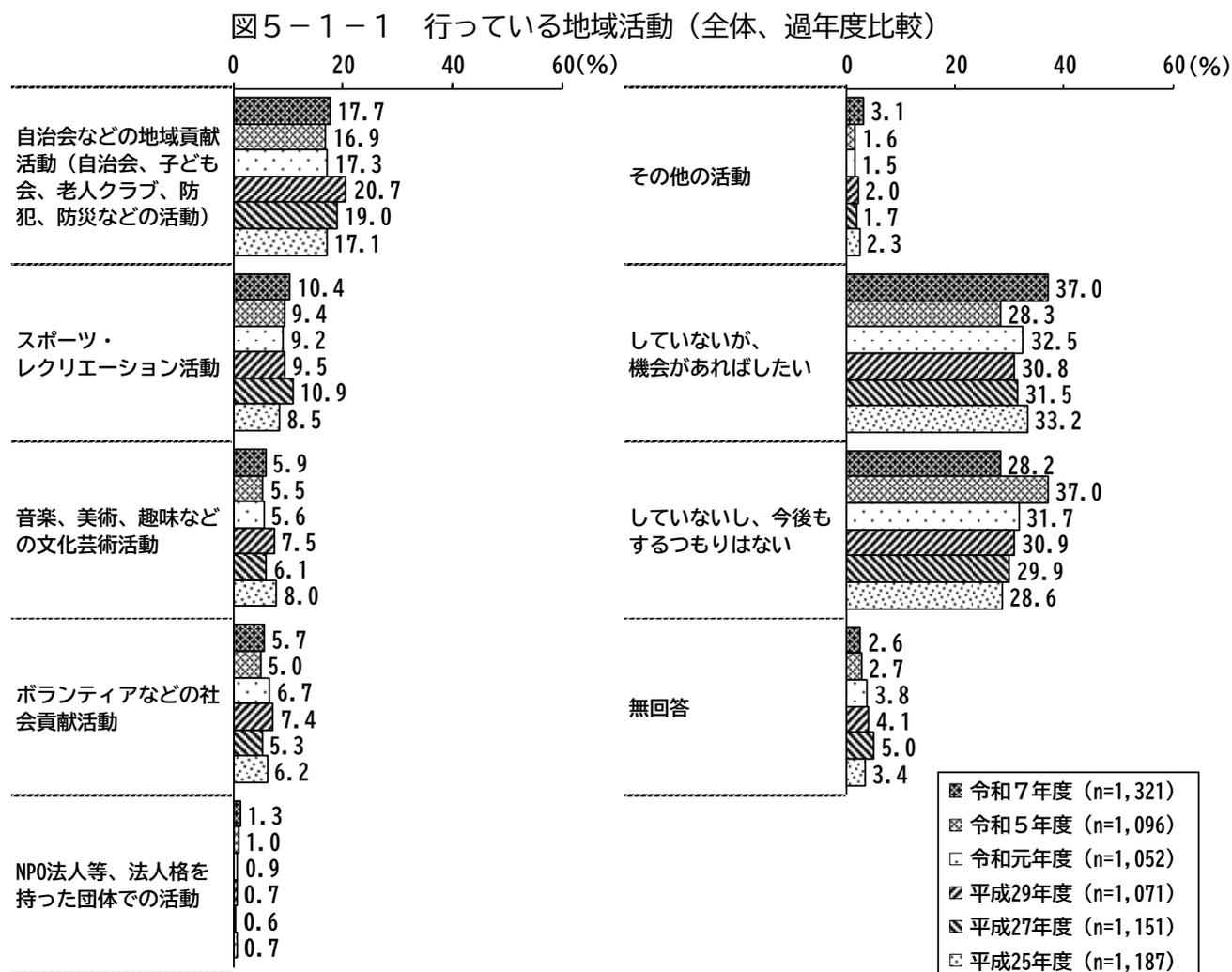


居住地域別にみると、『安心している(計)』は宮沢町(87.5%)、武蔵野・宮沢町(番地)(86.8%)、もくせい社・福島町(番地)・築地町(番地)・中神町(番地)(86.7%)で9割近くと高くなっている。(図4-1-2)

## 5 地域活動・自治会

## (1) 行っている地域活動

Q17 あなたは、現在、地域でどのような活動をしていますか。次の中からあてはまるものをいくつかも選んでください。  
(n=1,321)



※「NPO法人等、法人格を持った団体での活動」は、令和5年度調査までは「NPO法人での活動」となっていた。

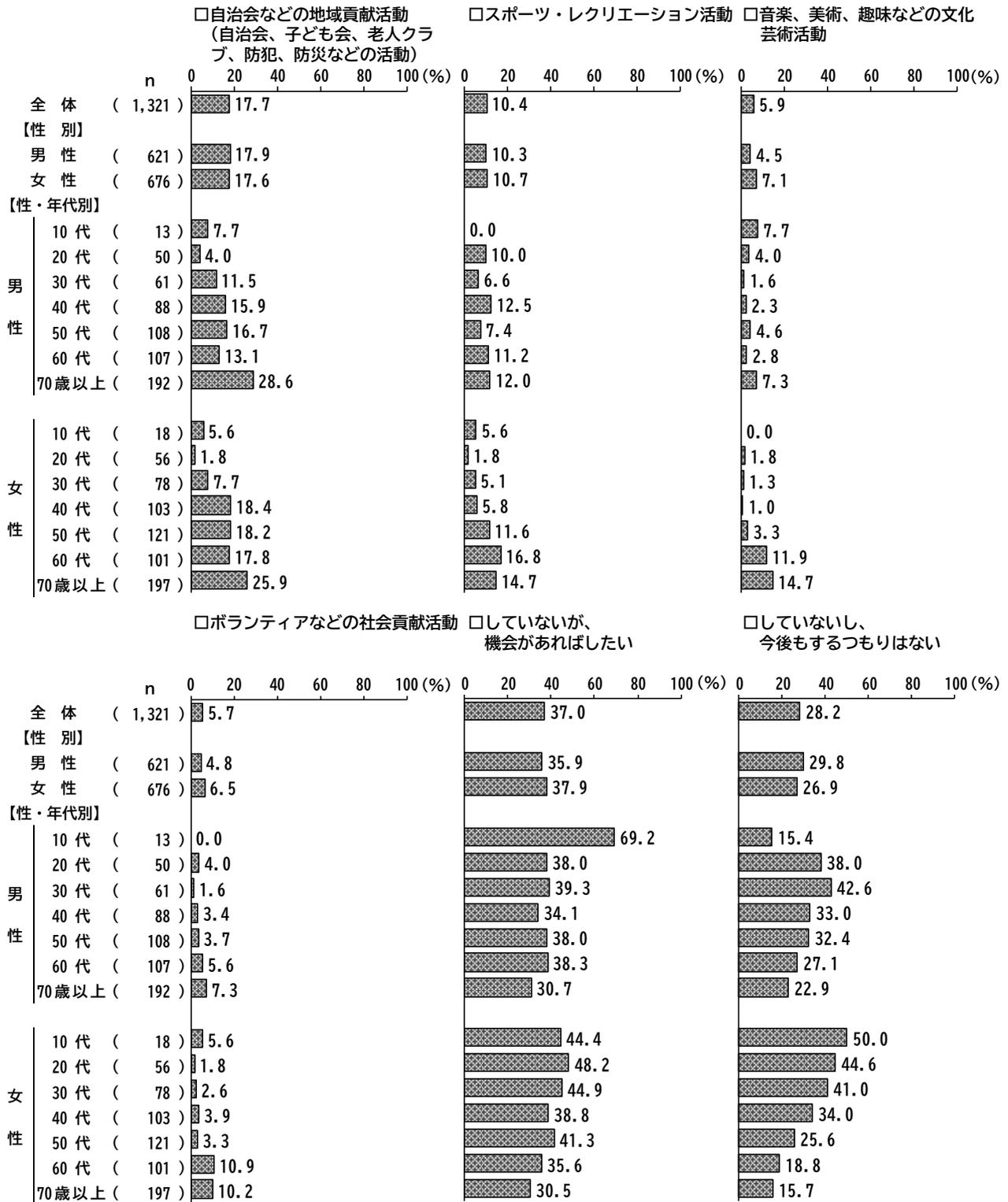
現在、地域でどのような活動をしているか聞いたところ、「自治会などの地域貢献活動（自治会、子ども会、老人クラブ、防犯、防災などの活動）」（17.7%）が2割近くで最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」（10.4%）、「音楽、美術、趣味などの文化芸術活動」（5.9%）、「ボランティアなどの社会貢献活動」（5.7%）などの順となっている。一方、「していないが、機会があればしたい」（37.0%）は4割近く、「していないし、今後もしない」（28.2%）は3割近くとなっている。

令和5年度調査と比較すると、「していないが、機会があればしたい」は8.7ポイント増加している。一方、「していないし、今後もしない」は8.8ポイント減少している。

(図5-1-1)

図5-1-2 行っている地域活動（性・年代別）

-上位4項目+「していないが、機会があればしたい」、「していないし、今後もするつもりはない」

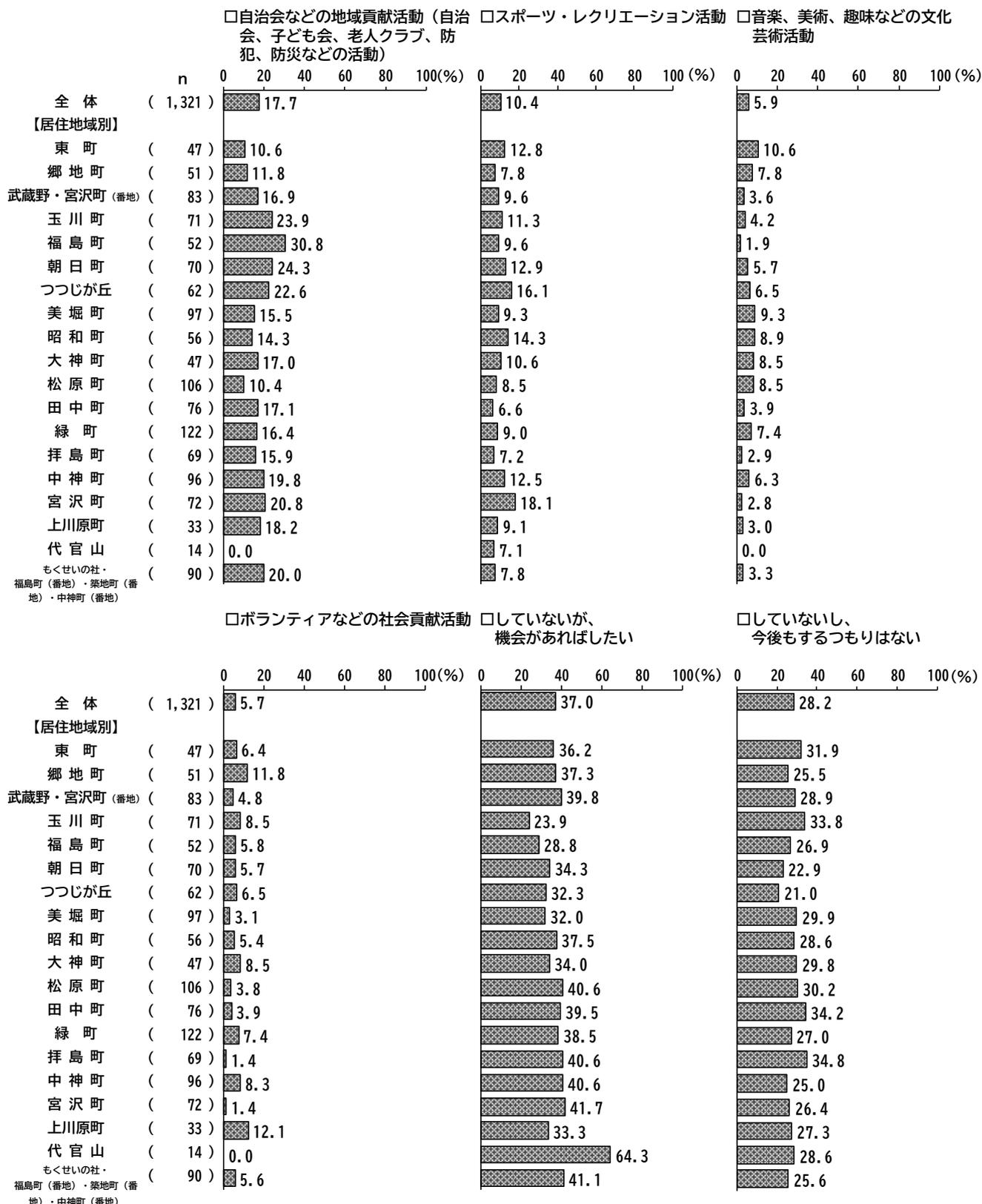


性別にみると、「していないし、今後もするつもりはない」は男性（29.8%）が女性（26.9%）より2.9ポイント高くなっている。一方、「していないが、機会があればしたい」は女性（37.9%）が男性（35.9%）より2.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「自治会などの地域貢献活動（自治会、子ども会、老人クラブ、防犯、防災などの活動）」は男性70歳以上（28.6%）で3割近くと高くなっている。一方、「していないし、今後もするつもりはない」は女性20代（44.6%）で4割半ばとなっている。（図5-1-2）

図5-1-3 行っている地域活動（居住地域別）

-上位4項目+「していないが、機会があればしたい」、「していないし、今後もするつもりはない」

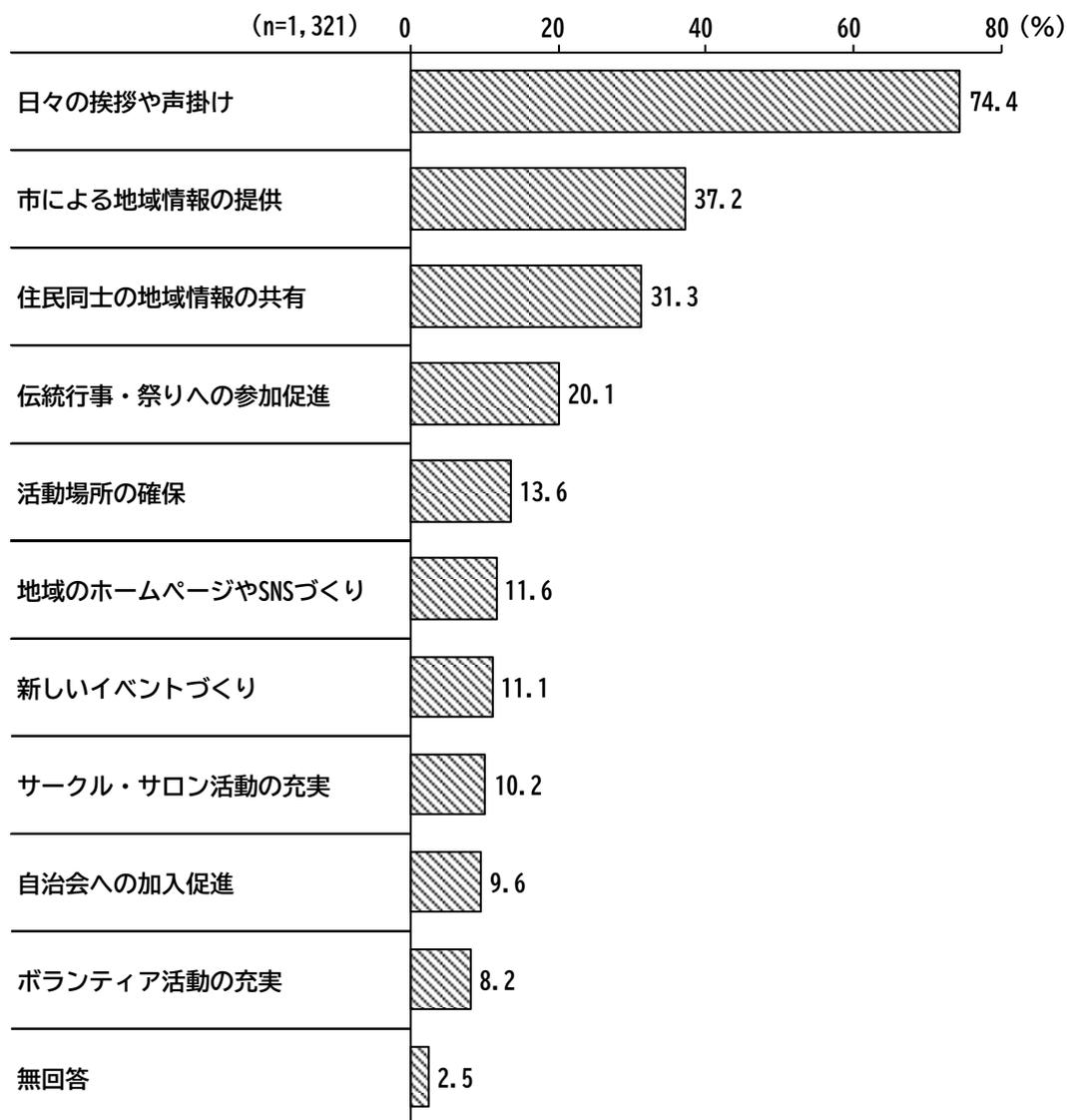


居住地域別にみると、「自治会などの地域貢献活動（自治会、子ども会、老人クラブ、防犯、防災などの活動）」は福島町（30.8％）で約3割となっている。「していないが、機会があればしたい」は宮沢町（41.7％）で4割以上となっている。一方、「していないし、今後もするつもりはない」は拝島町（34.8％）で3割半ばとなっている。（図5-1-3）

## (2) 地域での人と人とのつながりづくりの必要性

Q18 地域での人と人とのつながりのために何が必要と考えますか。特にあてはまるものを次の中から3つまで選んでください。 (n=1,321)

図5-2-1 地域での人と人とのつながりづくりの必要性 (全体)



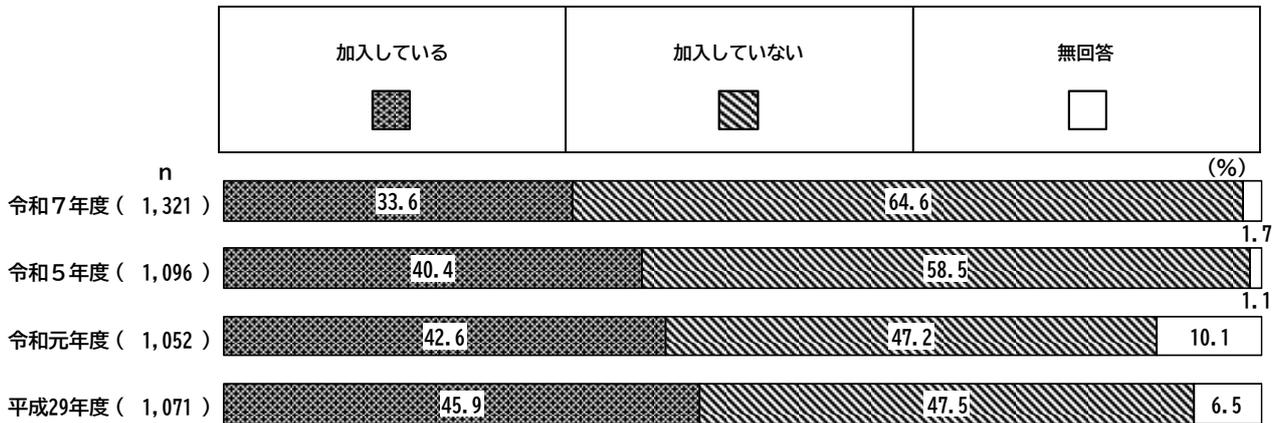
地域での人と人とのつながりづくりの必要性を聞いたところ、「日々の挨拶や声掛け」(74.4%)が7割半ばで最も高く、次いで「市による地域情報の提供」(37.2%)、「住民同士の地域情報の共有」(31.3%)、「伝統行事・祭りへの参加促進」(20.1%)などの順となっている。(図5-2-1)



(3) 自治会への加入状況

Q19 あなたは、現在、自治会に加入していますか。次の中から選んでください。  
 (n=1,321)

図5-3-1 自治会への加入状況（全体、過年度比較）



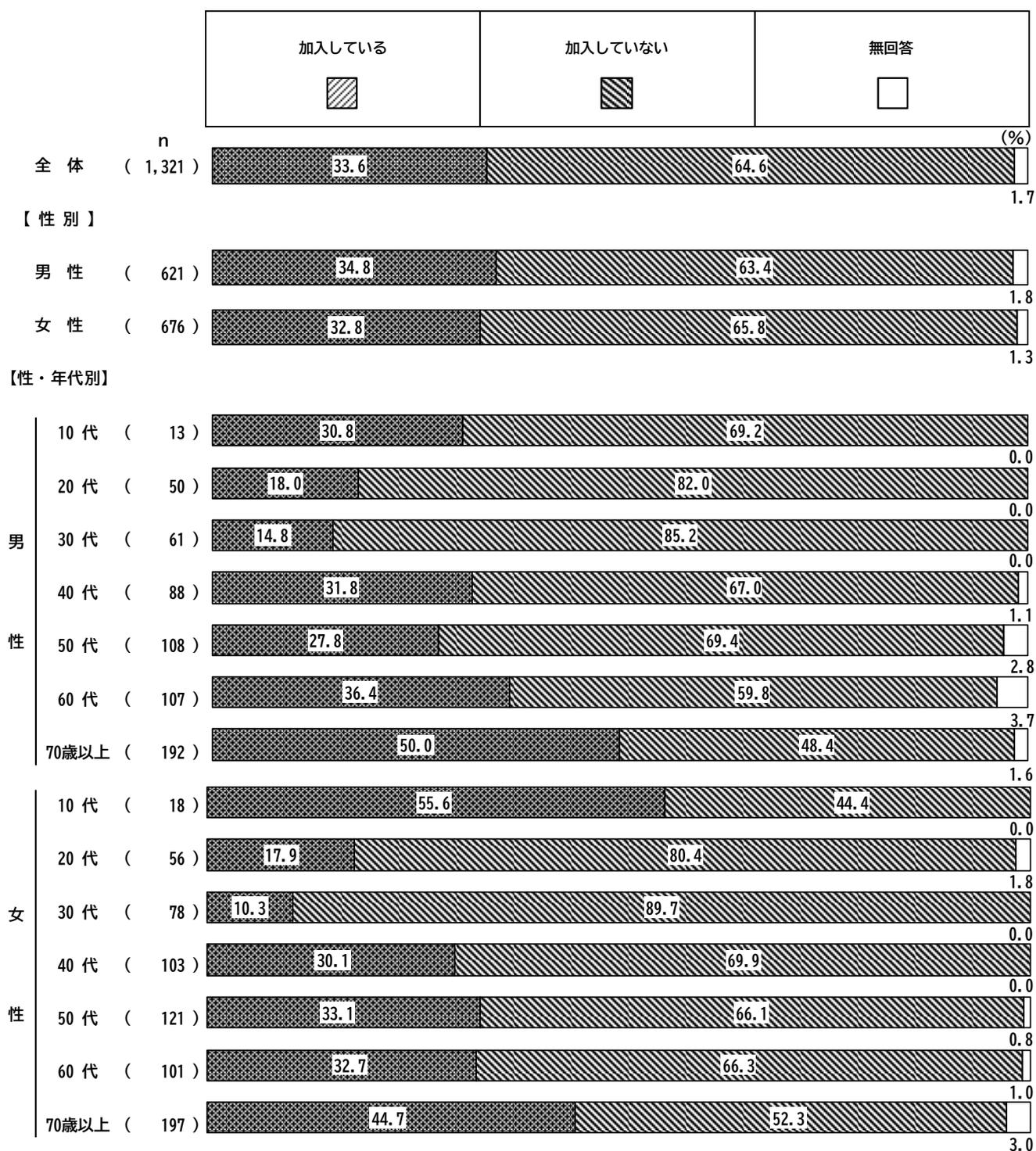
※令和元年度調査では、「地域に自治会がない」の選択肢が設けられていた。  
 ※令和元年度調査までは、「わからない」の選択肢が設けられていた。  
 ※令和元年度調査の「加入していない」は、「加入していない」「地域に自治会がない」を合算している。  
 ※令和元年度までの「無回答」は、「無回答」と「わからない」を合算している。

現在、自治会に加入しているか聞いたところ、「加入している」(33.6%)が3割以上、「加入していない」(64.6%)は6割半ばとなっている。

令和5年度調査と比較すると、「加入していない」は6.1ポイント増加している。

(図5-3-1)

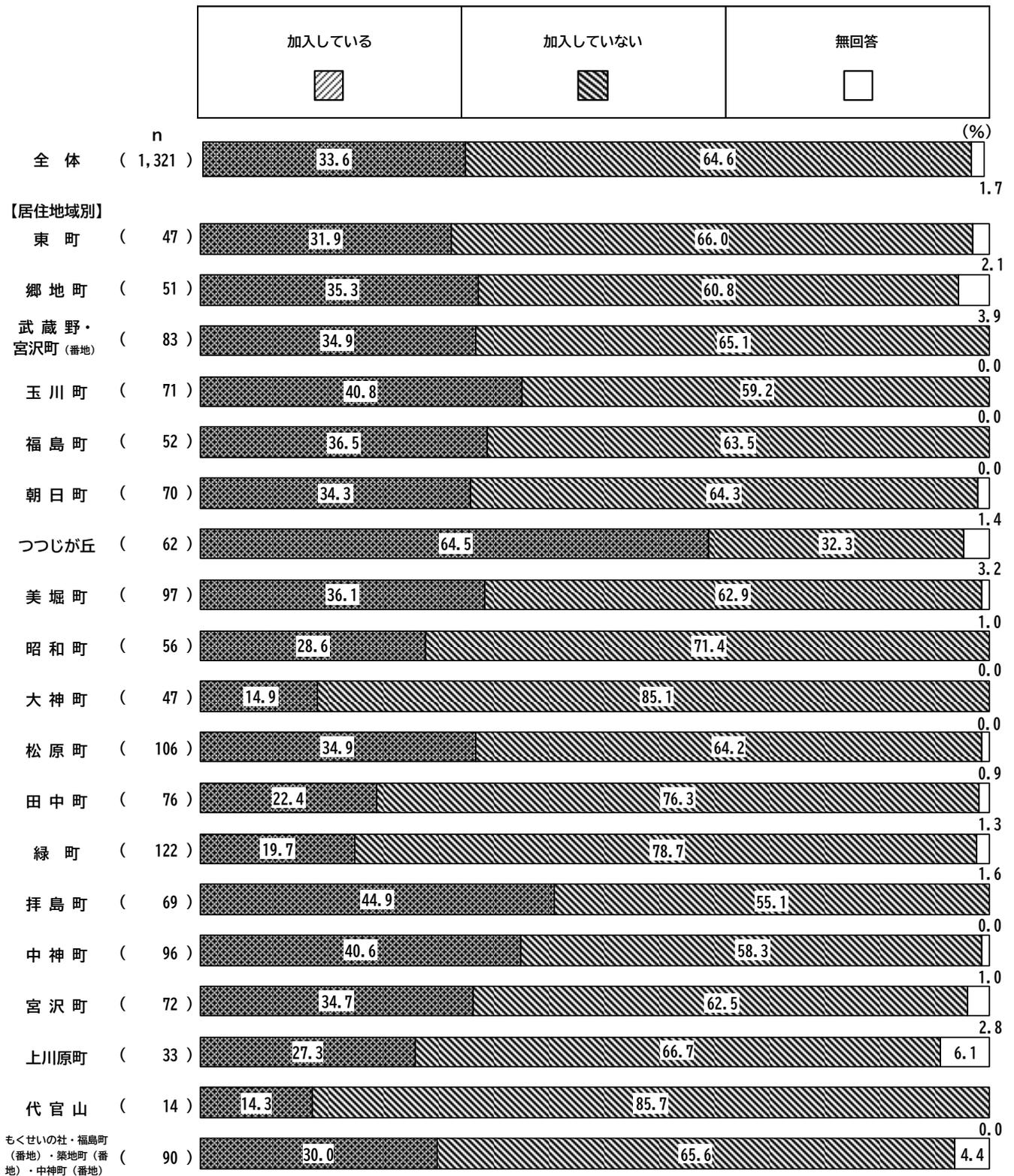
図5-3-2 自治会への加入状況（性・年代別）



性別にみると、「加入している」は男性（34.8%）が女性（32.8%）より2.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「加入している」は男性70歳以上（50.0%）で5割と高くなっている。一方、「加入していない」は女性30代（89.7%）で約9割と高くなっている。（図5-3-2）

図5-3-3 自治会への加入状況（居住地域別）



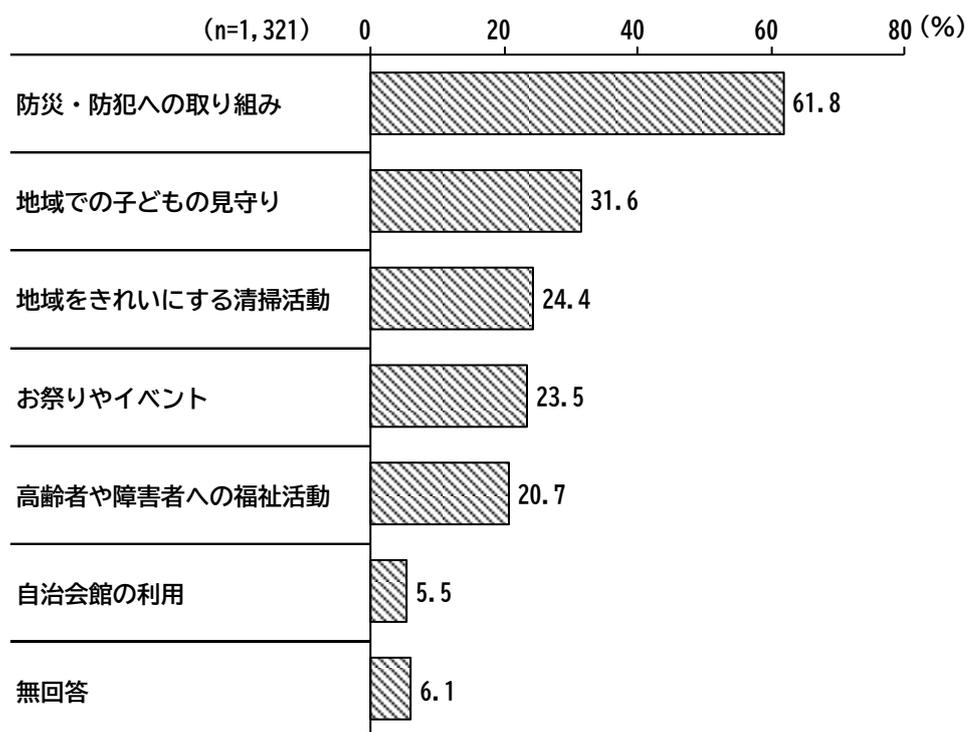
居住地域別にみると、「加入している」はつつじが丘（64.5%）6割半ばと高くなっている。一方、「加入していない」は大神町（85.1%）で8割半ばと高くなっている。（図5-3-3）

## (4) 自治会活動で重要だと思うもの

(自治会に加入されていない方も御回答ください。)

Q20 自治会での活動のうち、あなたが重要だと思うものや参加したいと思うものを次の中から2つまで選んでください。 (n=1,321)

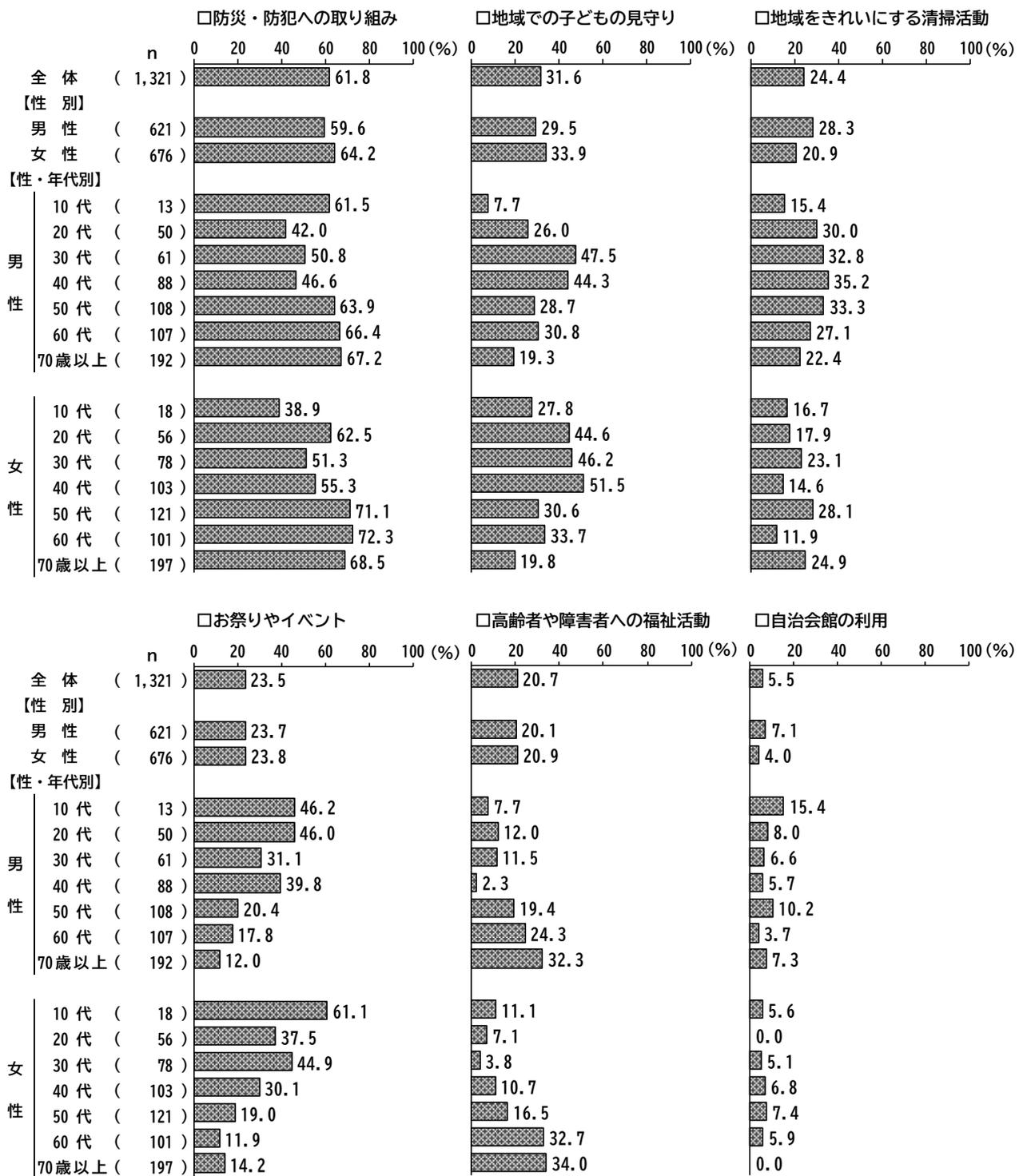
図5-4-1 自治会活動で重要だと思うもの (全体)



自治会での活動のうち、重要だと思うものや参加したいと思うものを聞いたところ、「防災・防犯への取り組み」(61.8%)が6割以上で最も高く、次いで「地域での子どもの見守り」(31.6%)、「地域をきれいにする清掃活動」(24.4%)、「お祭りやイベント」(23.5%)などの順となっている。

(図5-4-1)

図5-4-2 自治会活動で重要だと思うもの（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「防災・防犯への取り組み」は女性（64.2%）が男性（59.6%）より4.6ポイント高くなっている。一方、「地域をきれいにする清掃活動」は男性（28.3%）が女性（20.9%）より7.4ポイント高くなっている。

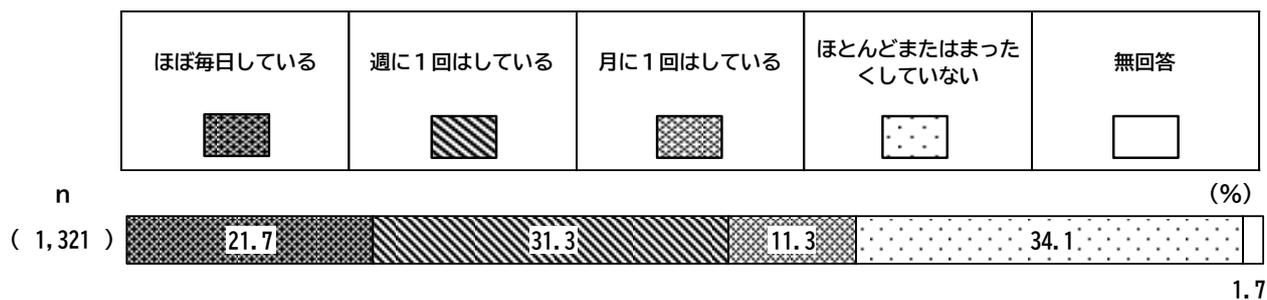
性・年代別にみると、「防災・防犯への取り組み」は女性60代（72.3%）で7割以上と高くなっている。「地域での子どもの見守り」は女性40代（51.5%）で5割以上と高くなっている。「地域をきれいにする清掃活動」は男性40代（35.2%）で3割半ばとなっている。（図5-4-2）

## 6 生涯学習

## (1) スポーツの頻度

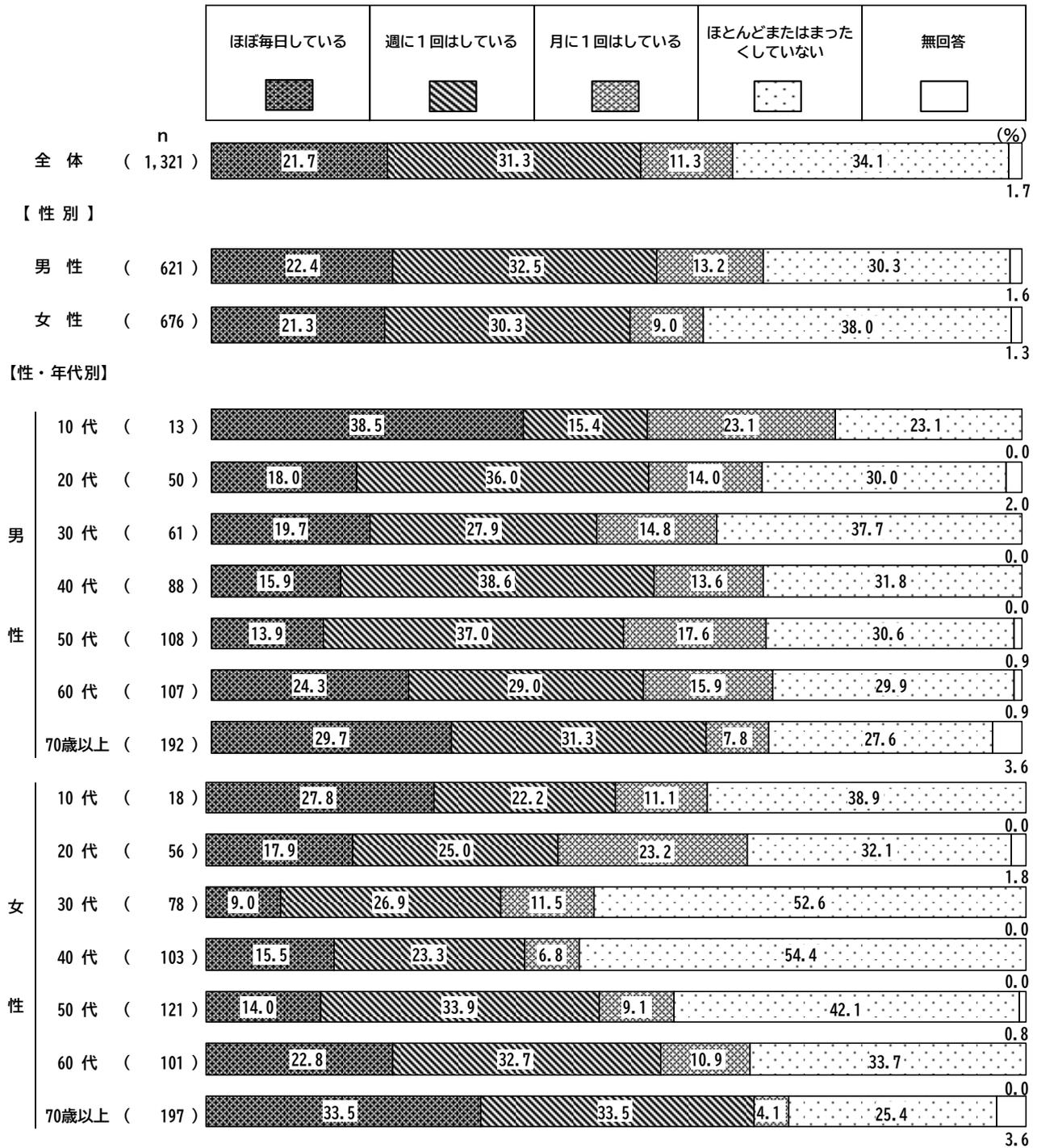
Q21 あなたは、この1年間でどのようなスポーツ（ジョギングやウォーキングなどの軽い運動も含みます。）をしましたか。次の中から1つだけ選んでください。（n=1,321）

図6-1-1 スポーツの頻度（全体）



この1年間で取り組んだスポーツの頻度について聞いたところ、「ほとんどまたはまったくしていない」(34.1%)が3割半ばで最も高く、次いで、「週に1回はしている」(31.3%)、「ほぼ毎日している」(21.7%)、「月に1回はしている」(11.3%)の順となっている。(図6-1-1)

図6-1-2 スポーツの頻度（性・年代別）



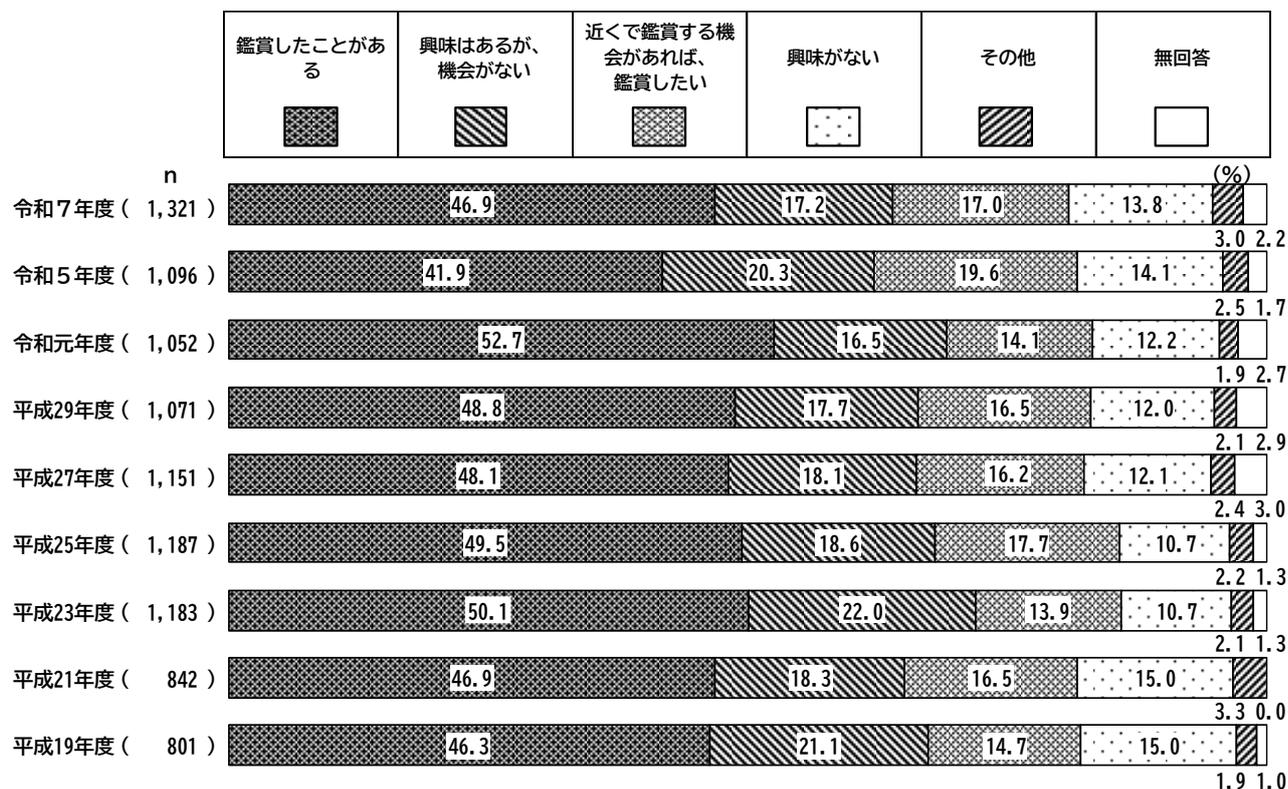
性別にみると、「週に1回はしている」は男性（32.5%）が女性（30.3%）より2.2ポイント高くなっている。一方、「ほとんどまたはまったくしていない」は女性（38.0%）が男性（30.3%）より7.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「ほぼ毎日している」は女性70歳以上（33.5%）で3割以上となっている。「週に1回はしている」は男性40代（38.6%）で4割近くとなっている。一方、「ほとんどまたはまったくしていない」は女性40代（54.4%）で5割半ば、女性30代（52.6%）で5割以上と高くなっている。（図6-1-2）

## (2) 音楽・演劇・美術などの鑑賞

Q22 あなたは、この1年間に音楽、演劇、美術などを外出して鑑賞したことがありますか。  
次の中から1つだけ選んでください。(n=1,321)

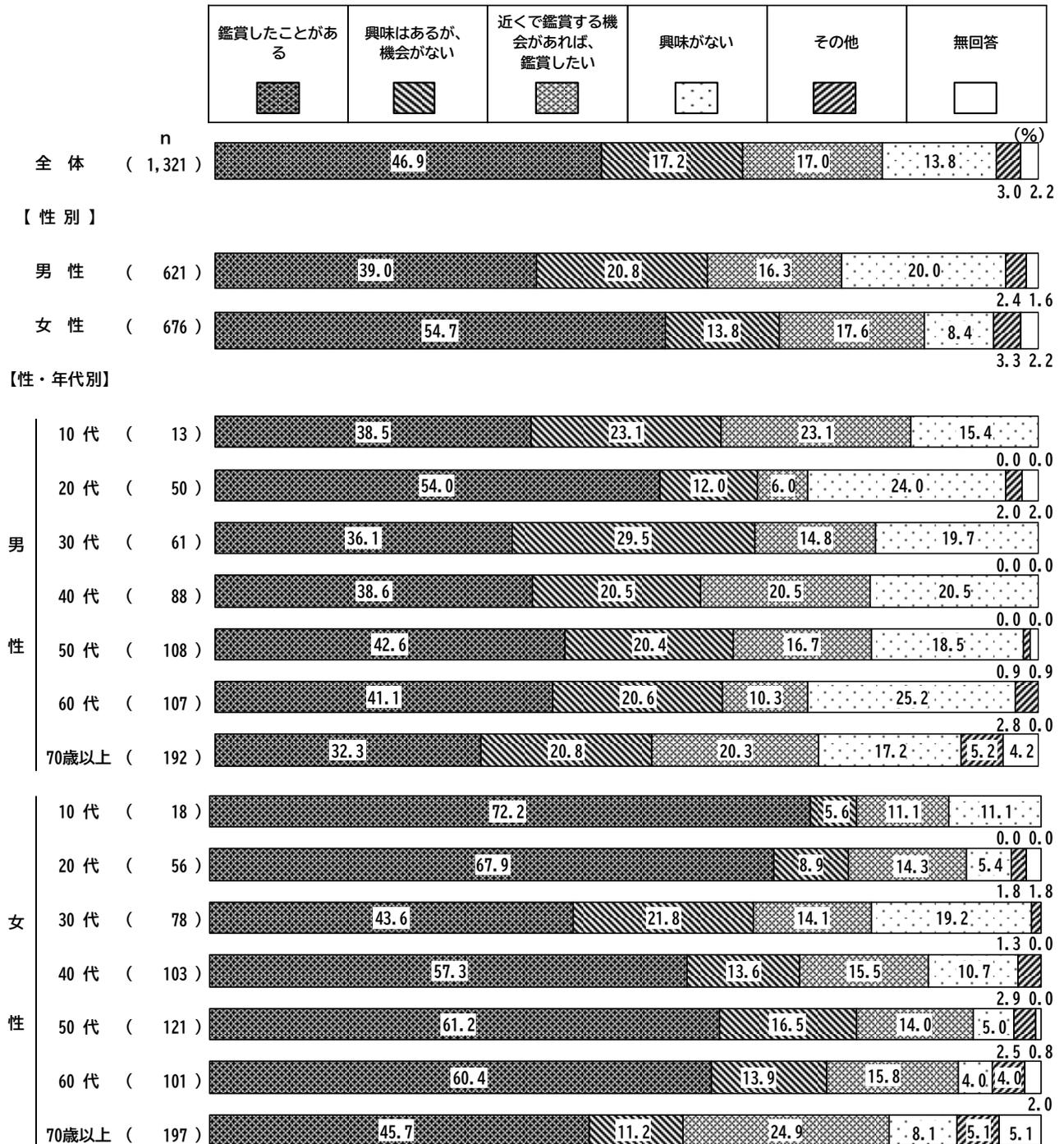
図6-2-1 音楽・演劇・美術などの鑑賞（全体、過年度比較）



この1年間に音楽、演劇、美術などを外出して鑑賞したことがあるか聞いたところ、「鑑賞したことがある」(46.9%)が5割近くで最も高く、次いで「興味はあるが、機会がない」(17.2%)、「近くで鑑賞する機会があれば、鑑賞したい」(17.0%)、「興味がない」(13.8%)の順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「鑑賞したことがある」は5.0ポイント増加している。一方、「興味はあるが、機会がない」は3.1ポイント、「近くで鑑賞する機会があれば、鑑賞したい」は2.6ポイント、それぞれ減少している。(図6-2-1)

図6-2-2 音楽・演劇・美術などの鑑賞（性・年代別）



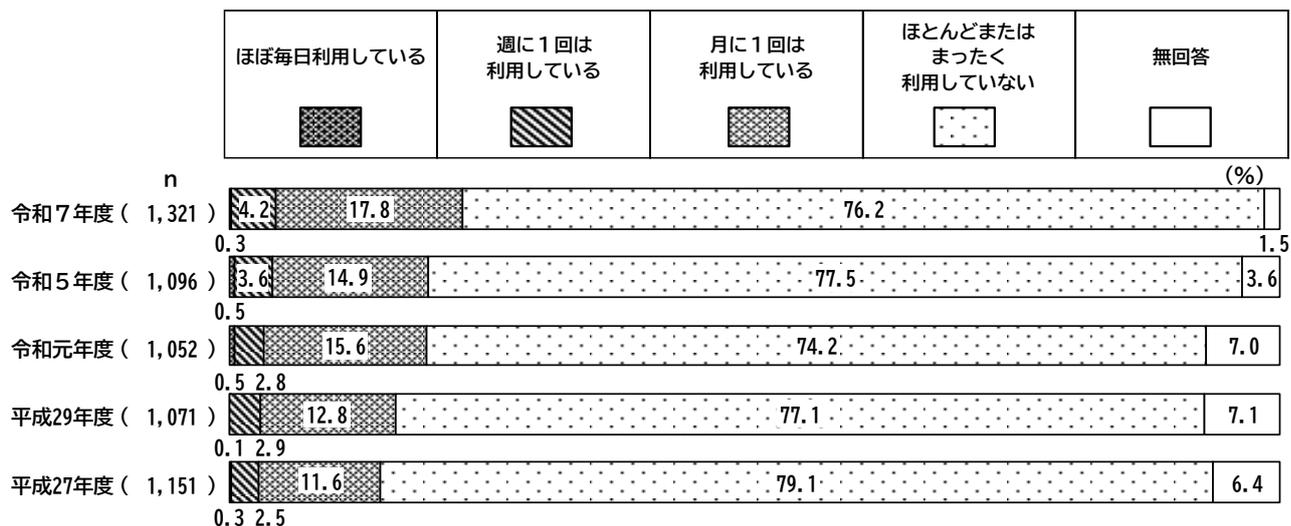
性別にみると、「鑑賞したことがある」は女性（54.7%）が男性（39.0%）より15.7ポイント高くなっている。一方、「興味はあるが、機会がない」は男性（20.8%）が女性（13.8%）よりも7.0ポイント、「興味がない」は男性（20.0%）が女性（8.4%）より11.6ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「鑑賞したことがある」は女性20代（67.9%）で7割近くと高くなっている。「興味はあるが、機会がない」は男性30代（29.5%）で約3割となっている。一方、「興味がない」は男性60代（25.2%）で2割半ばとなっている。（図6-2-2）

## (3) 図書館の利用頻度

Q23 あなたは、昭島市の図書館をどのくらい利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。  
(n=1,321)

図6-3-1 図書館の利用頻度（全体、過年度比較）



※「ほぼ毎日利用している」は、平成29年度調査までは「毎日利用している」となっていた。

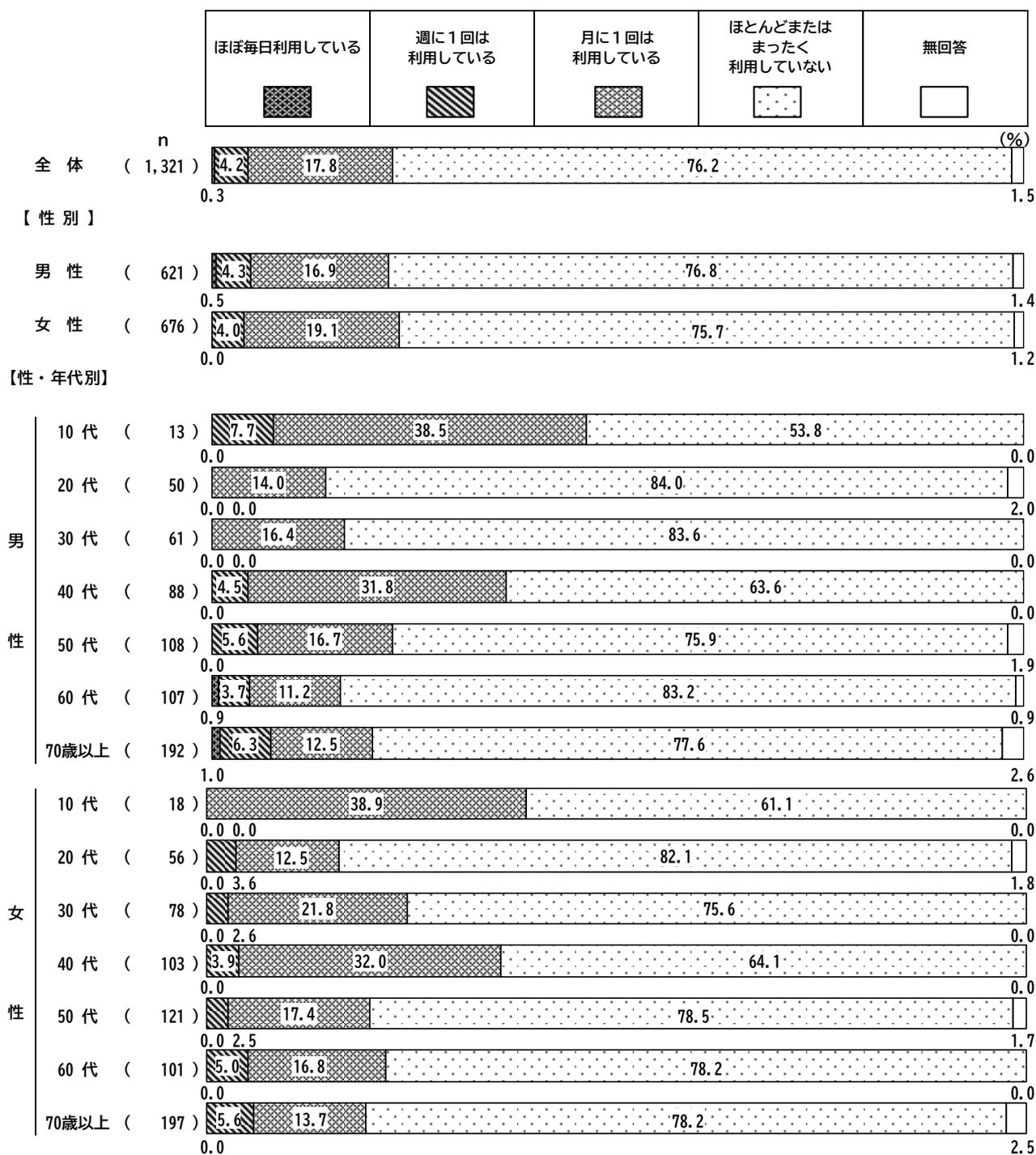
※「ほとんどまたはまったく利用していない」は、平成29年度調査までは「ほとんど利用していない」となっていた。

※令和5年度調査までの「無回答」は、「その他」と「無回答」を合算している。

昭島市の図書館をどのくらい利用しているか聞いたところ、「ほとんどまたはまったく利用していない」(76.2%)が8割近くで最も高く、次いで「月に1回は利用している」(17.8%)、「週に1回は利用している」(4.2%)、「ほぼ毎日利用している」(0.3%)の順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「月に1回は利用している」は2.9ポイント増加している。一方、「ほとんどまたはまったく利用していない」は1.3ポイント減少している。(図6-3-1)

図6-3-2 図書館の利用頻度（性・年代別）



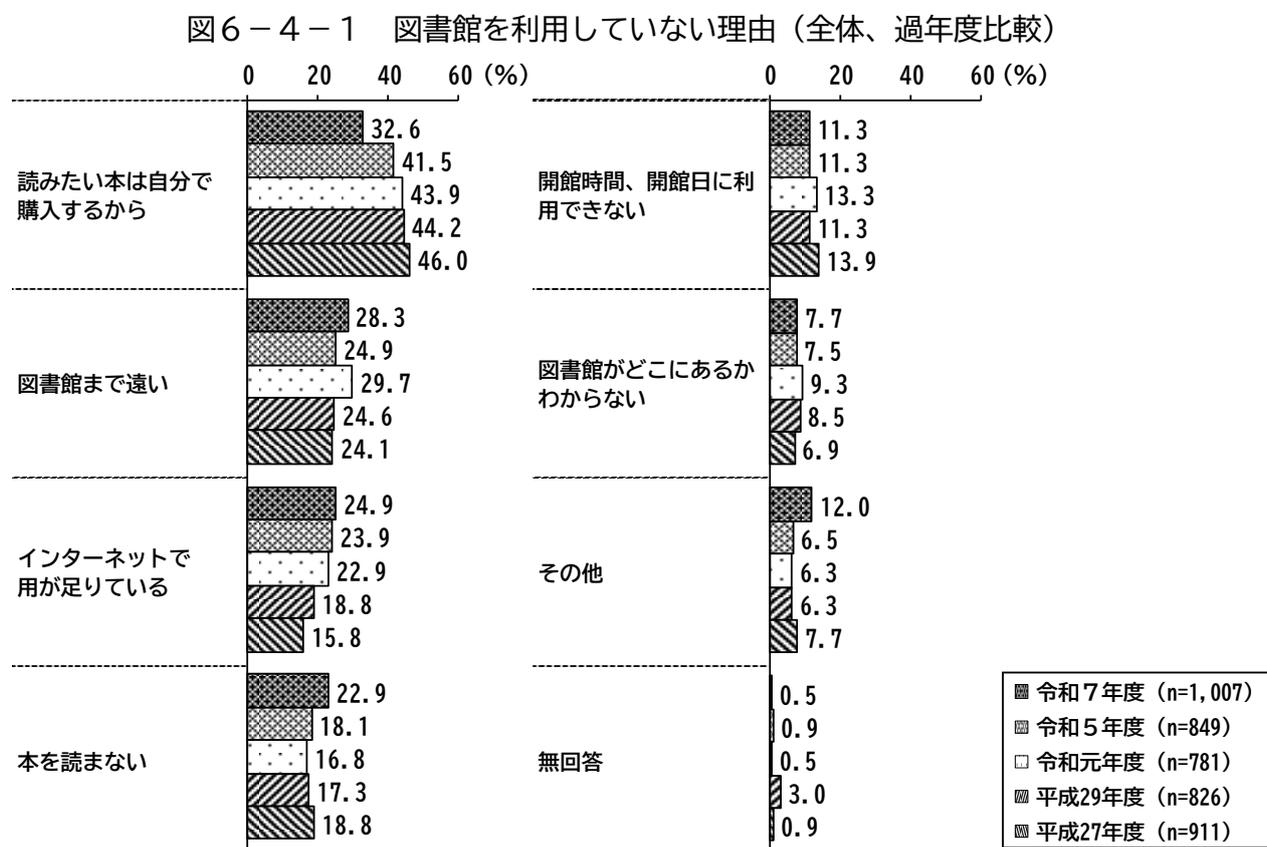
性別にみると、「月に1回は利用している」は女性（19.1%）が男性（16.9%）より2.2ポイント高くなっている。一方、「ほとんどまたはまったく利用していない」は男性（76.8%）が女性（75.7%）より1.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「月に1回は利用している」は女性40代（32.0%）、男性40代（31.8%）で3割以上となっている。「ほとんどまたはまったく利用していない」は男性20代（84.0%）で8割半ばと高くなっている。（図6-3-2）

## (4) 図書館を利用していない理由

(Q23で「ほとんどまたはまったく利用していない」とお答えの方に)

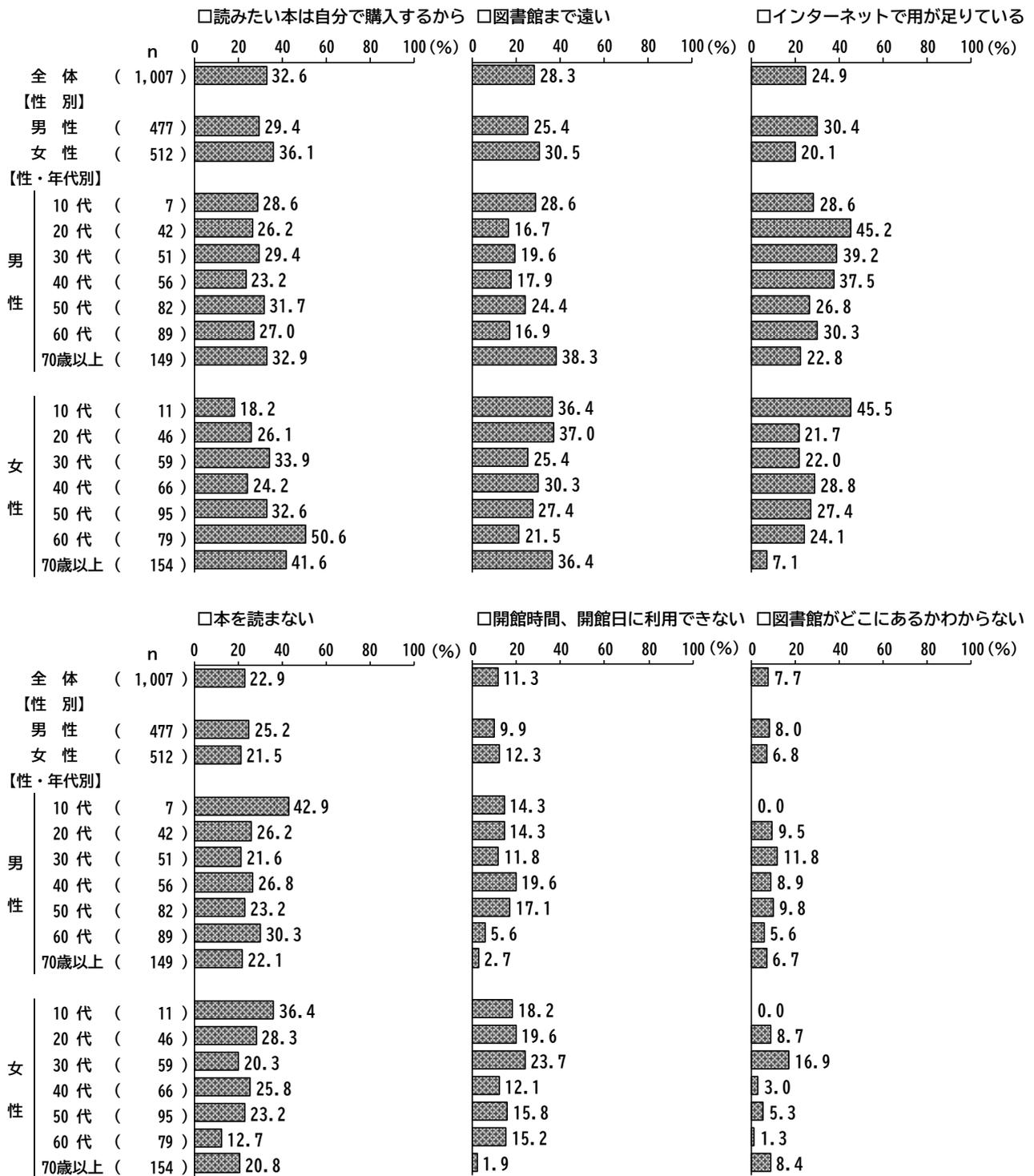
Q24 利用していない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。(n=1,007)



図書館を「ほとんどまたはまったく利用していない」と回答した人（1,007人）に、その理由を聞いたところ、「読みたい本は自分で購入するから」（32.6%）が3割以上で最も高く、次いで「図書館まで遠い」（28.3%）、「インターネットで用が足りている」（24.9%）、「本を読まない」（22.9%）などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「読みたい本は自分で購入するから」は8.9ポイント減少している。一方、「図書館まで遠い」は3.4ポイント、「本を読まない」は4.8ポイント、それぞれ増加している。（図6-4-1）

図6-4-2 図書館を利用していない理由（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「読みたい本は自分で購入するから」は女性（36.1%）が男性（29.4%）より6.7ポイント、「図書館まで遠い」は女性（30.5%）が男性（25.4%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「インターネットで用が足りている」は男性（30.4%）が女性（20.1%）より10.3ポイント高くなっている。

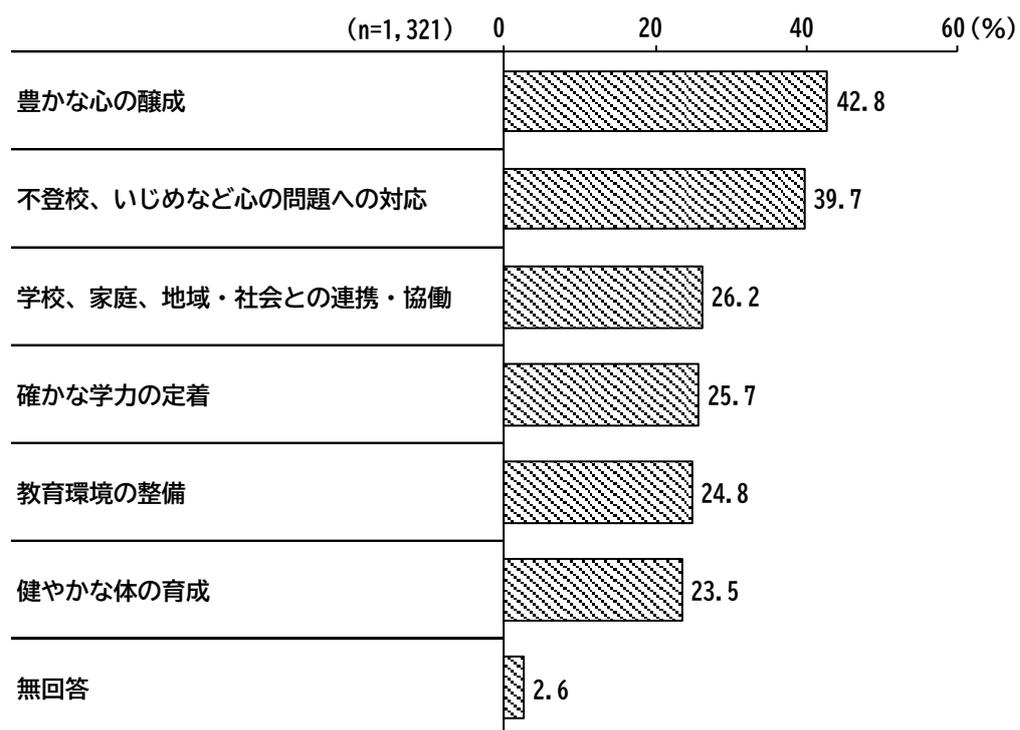
性・年代別にみると、「読みたい本は自分で購入するから」は女性60代（50.6%）で約5割と高くなっている。「図書館まで遠い」は男性70歳以上（38.3%）、女性70歳以上（36.4%）で4割近くとなっている。（図6-4-2）

## 7 学校教育

## (1) 学校教育の充実すべき取り組み

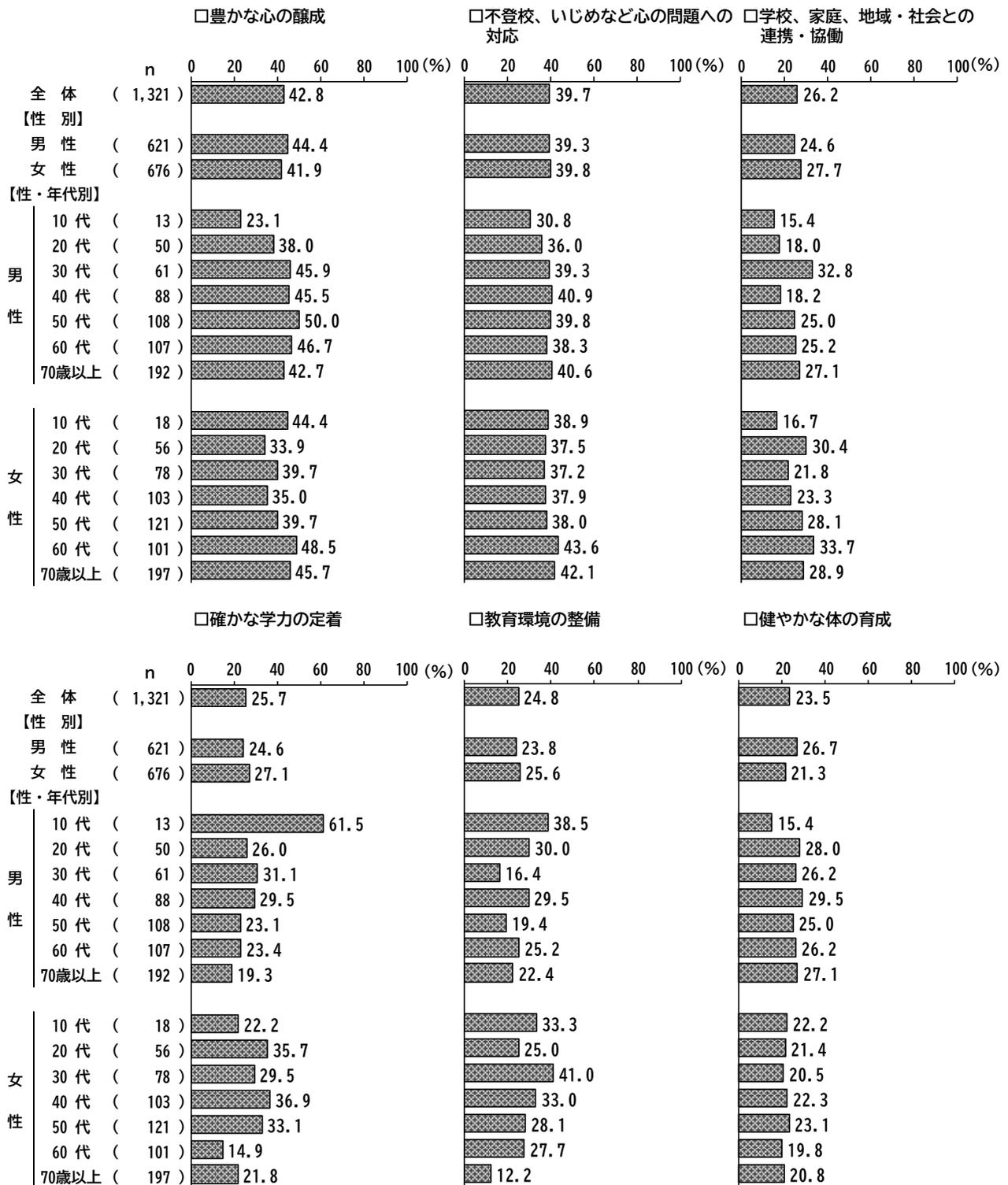
Q25 昭島市は、未来を担う子どもたちの育成に向けて、教育振興基本計画に基づき、学校教育の充実に取り組んでいます。あなたが、今後、更に充実すべきと思う取り組みは何ですか。次の中から2つまで選んでください。  
(n=1,321)

図7-1-1 学校教育の充実すべき取り組み（全体）



学校教育の充実すべき取り組みを聞いたところ、「豊かな心の醸成」(42.8%)が4割以上で最も高く、次いで「不登校、いじめなど心の問題への対応」(39.7%)、「学校、家庭、地域・社会との連携・協働」(26.2%)、「確かな学力の定着」(25.7%)、「教育環境の整備」(24.8%)などの順となっている。(図7-1-1)

図7-1-2 学校教育の充実すべき取り組み（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「豊かな心の醸成」は男性（44.4%）が女性（41.9%）より2.5ポイント高くなっている。「健やかな体の育成」は男性（26.7%）が女性（21.3%）より5.4ポイント高くなっている。一方、「学校、家庭、地域・社会との連携・協働」は女性（27.7%）が男性（24.6%）より3.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「豊かな心の醸成」は男性50代（50.0%）で5割と高くなっている。「不登校、いじめなど心の問題への対応」は女性60代（43.6%）で4割以上となっている。

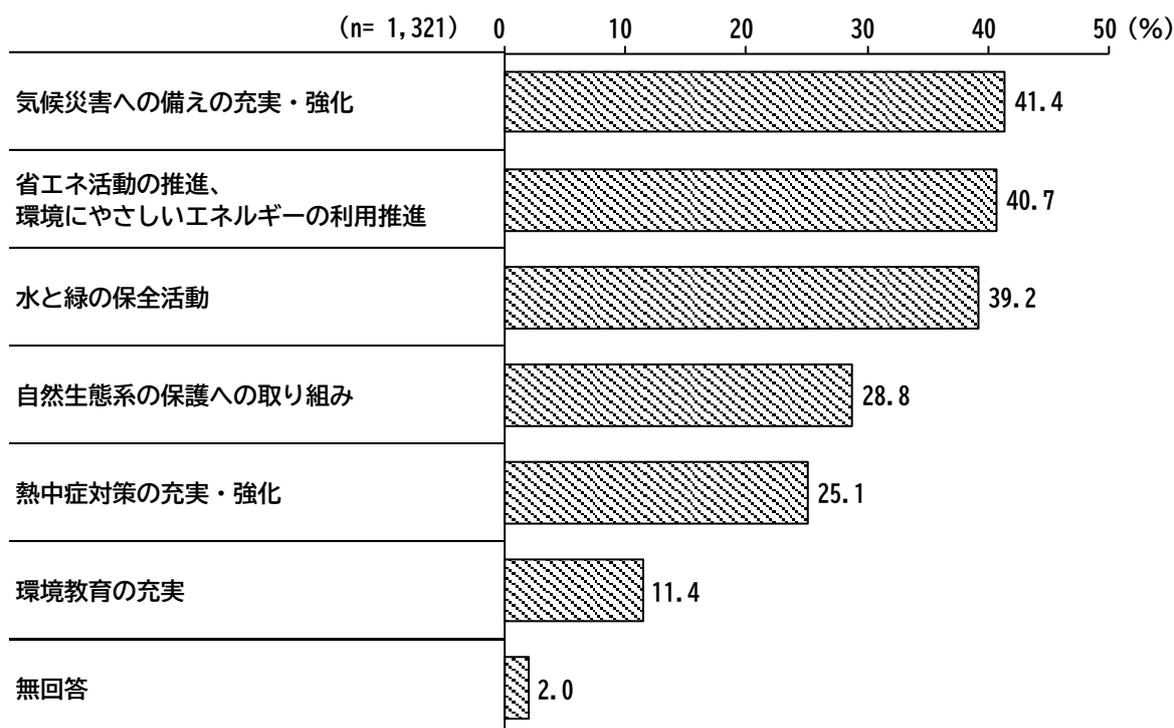
(図7-1-2)

## 8 環境

## (1) 気候変動への対応策

Q26 地球温暖化に伴う気候変動は、様々な被害を引き起こしています。どのような取り組みが必要だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。 (n=1,321)

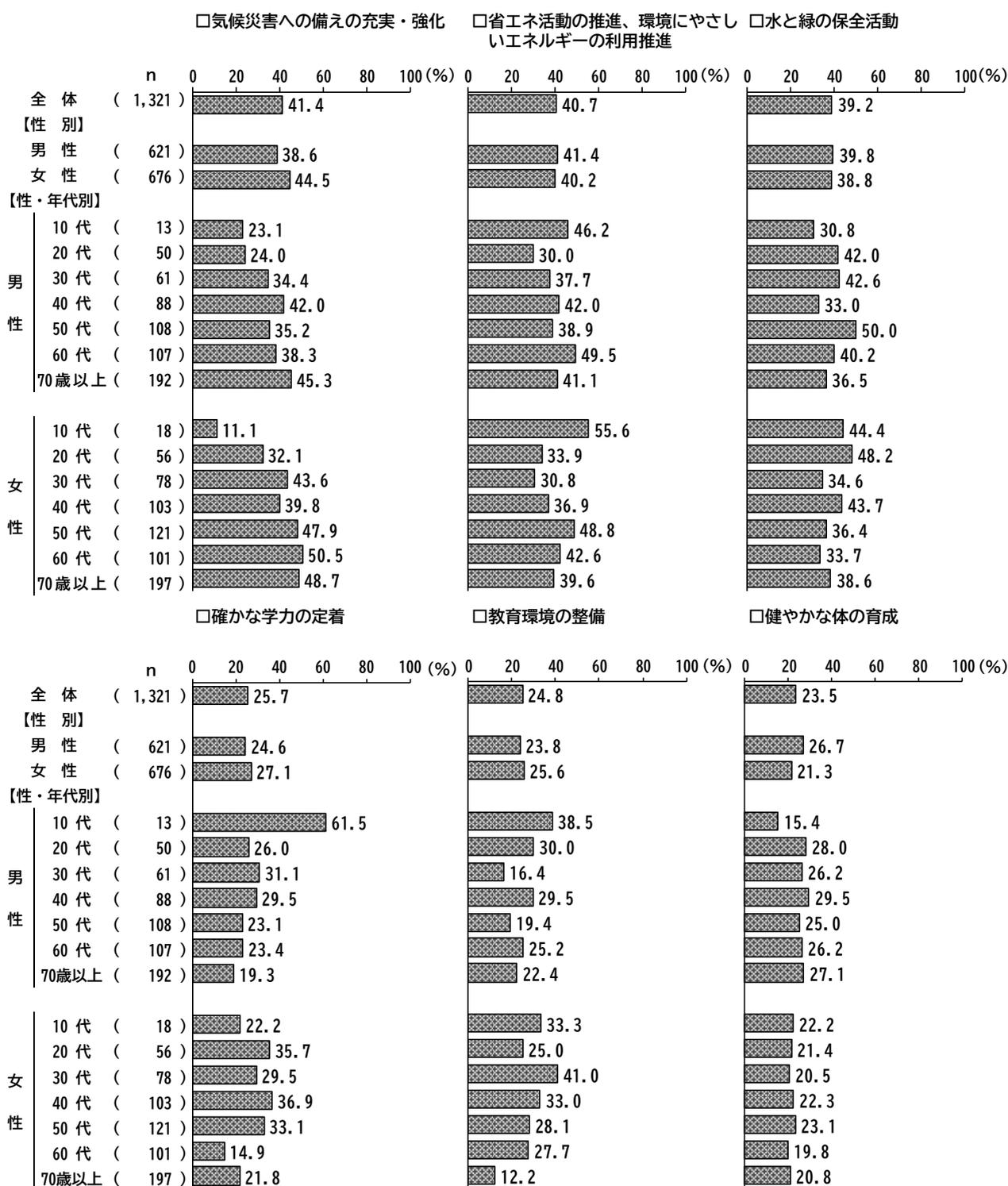
図8-1-1 気候変動への対応策（全体）



地球温暖化問題について聞いたところ、「気候災害への備えの充実・強化」(41.4%)が4割以上で最も高く、次いで「省エネ活動の推進、環境にやさしいエネルギーの利用推進」(40.7%)、「水と緑の保全活動」(39.2%)、「自然生態系の保護への取り組み」(28.8%)などの順となっている。

(図8-1-1)

図8-1-2 気候変動への対応策（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「気候災害への備えの充実・強化」は女性（44.5%）が男性（38.6%）より5.9ポイント高くなっている。一方、「省エネ活動の推進、環境にやさしいエネルギーの利用推進」は男性（41.4%）が女性（40.2%）より1.2ポイント高くなっている。

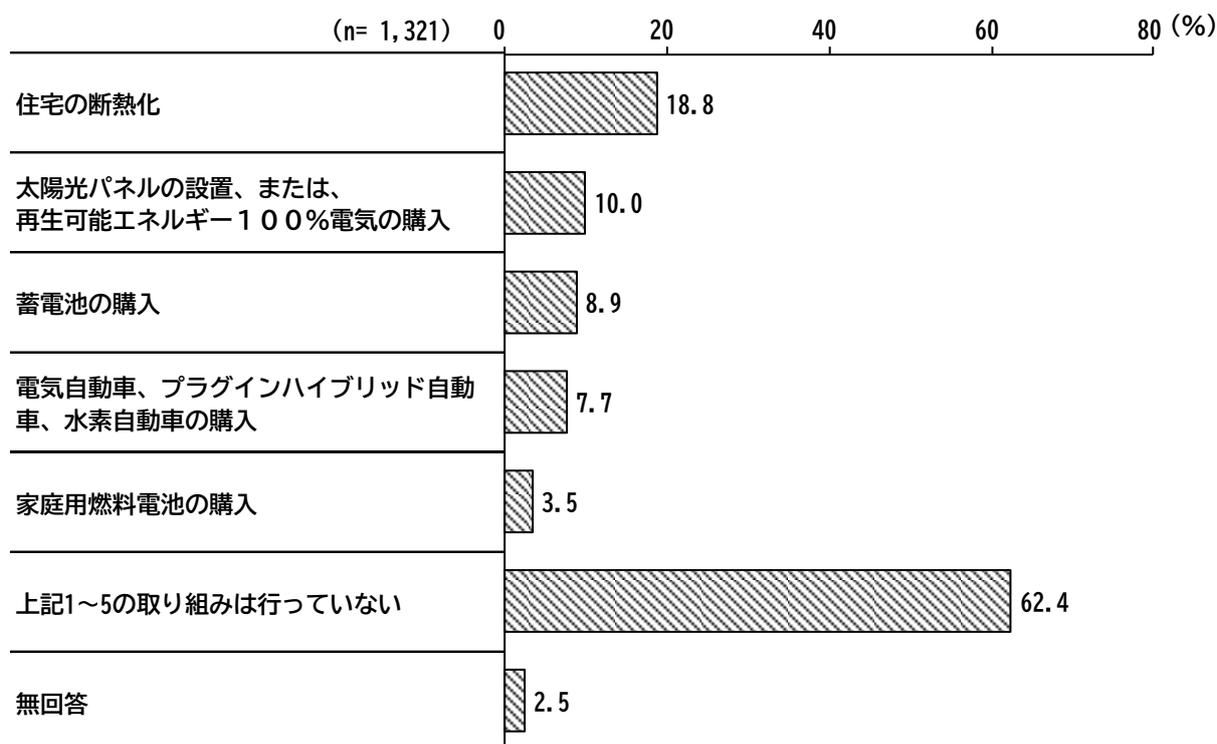
性・年代別にみると、「気候変動への備えの充実・強化」は女性60代（50.5%）で約5割と高くなっている。「省エネ活動の推進、環境にやさしいエネルギーの利用推進」は男性60代（49.5%）で約5割と高くなっている。「水と緑の保全活動」は男性50代（50.0%）で5割と高くなっている。

（図8-1-2）

## (2) 地球温暖化問題への取り組み

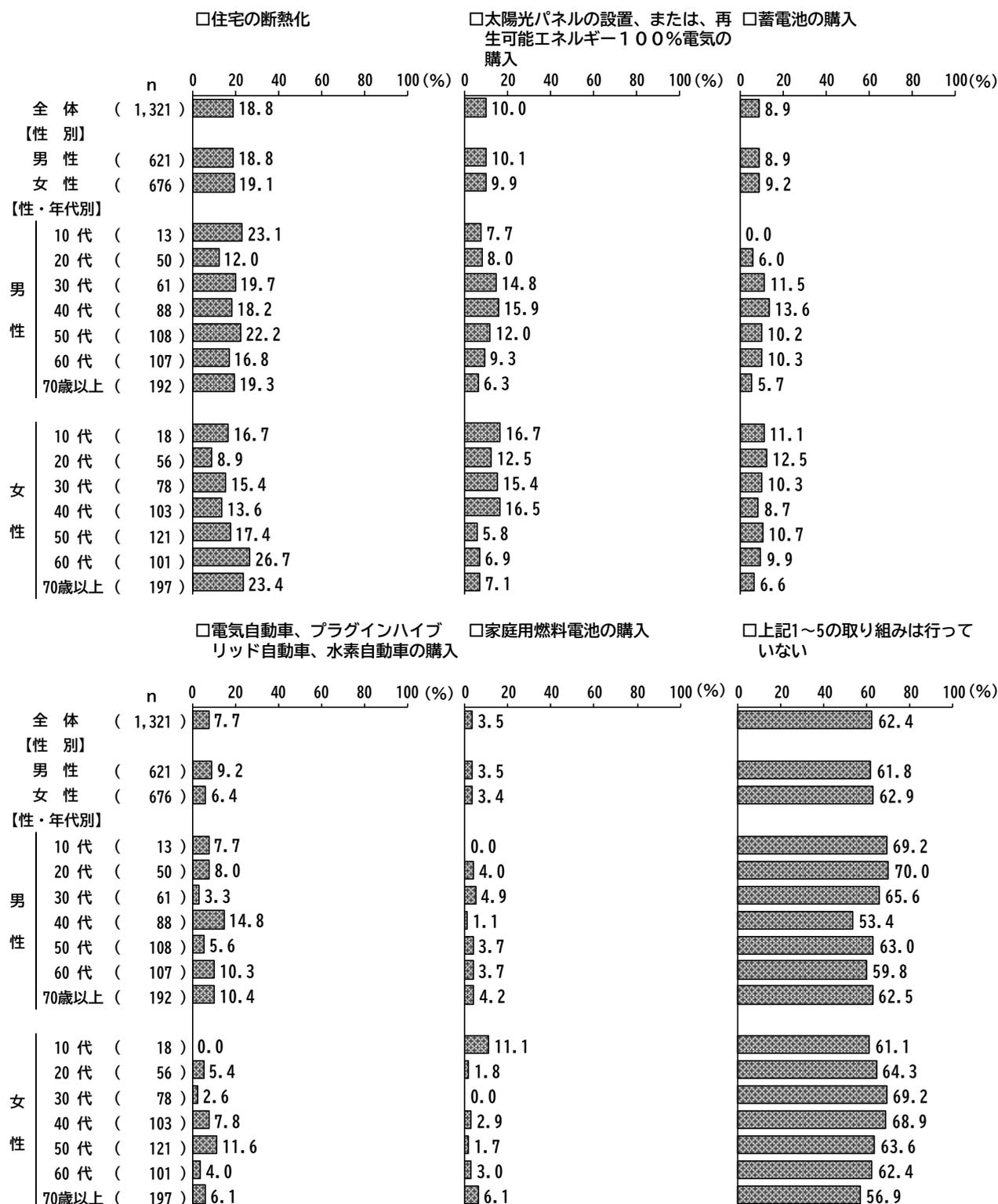
Q27 地球温暖化の防止等のため、どのような取り組みを行っていますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(n=1,321)

図8-2-1 地球温暖化問題への取り組み(全体)



地球温暖化問題の防止のため、どのような取り組みを行っているか聞いたところ、「住宅の断熱化」(18.8%)が2割近くで最も高く、次いで「太陽光パネルの設置、または、再生可能エネルギー100%電気の購入」(10.0%)、「蓄電池の購入」(8.9%)、「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、水素自動車の購入」(7.7%)などの順となっている。一方、「上記1~5の取り組みは行っていない」(62.4%)は6割以上と高くなっている。(図8-2-1)

図8-2-2 地球温暖化問題への取り組み（性・年代別）  
 -上位5項目+「上記1～5の中にはない」



性別にみると、「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、水素自動車の購入」は男性(9.2%)が女性(6.4%)より2.8ポイント高くなっている。一方、「上記1～5の取り組みは行っていない」は女性(62.9%)が男性(61.8%)より1.1ポイント高くなっている。

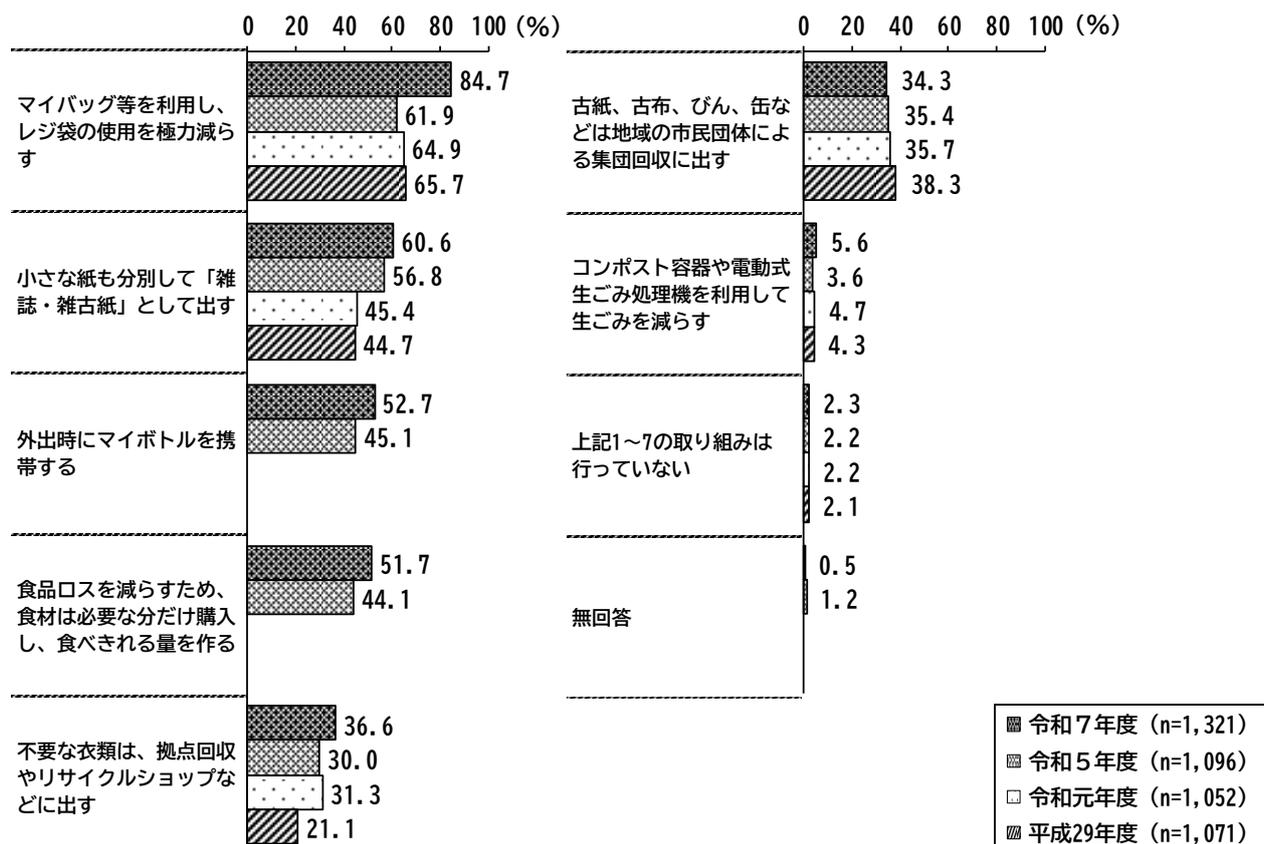
性・年代別にみると、「住宅の断熱化」は女性60代(26.7%)で3割近くとなっている。「太陽光パネルの設置、または、再生可能エネルギー100%電気の購入」は女性40代(16.5%)で2割近くとなっている。(図8-2-2)

## (3) ごみ減量化への取り組み

Q28 あなたは、ごみの減量化のために、日頃からどのようなことに取り組んでいますか。  
次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(n=1,321)

※昭島市は、可燃ごみの処理について、現在の清掃センターに修繕を施し、焼却処理を継続しています。施設を安定稼働していくために、更なるごみの減量化が必要です。

図8-3-1 ごみ減量化への取り組み（全体、過年度比較）



※「マイバッグ等を利用し、レジ袋の仕様を極力減らす」は、令和5年度調査では『「プラスチック1運動」を参考に、マイバッグを利用し、必要性の低いワンウェイプラスチックの使用を極力減らす』、令和元年度調査までは「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋はもらわない」となっていた。

※「小さな紙も分別して『雑誌・雑古紙』として出す」は、令和元年度調査までは「メモ紙などの小さな紙も可燃ごみとせず、『雑誌・雑古紙』として出す」となっていた。

※「外出時にマイボトルを携帯する」と「食品ロスを減らすため、食材は必要な分だけ購入し、食べきれぬ量を作る」は、令和5年度調査から追加された選択肢。

※「不要な衣類は、拠点回収やリサイクルショップなどに出す」は、平成29年度調査では「衣類や家具等の不用品は、リサイクルショップやフリーマーケットに出す」となっていた。

※「上記1~7の取り組みは行っていない」は、令和5年度調査までは「その他」となっていた。

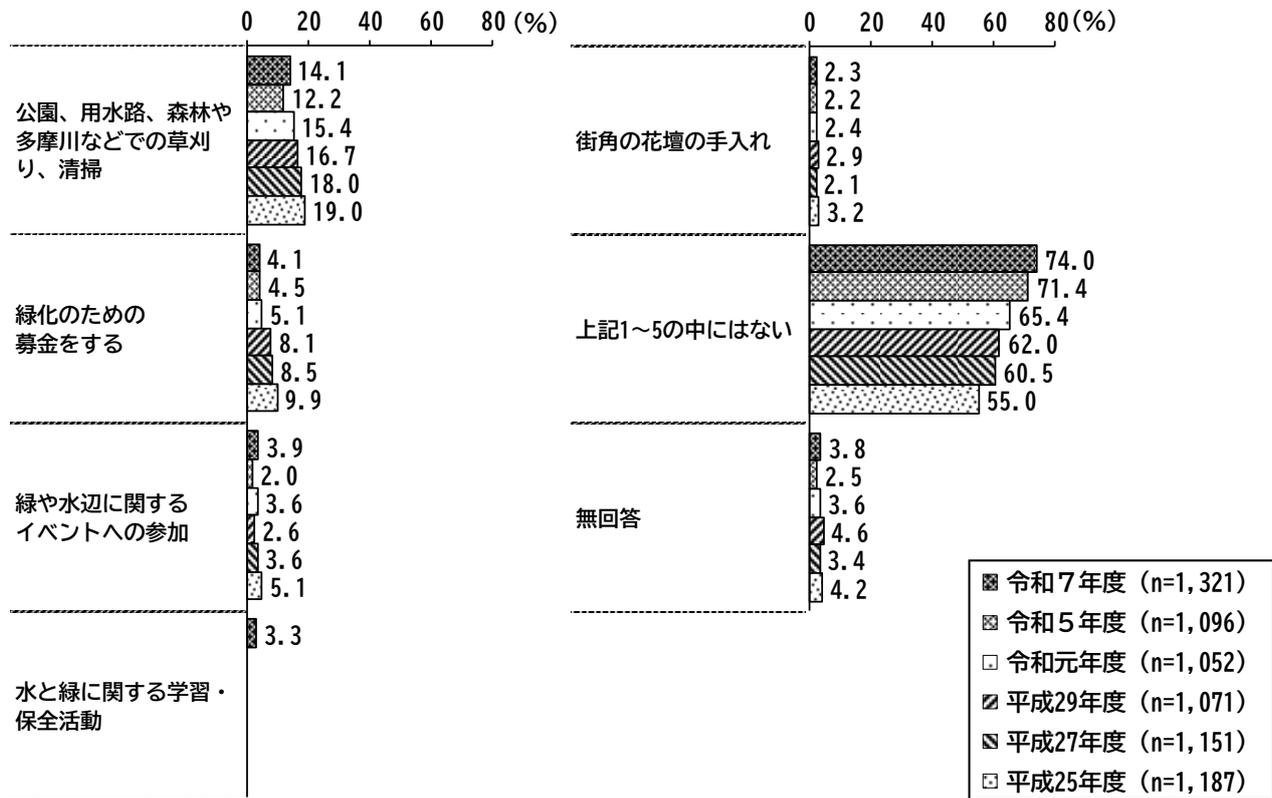
ごみの減量化のために、日頃からどのようなことに取り組んでいるか聞いたところ、「マイバッグ等を利用し、レジ袋の使用を極力減らす」(84.7%)が8割半ばで最も高く、次いで「小さな紙も分別して『雑誌・雑古紙』として出す」(60.6%)、「外出時にマイボトルを携帯する」(52.7%)、「食品ロスを減らすため、食材は必要な分だけ購入し、食べきれぬ量を作る」(51.7%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「マイバッグ等を利用し、レジ袋の仕様を極力減らす」は22.8ポイント増加している。(図8-3-1)

(4) 水と緑に関する市民活動

Q29 あなたは、今までに、昭島市における水と緑に関する市民活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(n=1,321)

図8-4-1 水と緑に関する市民活動（全体、過年度比較）



- ※「公園、用水路、森林や多摩川などでの草刈り、清掃」は、令和5年度調査では「多摩川や玉川上水の清掃」となっていた。
- ※「緑化のための募金をする」は、令和5年度調査までは「緑化のための募金」となっていた。
- ※「緑や水辺に関するイベントへの参加」は、令和5年度調査までは「緑や水辺に関するイベント・講習会への参加」となっていた。
- ※「水と緑に関する学習・保全活動」は、令和7年度調査から追加された選択肢。
- ※「上記1~5の中にはない」は、令和5年度調査までは「特になし」となっていた。

昭島市における水と緑に関する市民活動に参加したことがあるか聞いたところ、「公園、用水路、森林や多摩川などでの草刈り、清掃」(14.1%)が1割半ばで最も高く、次いで「緑化のための募金をする」(4.1%)、「緑や水辺に関するイベントへの参加」(3.9%)、「水と緑に関する学習・保全活動」(3.3%)などの順となっている。一方、「上記1~5の中にはない」(74.0%)は7割半ばとなっている。(図8-4-1)

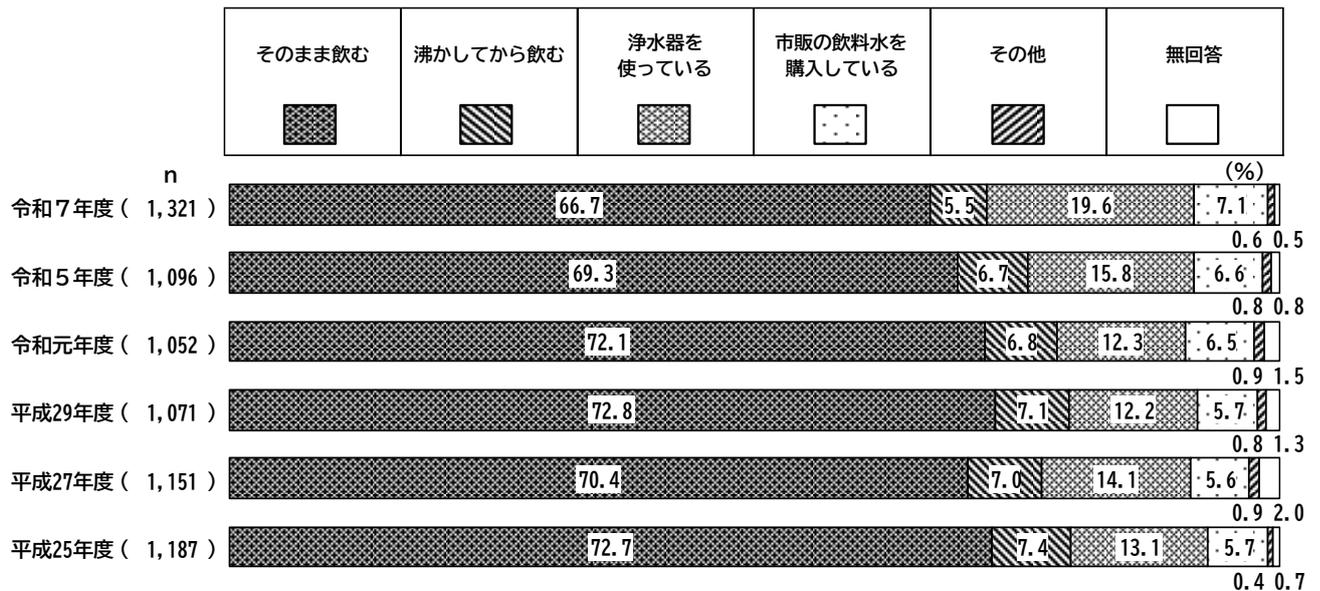


## 9 昭島の水道水

### (1) 水道水の飲用状況

Q30 あなたは、深層地下水100%の昭島市の水道水をそのまま飲みますか。次の中から1つだけ選んでください。 (n=1,321)

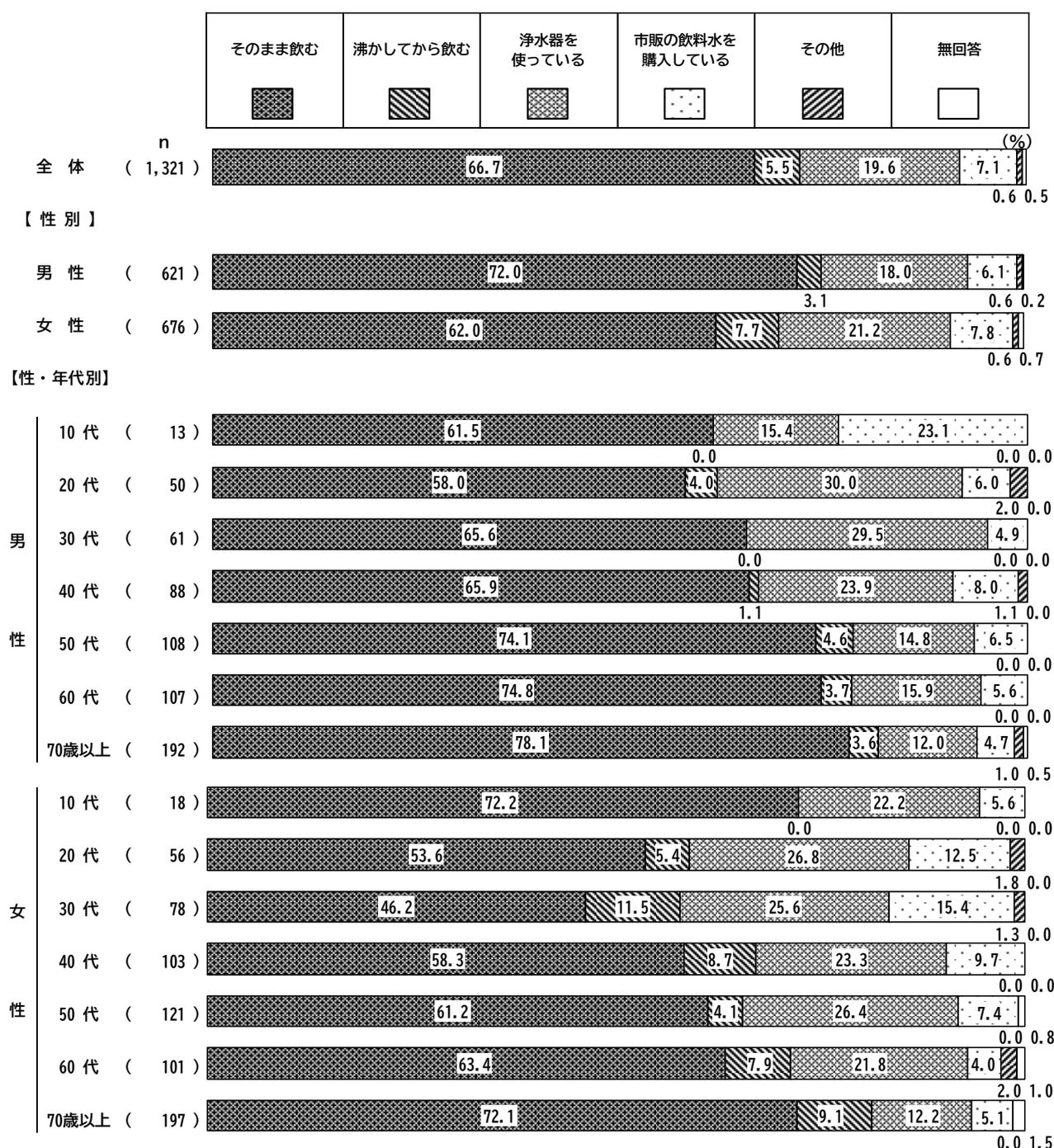
図9-1-1 水道水の飲用状況（全体、過年度比較）



昭島市の水道水をそのまま飲むか聞いたところ、「そのまま飲む」(66.7%)が7割近くで最も高く、次いで「浄水器を使っている」(19.6%)、「市販の飲料水を購入している」(7.1%)、「沸かしてから飲む」(5.5%)の順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「そのまま飲む」は2.6ポイント減少している。一方、「浄水器を使っている」は3.8ポイント増加している。(図9-1-1)

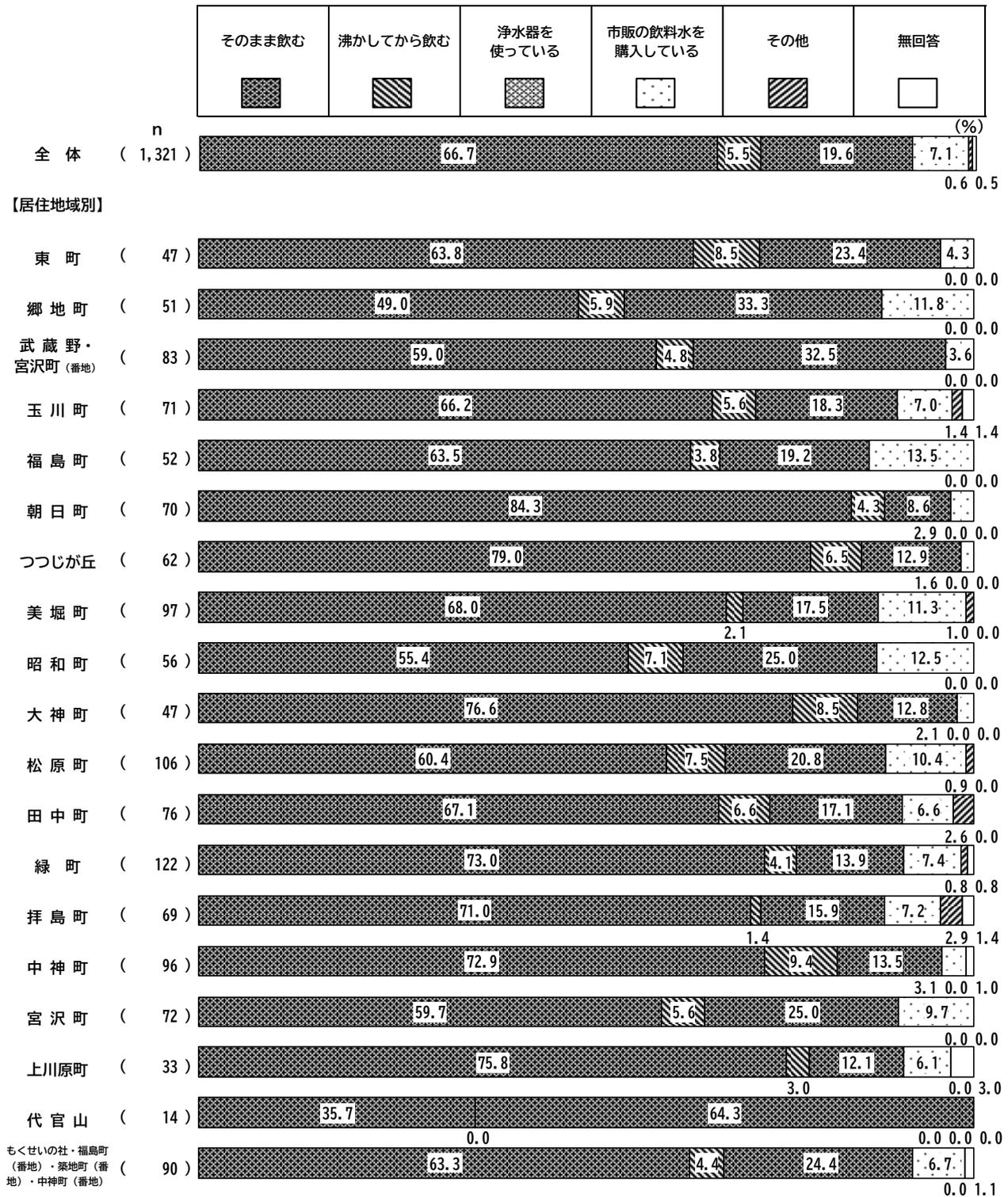
図9-1-2 水道水の飲用状況（性・年代別）



性別にみると、「そのまま飲む」は男性（72.0%）が女性（62.0%）より10.0ポイント高くなっている。一方、「沸かしてから飲む」は女性（7.7%）が男性（3.1%）より4.6ポイント、「浄水器を使っている」は女性（21.2%）が男性（18.0%）より3.2ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別にみると、「そのまま飲む」は男性70歳以上（78.1%）で8割近くと高くなっている。「浄水器を使っている」は男性20代（30.0%）で3割となっている。（図9-1-2）

図9-1-3 水道水の飲用状況（居住地域別）



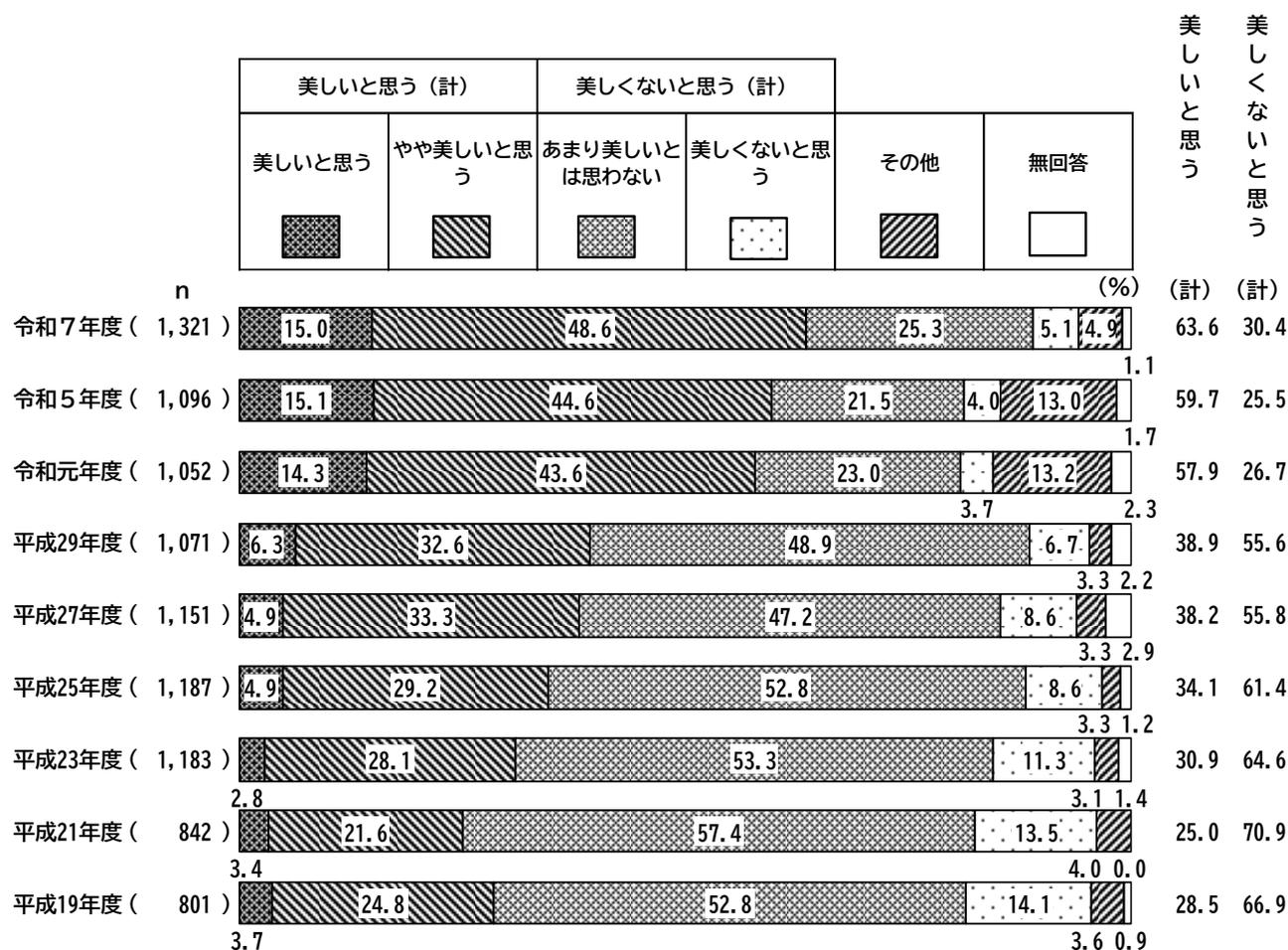
居住地域別にみると、「そのまま飲む」は朝日町（84.3%）で8割半ばと高くなっている。「浄水器を使っている」は郷地町（33.3%）で3割以上となっている。（図9-1-3）

## 10 都市景観

## (1) 昭島のまちなみや景観に対する意識

Q31 あなたは、昭島のまちなみや景観に関して、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んでください。  
(n=1,321)

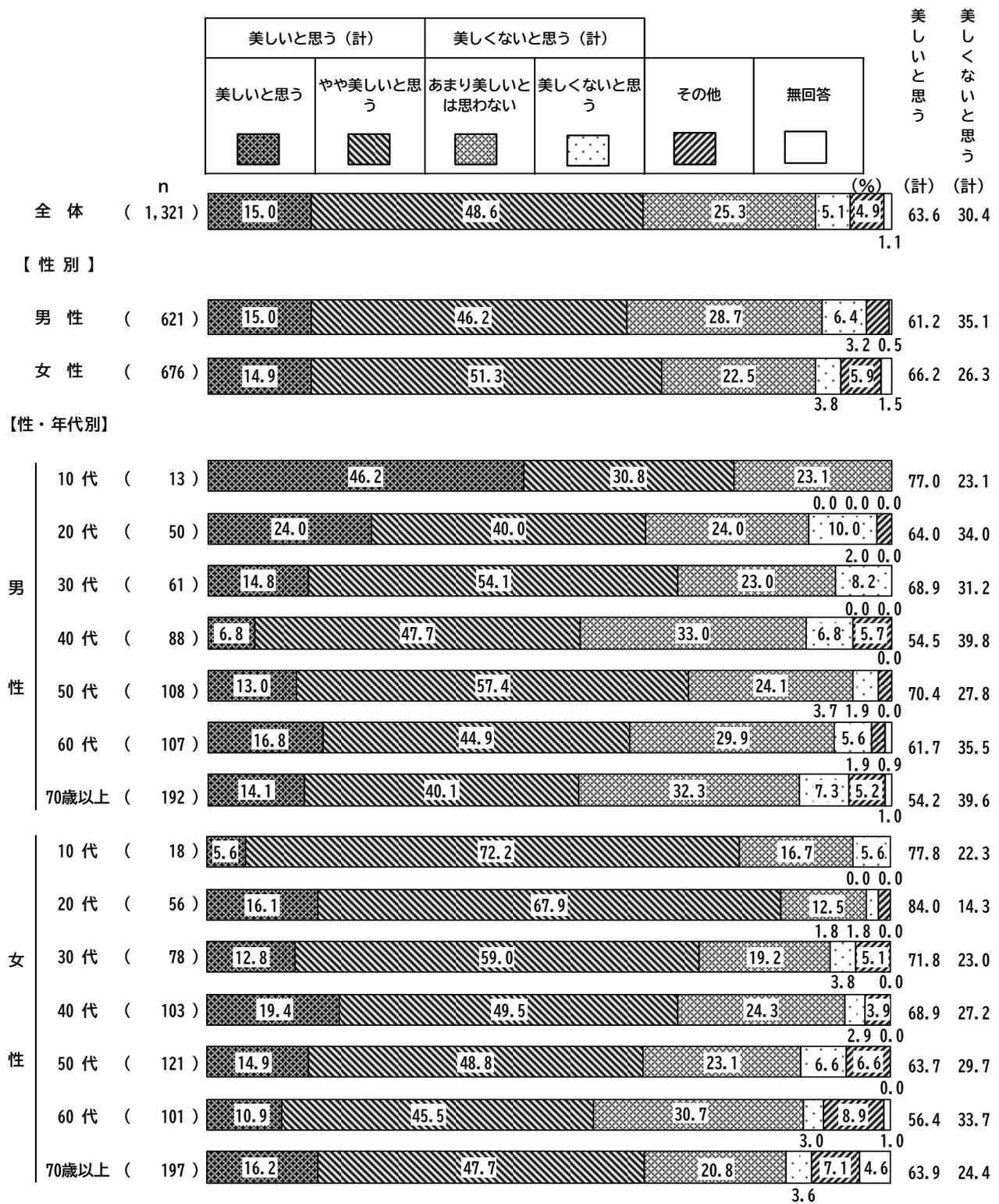
図10-1-1 昭島のまちなみや景観に対する意識（全体、過年度比較）



※「美しいと思う」は、平成29年度調査までは「たいへん美しいと思う」となっていた。  
 ※「やや美しいと思う」は、平成29年度調査までは「まあまあ美しいと思う」となっていた。  
 ※「あまり美しいとは思わない」の平成29年度調査までの値は、「普通である」の値となっていた。  
 ※「美しくないと思う」は、平成29年度調査までは「美しいとは思わない」となっていた。  
 ※令和5年度調査までの「その他」は、「その他」と「わからない」を合算している。

昭島のまちなみや景観に関して、どのように感じているか聞いたところ、「美しいと思う」(15.0%)と「やや美しいと思う」(48.6%)を合わせた『美しいと思う（計）』(63.6%)は6割以上となり、増加傾向がみられる。一方、「あまり美しいとは思わない」(25.3%)と「美しくないと思う」(5.1%)を合わせた『美しくないと思う（計）』(30.4%)は約3割となっている。(図10-1-1)

図10-1-2 昭島のまちなみや景観に対する意識（性・年代別）



性別にみると、『美しいと思う（計）』は女性（66.2%）が男性（61.2%）より5.0ポイント高くなっている。一方、『美しくないと思う（計）』は男性（35.1%）が女性（26.3%）より8.8ポイント高くなっている。

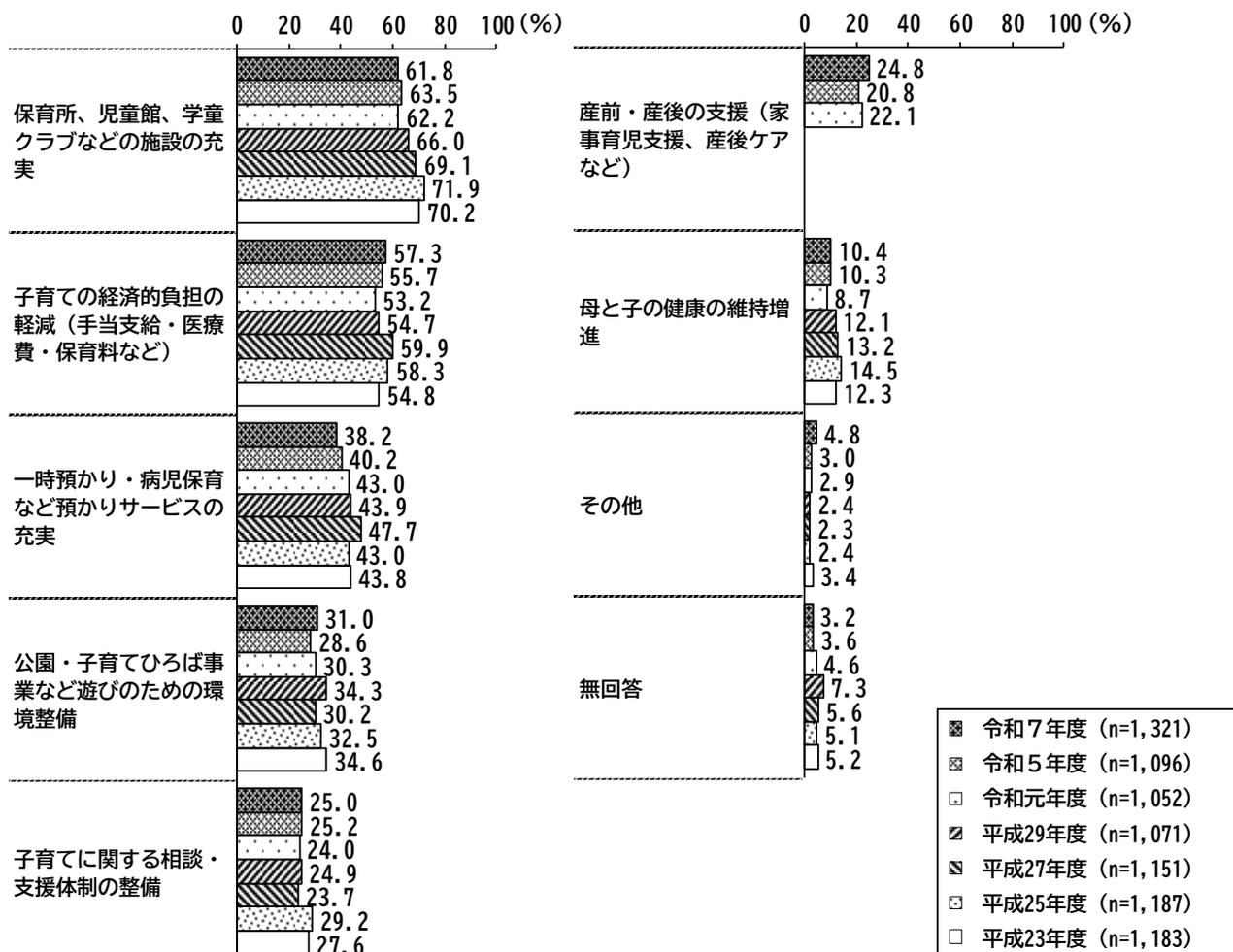
性・年代別にみると、『美しいと思う（計）』は女性20代（84.0%）で8割半ばと高くなっている。一方、『美しくないと思う（計）』は男性40代（39.8%）、男性70歳以上（39.6%）で約4割となっている。（図10-1-2）

## 11 少子化

## (1) 子育てをしやすい環境づくりに必要なこと

Q32 あなたが、子育てをしやすい環境をつくるために必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。  
(n=1,321)

図11-1-1 子育てをしやすい環境づくりに必要なこと（全体、過年度比較）



※「一時預かり・病児保育など預かりサービスの充実」は、平成21年度調査から平成25年度調査までは「保育時間延長・病後児保育などのサービスの充実」、平成27年度調査から令和元年度調査までは「保育時間延長・一時預かり・病後児保育などのサービスの充実」となっていた。

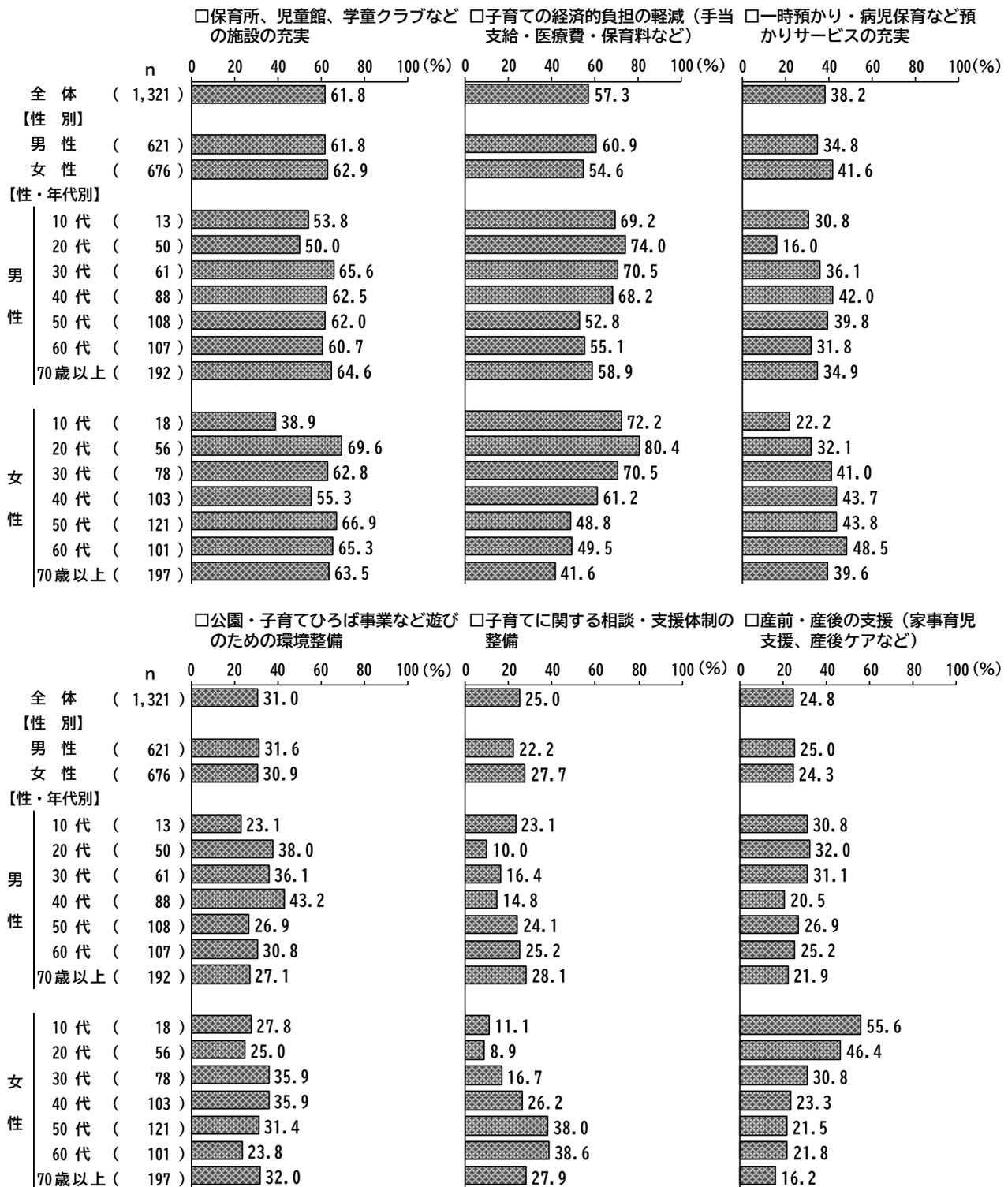
※「公園・子育てひろば事業など遊びのための環境整備」は、平成元年度調査までは「公園など、子どもの遊びのための環境整備」となっていた。

※「産前・産後の支援 (家事育児支援、産後ケアなど)」は、令和元年度調査から追加された選択肢で、令和元年度調査では「妊娠期からの支援 (産前・産後サポートなど)」となっていた。

子育てをしやすい環境をつくるために必要だと思うものを聞いたところ、「保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実」(61.8%)が6割以上で最も高く、次いで「子育ての経済的負担の軽減 (手当支給・医療費・保育料など)」(57.3%)、「一時預かり・病児保育など預かりサービスの充実」(38.2%)、「公園・子育てひろば事業など遊びのための環境整備」(31.0%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実」は1.7ポイント減少している。(図11-1-1)

図11-1-2 子育てをしやすい環境づくりに必要なこと（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「一時預かり・病児保育など預かりサービス」は女性（41.6%）が男性（34.8%）より6.8ポイント高くなっている。一方、「子育ての経済的負担の軽減（手当支給・医療費・保育料など）」は男性（60.9%）が女性（54.6%）より6.3ポイント高くなっている。

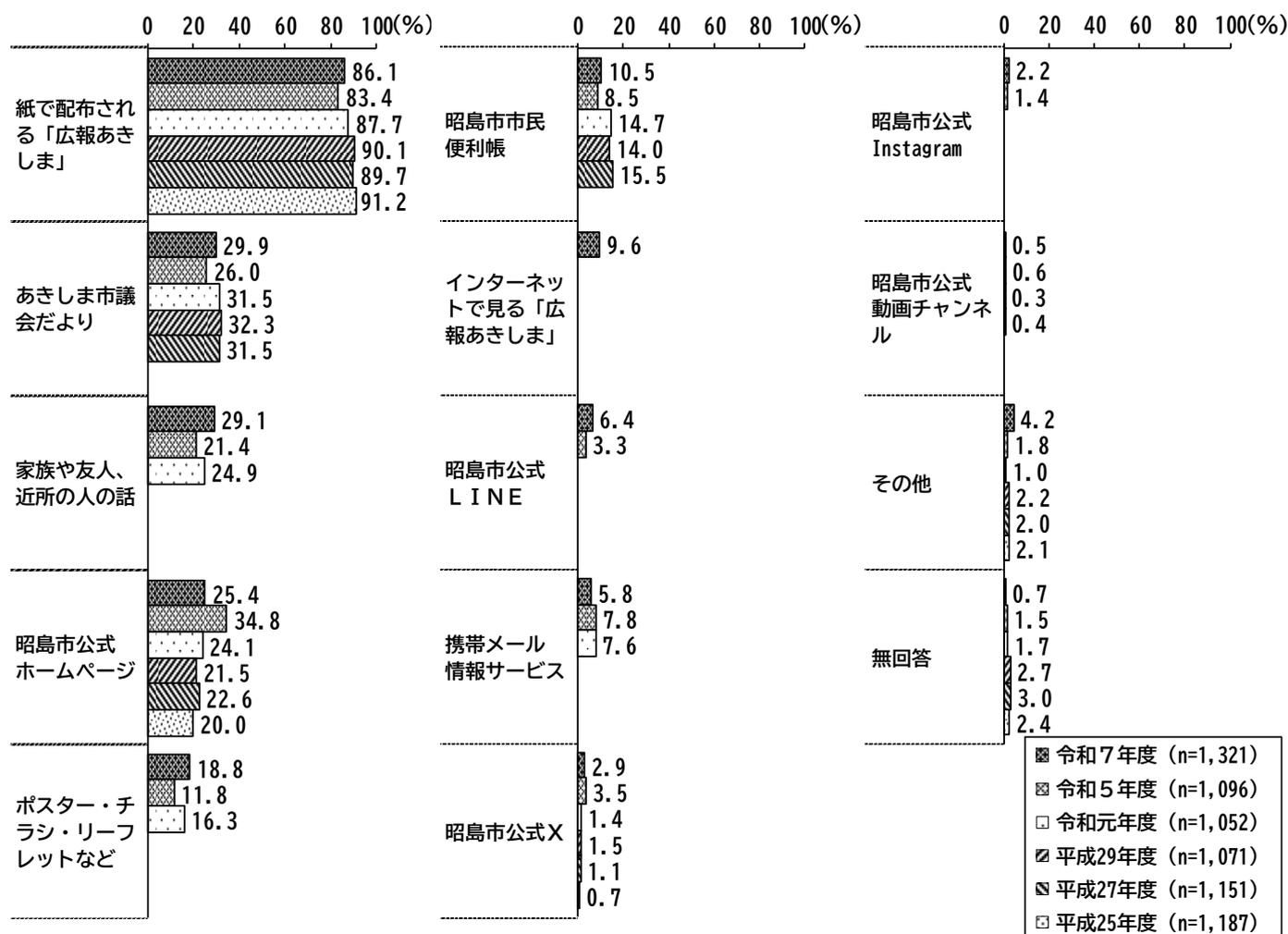
性・年代別にみると、「保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実」は女性20代（69.6%）で約7割と高くなっている。「子育ての経済的負担の軽減（手当支給・医療費・保育料など）」は女性20代（80.4%）で約8割と高くなっている。（図11-1-2）

## 12 広報

## (1) 市に関わる情報の入手方法

Q33 あなたは、昭島市に関わる情報をどのような方法で入手していますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。  
(n=1,321)

図12-1-1 市に関わる情報の入手方法（全体、過年度比較）



※「紙で配布される『広報あきしま』」は、令和5年度調査までは「広報あきしま」となっていた。

※「あきしま市議会だより」と「昭島市市民便利帳」は、平成27年度調査から追加された選択肢。

※「家族や友人、近所の人の話」、「ポスター・チラシ・リーフレットなど」、「携帯メール情報サービス」は、令和元年度調査から追加された選択肢。

※「インターネットでみる『広報あきしま』」は、令和7年度調査から追加された選択肢。

※「昭島市公式LINE」は、令和5年度調査から追加された選択肢。

※「昭島市公式X」は、令和5年度調査までは「昭島市公式ツイッター」となっていた。

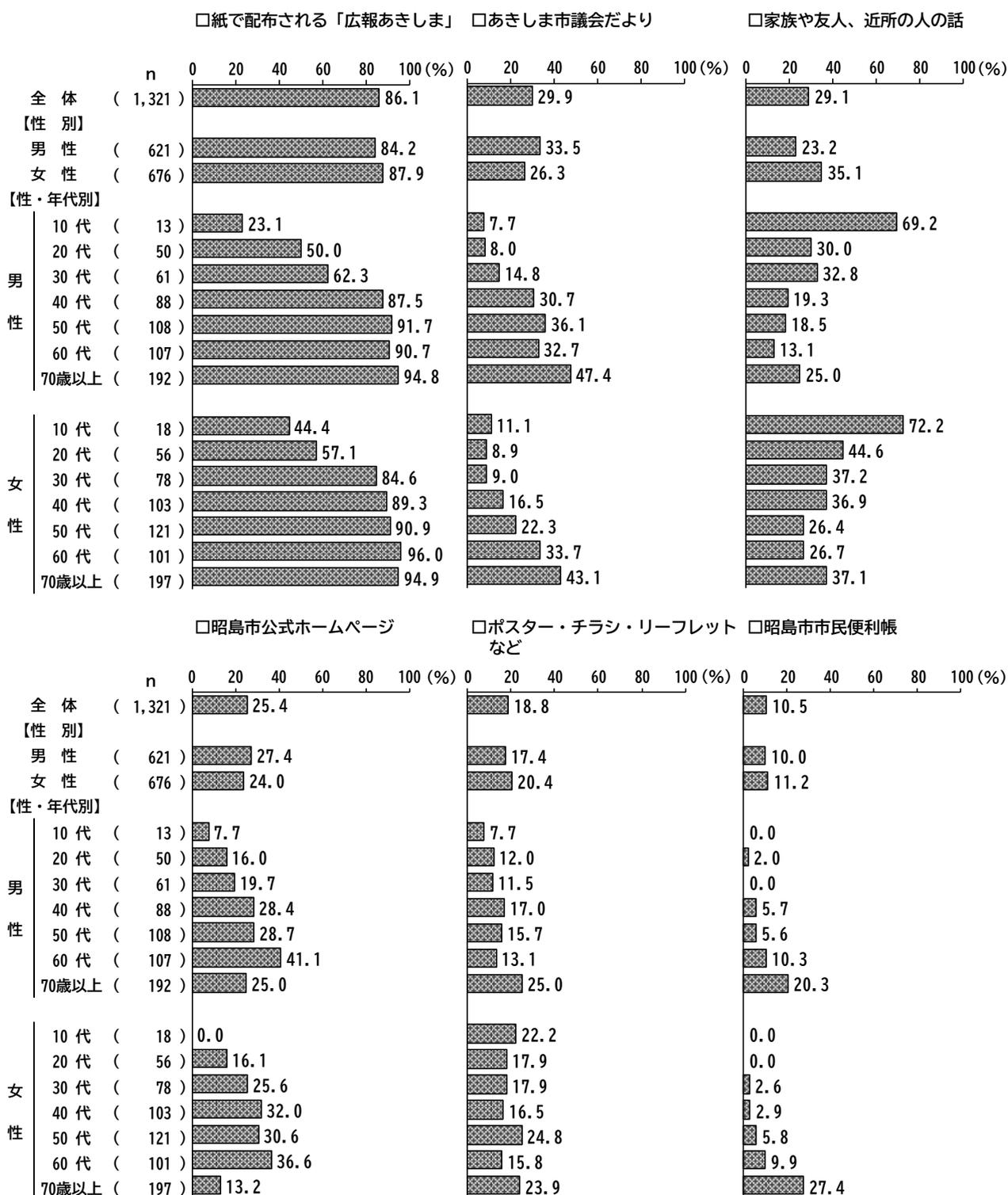
※「昭島市公式Instagram」は、令和5年度調査では「昭島市公式インスタグラム」となっており、令和5年度調査から追加された選択肢。

※「昭島市公式動画チャンネル」は、平成29年度調査から追加された選択肢。

昭島市に関わる情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「紙で配布される『広報あきしま』」(86.1%)が9割近くで最も高く、次いで「あきしま市議会だより」(29.9%)、「家族や友人、近所の人の話」(29.1%)、「昭島市公式ホームページ」(25.4%)などの順となっている。

(図12-1-1)

図12-1-2 市に関わる情報の入手方法（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「紙で配布される『広報あきしま』」は女性（87.9%）が男性（84.2%）より3.7ポイント、「家族や友人、近所の人の話」は女性（35.1%）が男性（23.2%）より11.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「あきしま市議会だより」は男性（33.5%）が女性（26.3%）より7.2ポイント高くなっている。

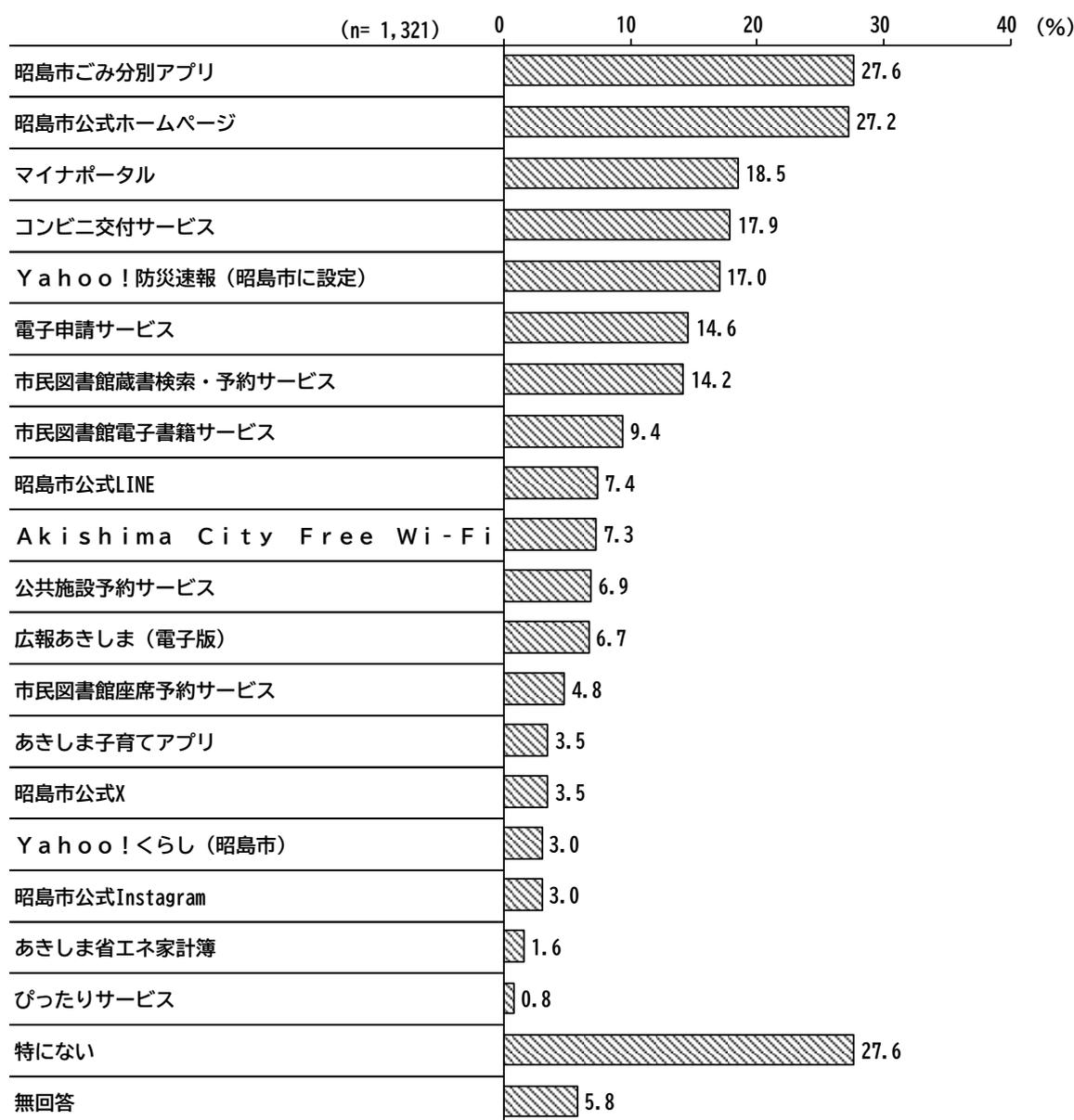
性・年代別にみると、「紙で配布される『広報あきしま』」は女性60代（96.0%）、女性70歳以上（94.9%）、男性70歳以上（94.8%）で9割半ばと高くなっている。「あきしま市議会だより」は男性70歳以上（47.4%）で5割近くと高くなっている。（図12-1-2）

## 13 デジタル化

## (1) 利用したい昭島市のインターネットサービス

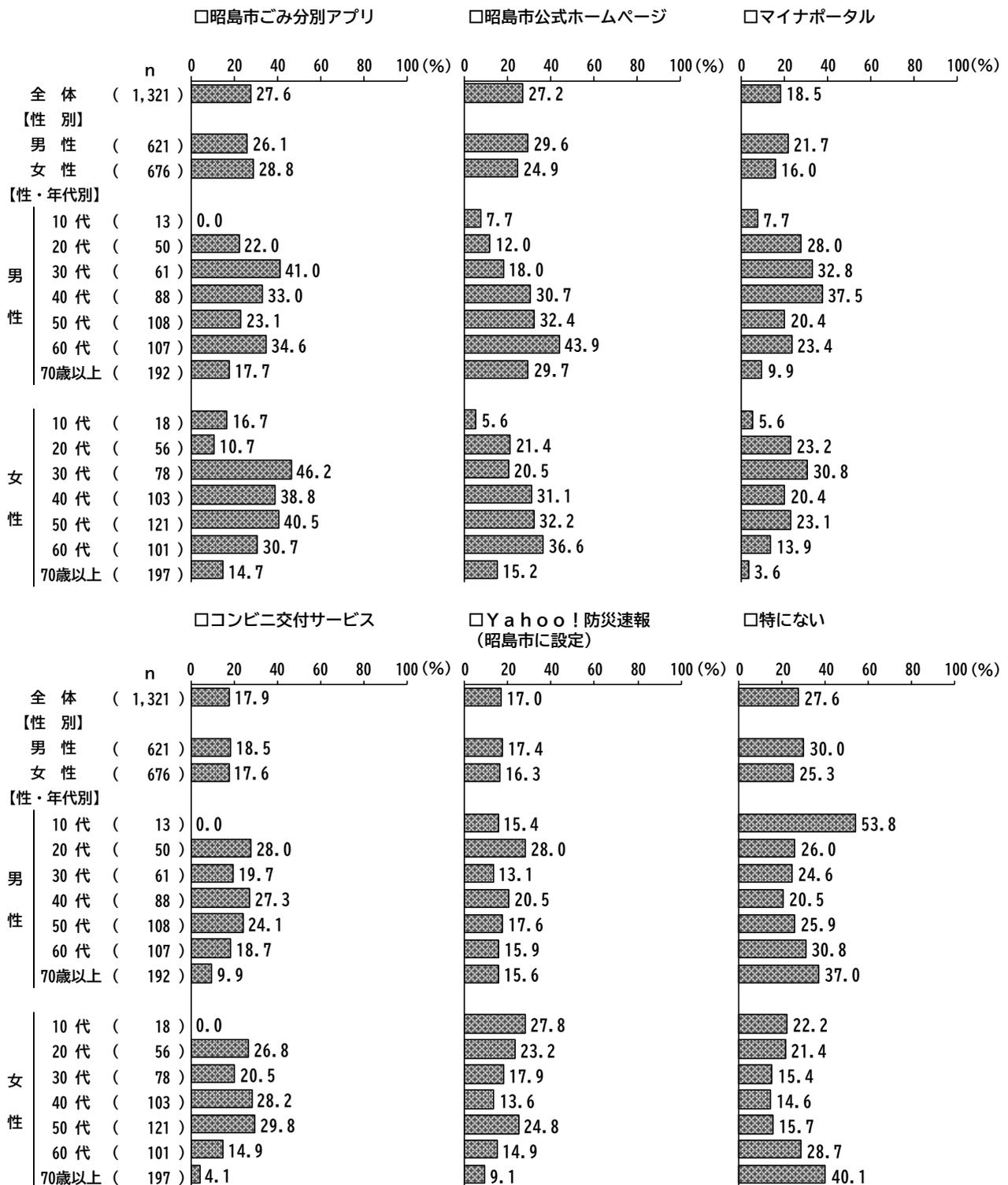
Q34 昭島市が提供するインターネットを利用したサービスのうち、あなたが、現在利用しているもしくは今後利用したいものはどれですか。次の中からあてはまるものをいくつかでも選んでください。(n=1,321)

図13-1-1 利用したい昭島市のインターネットサービス（全体）



利用したい昭島市のインターネットサービスを聞いたところ、「昭島市ごみ分別アプリ」(27.6%)が3割近くで最も高く、次いで「昭島市公式ホームページ」(27.2%)、「マイナポータル」(18.5%)、「コンビニ交付サービス」(17.9%)などの順となっている。一方、「特にない」(27.6%)は3割近くとなっている。(図13-1-1)

図13-1-2 利用したい昭島市のインターネットサービス（性・年代別）  
 -上位5項目+「特にない」



性別にみると、「昭島市ごみ分別アプリ」は女性（28.8%）が男性（26.1%）より2.7ポイント高くなっている。一方、「昭島市公式ホームページ」は男性（29.6%）が女性（24.9%）より4.7ポイント、高くなっている。

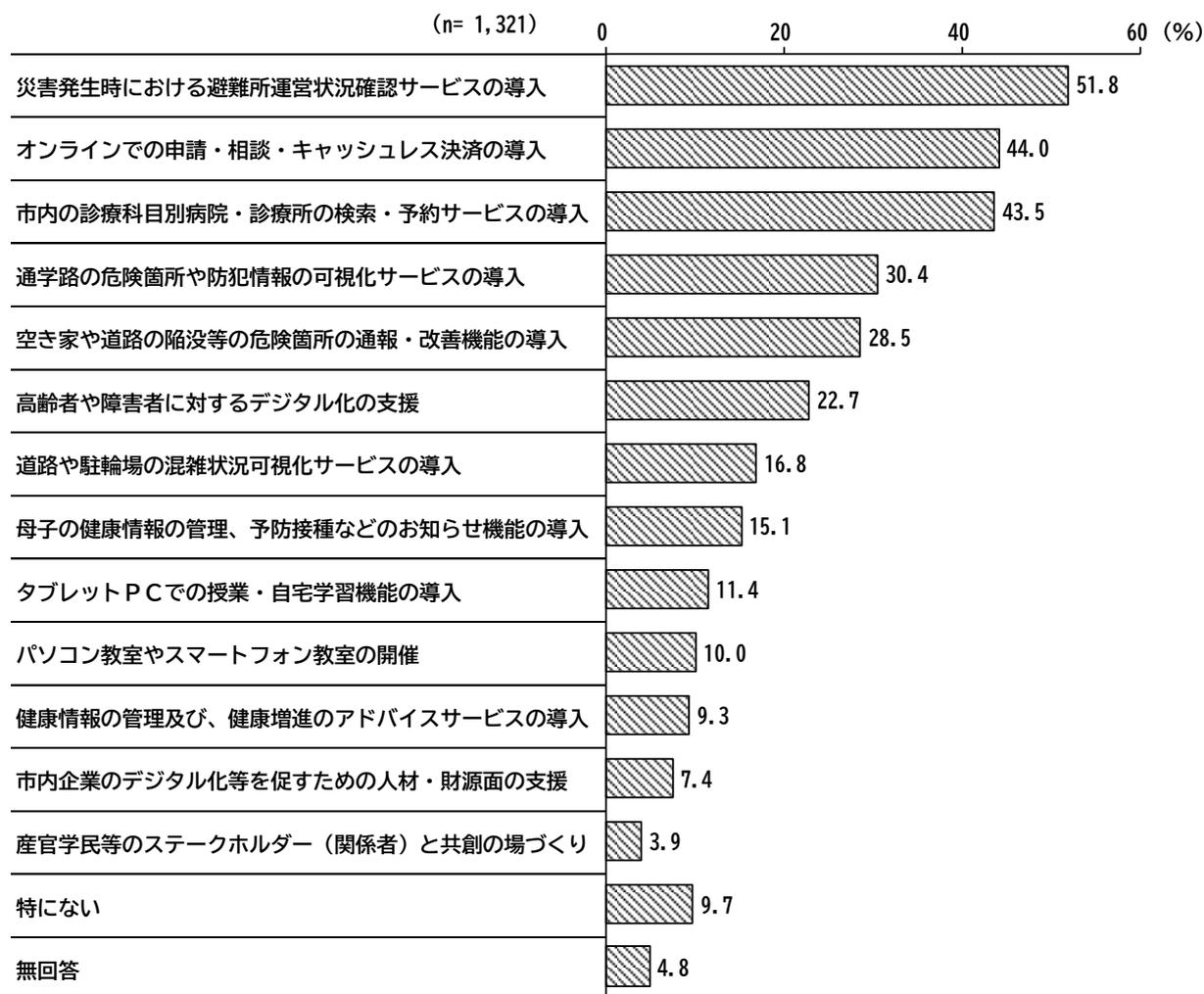
性・年代別にみると、「昭島市ごみ分別アプリ」は女性30代（46.2%）で5割近くと高くなっている。「昭島市公式ホームページ」は男性60代（43.9%）で4割以上となっている。

(図13-1-2)

## (2) デジタル施策の優先度

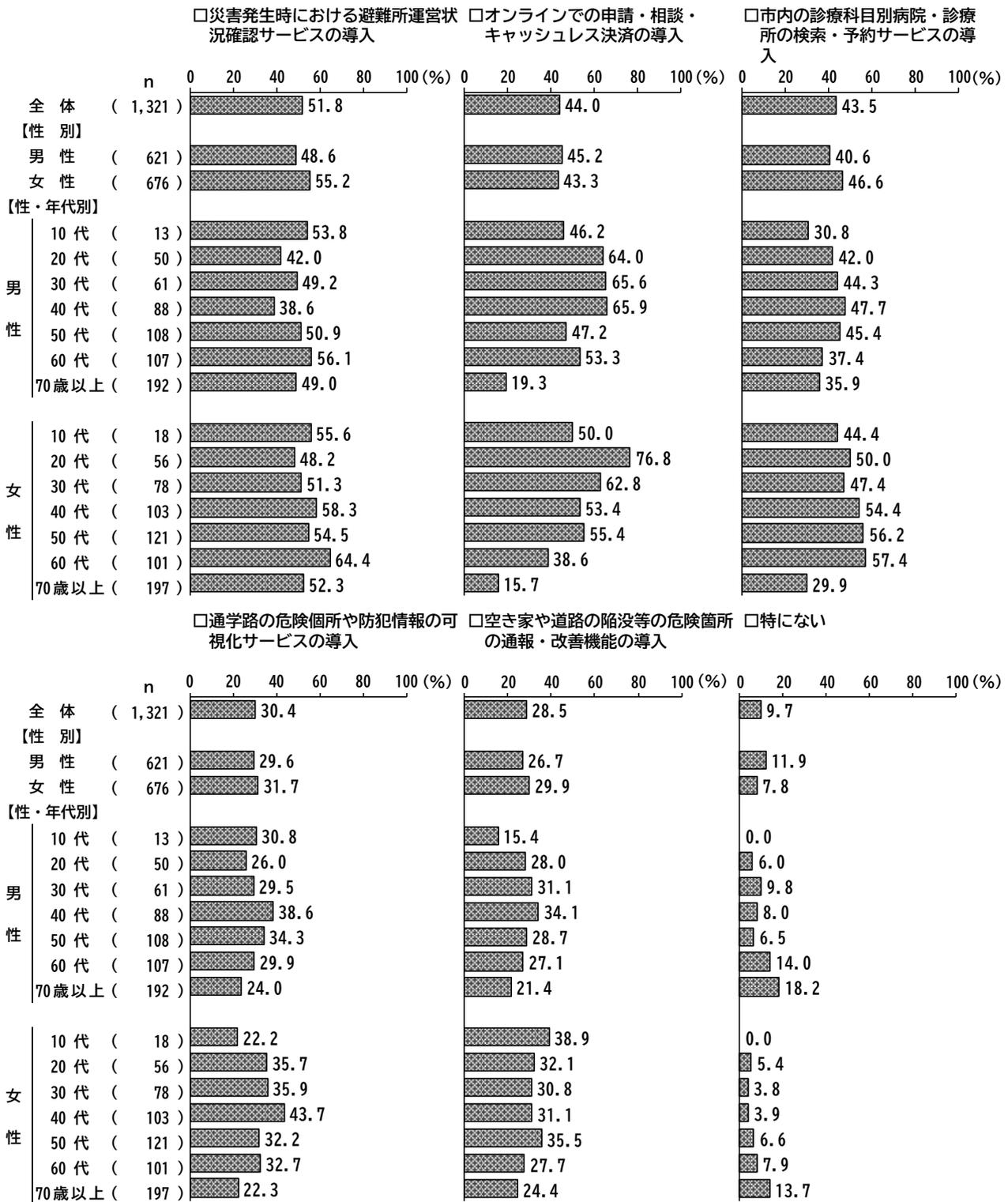
Q35 昭島市のデジタル化施策として、優先して行うべきと思う取り組みは何ですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んでください。(n=1,321)

図13-2-1 デジタル施策の優先度 (全体)



昭島市のデジタル化施策として、優先して行うべきと思う取り組みを聞いたところ、「災害発生時における避難所運営状況確認サービスの導入」(51.8%)が5割以上で最も高く、次いで「オンラインでの申請・相談・キャッシュレス決済の導入」(44.0%)、「市内の診療科目別病院・診療所の検索・予約サービスの導入」(43.5%)、「通学路の危険箇所や防犯情報の可視化サービスの導入」(30.4%)などの順となっている。(図13-2-1)

図13-2-2 デジタル施策の優先度（性・年代別）－上位5項目＋「特にない」



性別にみると、「災害発生時における避難所運営状況確認サービスの導入」は女性（55.2%）が男性（48.6%）より6.6ポイント高くなっている。一方、「オンラインでの申請・相談・キャッシュレス決済の導入」は男性（45.2%）が女性（43.3%）より1.9ポイント高くなっている。

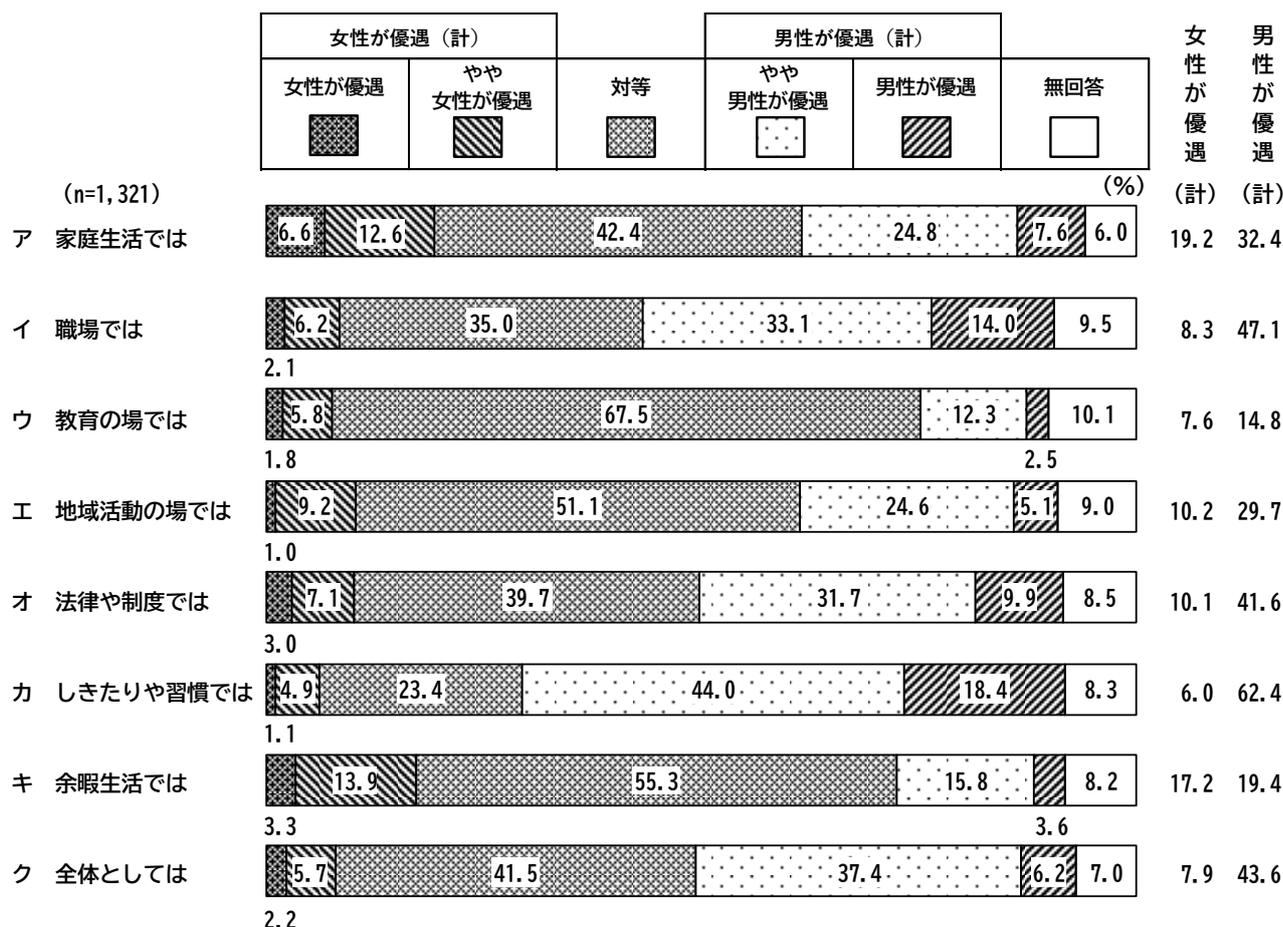
性・年代別にみると、「災害発生時における避難所運営状況確認サービスの導入」は女性60代（64.4%）で6割半ばと高くなっている。「オンラインでの申請・相談・キャッシュレス決済の導入」は女性20代（76.8%）で8割近くと高くなっている。（図13-2-2）

## 14 男女共同参画

## (1) 男女の立場または待遇

Q36 あなたは、次の各分野において男女の立場または待遇が対等になっていると思いますか。ア～クのそれぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。(n=1,321)

図14-1-1 男女の立場または待遇 (全体)

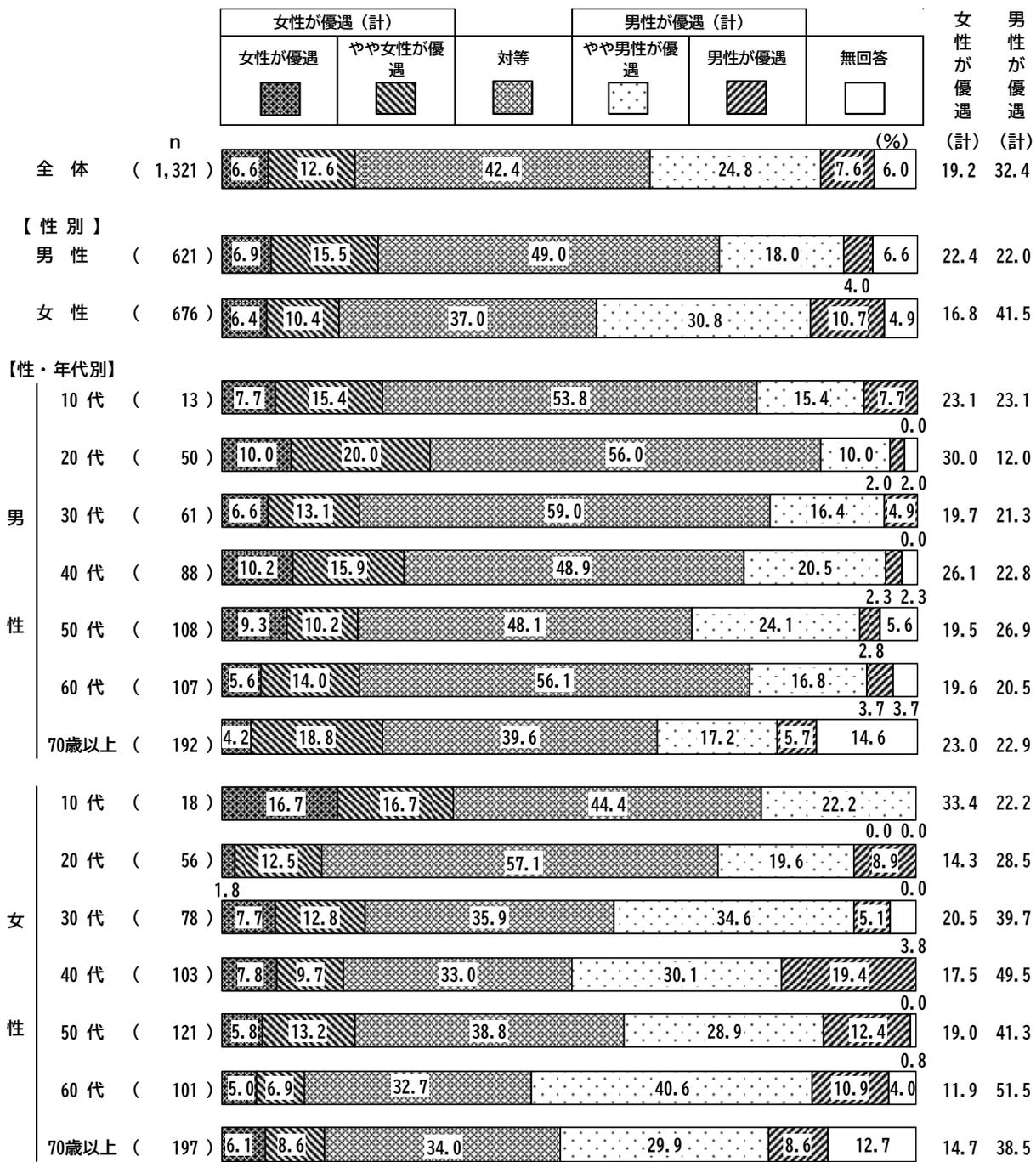


男女の立場または待遇が対等になっていると思うか聞いたところ、「対等」は、【教育の場では】(67.5%)で7割近くと最も高く、次いで【余暇生活では】(55.3%)、【地域活動の場では】(51.1%)、【家庭生活では】(42.4%)などの順となっている。

また、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた『女性が優遇 (計)』は、【家庭生活では】(19.2%)で約2割と最も高く、次いで【余暇生活では】(17.2%)、【地域活動の場では】(10.2%)、【法律や制度では】(10.1%)などの順となっている。

一方、「やや男性が優遇」と「男性が優遇」を合わせた『男性が優遇 (計)』は、【しきたりや習慣では】(62.4%)で6割以上と最も高く、次いで【職場では】(47.1%)、【全体としては】(43.6%)、【家庭生活では】(32.4%)などの順となっている。(図14-1-1)

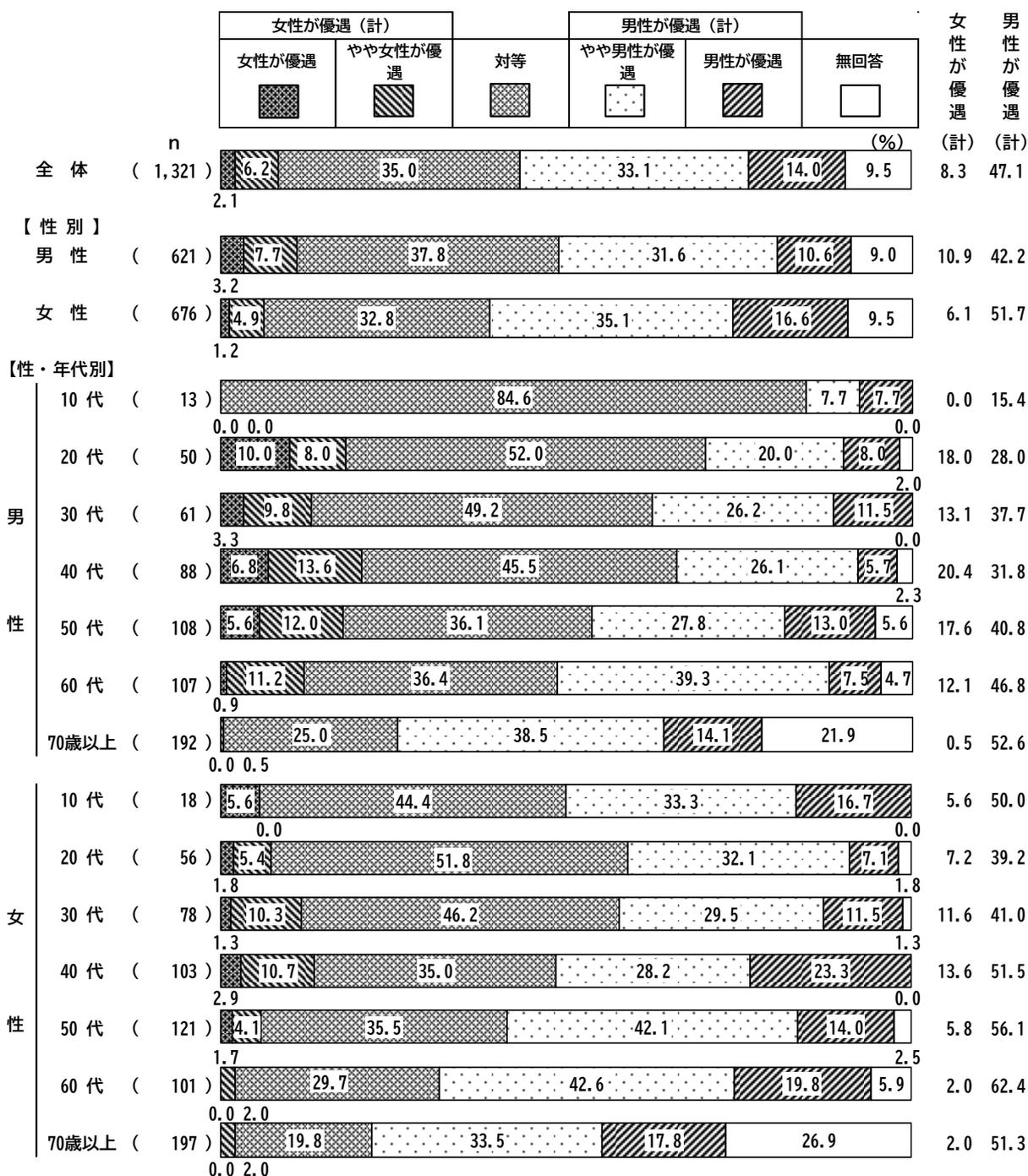
図14-1-2 男女の立場または待遇（性・年代別） 【ア 家庭生活では】



【家庭生活では】を性別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性 (22.4%) が女性 (16.8%) より5.6ポイント、「対等」は男性 (49.0%) が女性 (37.0%) より12.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性 (41.5%) が男性 (22.0%) より19.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性20代 (30.0%) で3割となっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性60代 (51.5%) で5割以上と高くなっている。また、「対等」は男性30代 (59.0%) で約6割と高くなっている。(図14-1-2)

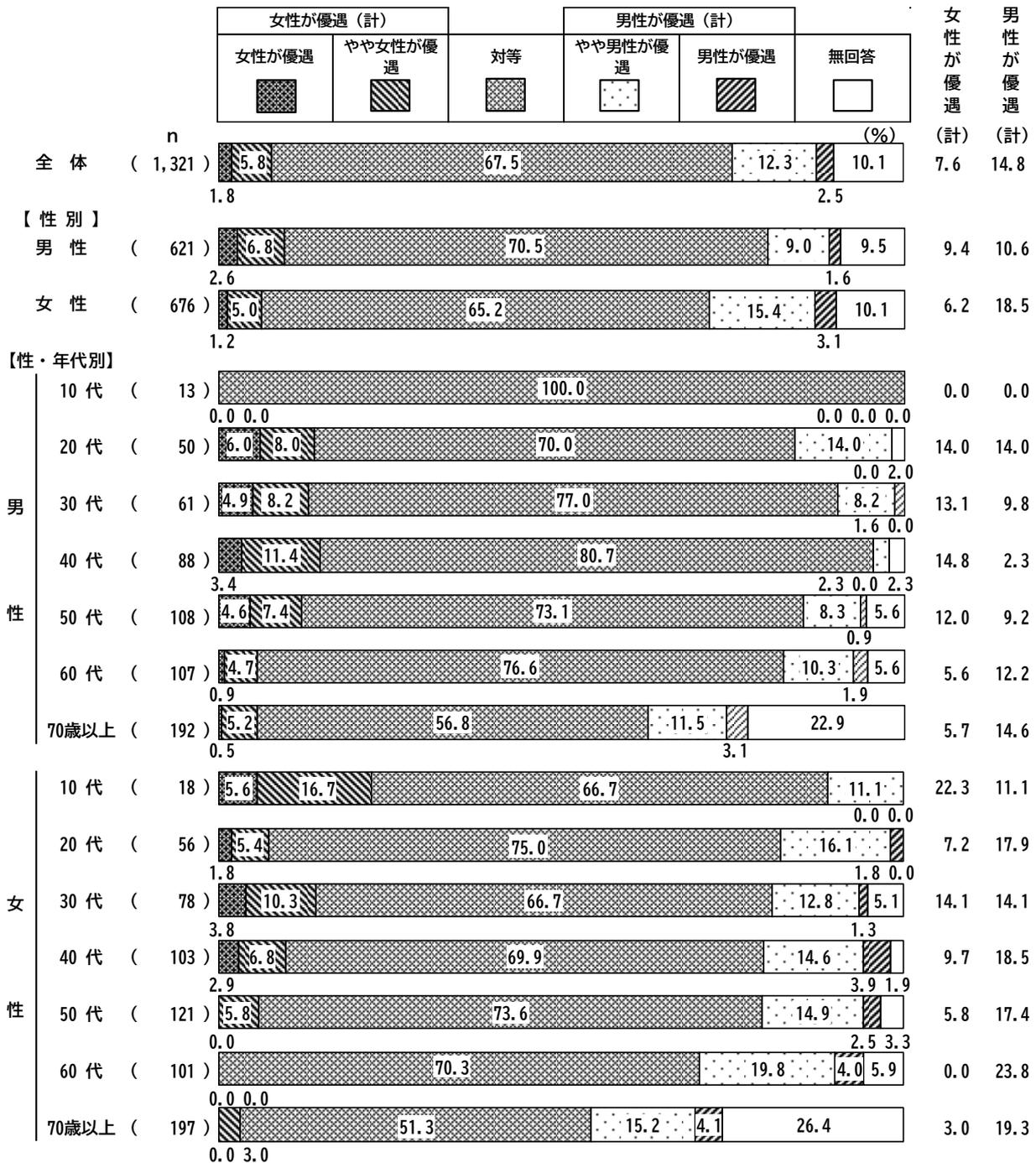
図14-1-3 男女の立場または待遇（性・年代別） 【イ 職場では】



【職場では】を性別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性 (10.9%) が女性 (6.1%) より4.8ポイント、「対等」は男性 (37.8%) が女性 (32.8%) より5.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性 (51.7%) が男性 (42.2%) より9.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性40代 (20.4%) で約2割となっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性60代 (62.4%) で6割以上と高くなっている。また、「対等」は男性20代 (52.0%) で5割以上と高くなっている。(図14-1-3)

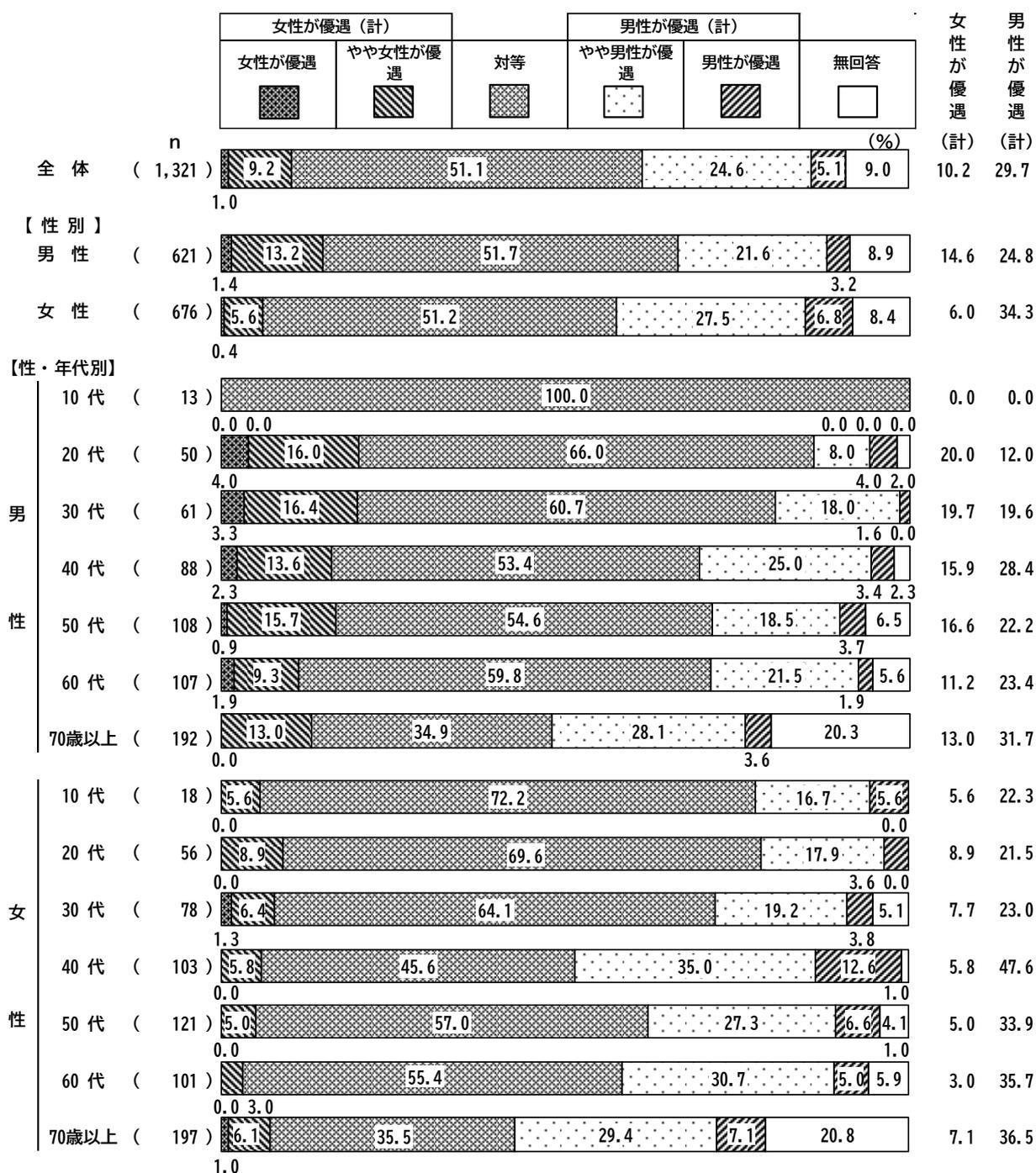
図14-1-4 男女の立場または待遇（性・年代別） 【ウ 教育の場では】



【教育の場では】を性別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性 (9.4%) が女性 (6.2%) より3.2ポイント、「対等」は男性 (70.5%) が女性 (65.2%) より5.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性 (18.5%) が男性 (10.6%) より7.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性40代 (14.8%) が1割半ばとなっている。『男性が優遇 (計)』は女性60代 (23.8%) で2割以上となっている。また、「対等」は男性40代 (80.7%) で約8割と高くなっている。(図14-1-4)

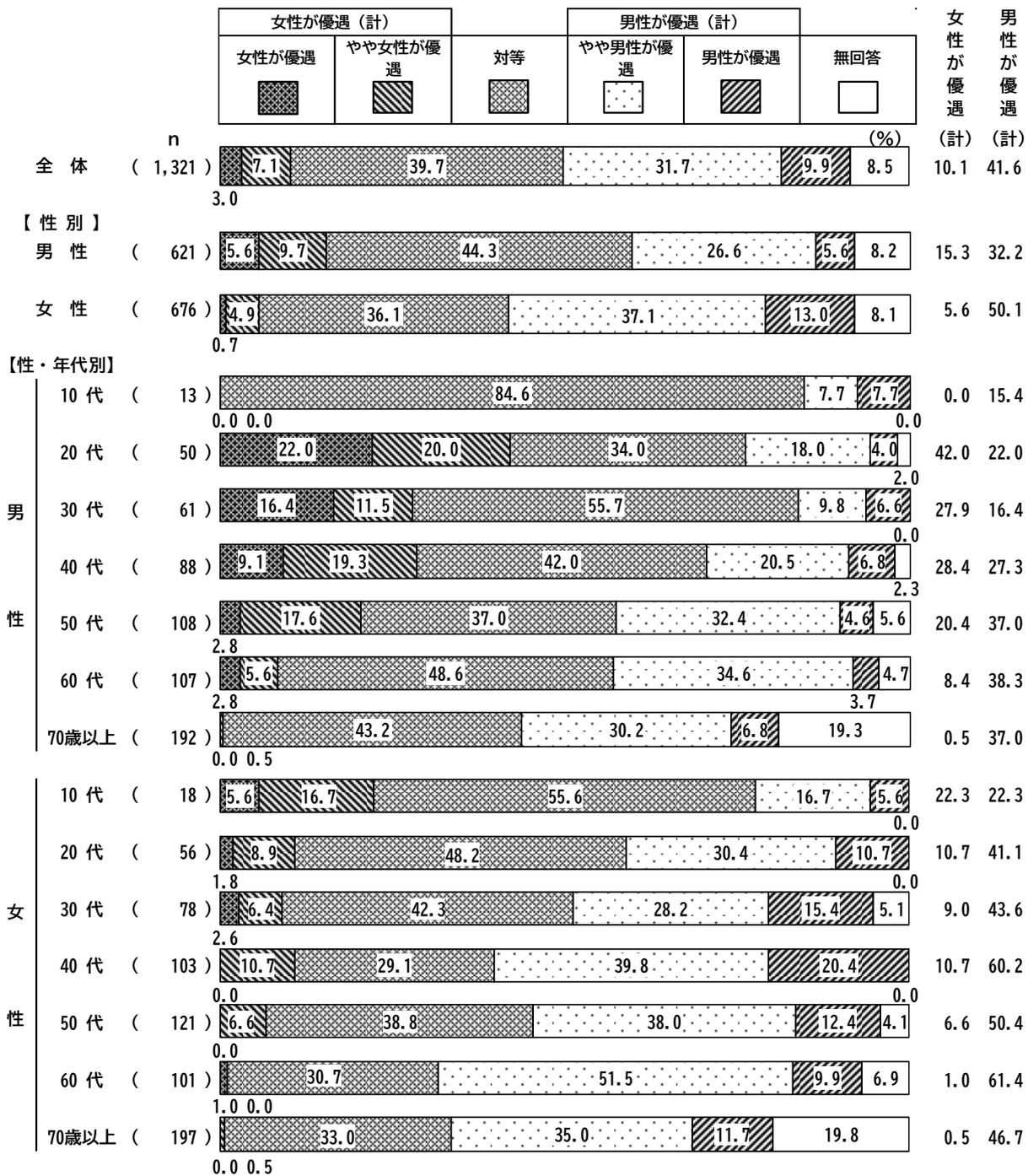
図14-1-5 男女の立場または待遇（性・年代別） 【工 地域活動の場では】



【地域活動の場では】を性別にみると、『女性が優遇（計）』は男性（14.6%）が女性（6.0%）より8.6ポイント高くなっている。「対等」は男性（51.7%）が女性（51.2%）より0.5ポイント高くなっている。一方、『男性が優遇（計）』は女性（34.3%）が男性（24.8%）より9.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇（計）』は男性20代（20.0%）が2割となっている。『男性が優遇（計）』は女性40代（47.6%）で5割近くと高くなっている。また、「対等」は女性20代（69.6%）で約7割と高くなっている。（図14-1-5）

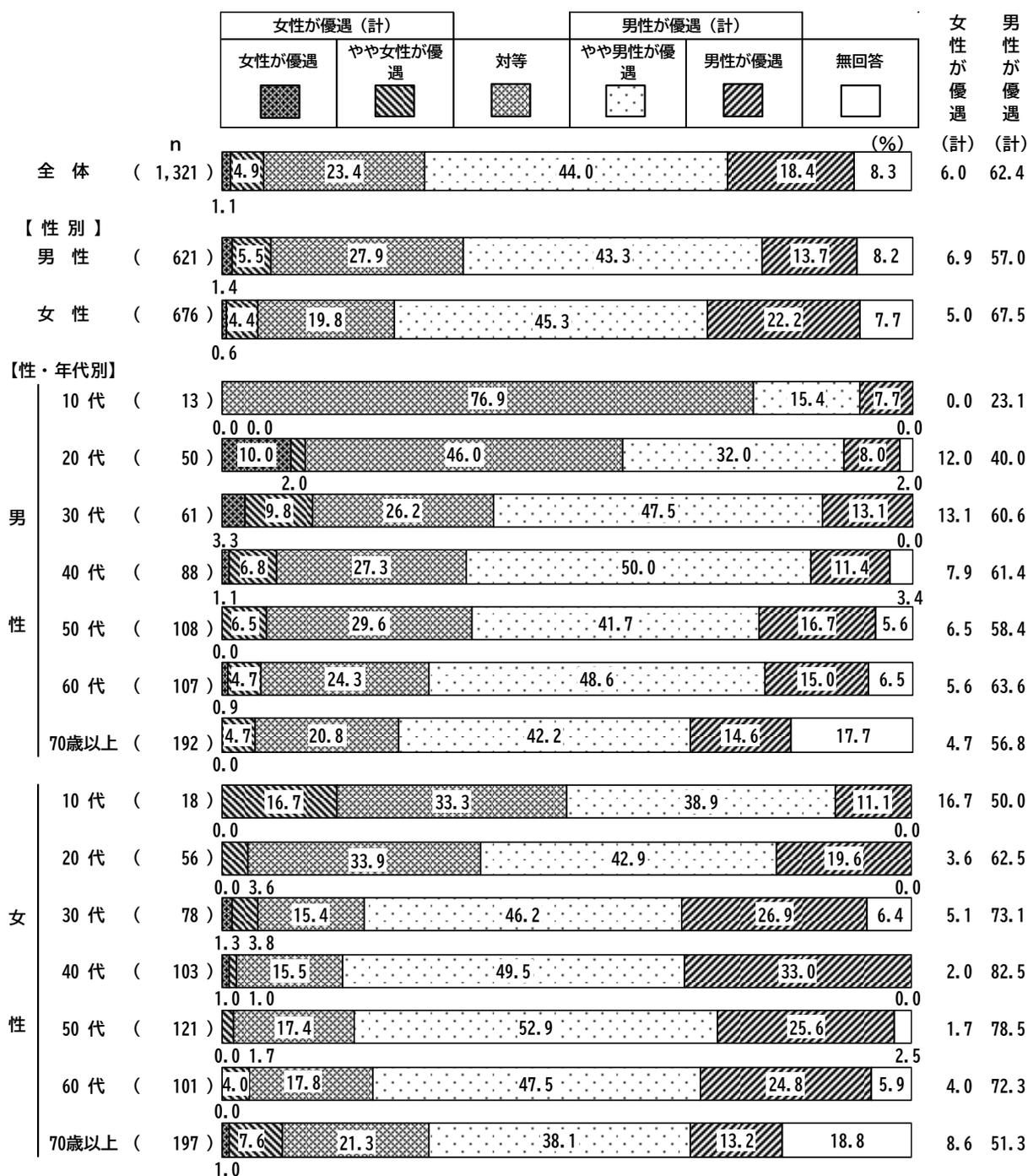
図14-1-6 男女の立場または待遇（性・年代別） 【オ 法律や制度では】



【法律や制度では】を性別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性 (15.3%) が女性 (5.6%) より9.7ポイント、「対等」は男性 (44.3%) が女性 (36.1%) より8.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性 (50.1%) が男性 (32.2%) より17.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性20代 (42.0%) で4割以上と高くなっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性60代 (61.4%) で6割以上と高くなっている。また、「対等」は男性30代 (55.7%) で5割半ばと高くなっている。(図14-1-6)

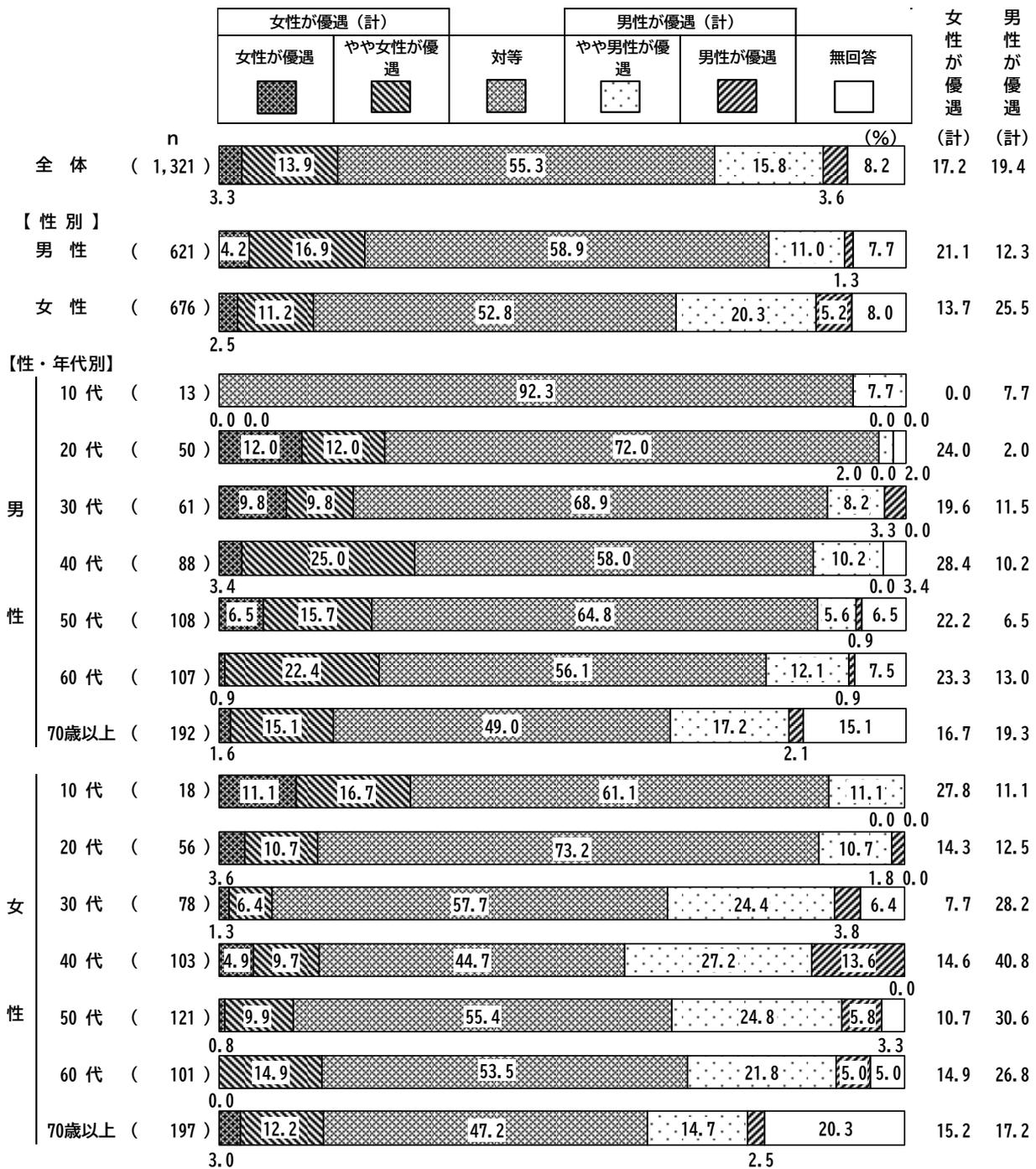
図14-1-7 男女の立場または待遇（性・年代別） 【カ しきたりや習慣では】



【しきたりや習慣では】を性別にみると、『女性が優遇（計）』は男性（6.9%）が女性（5.0%）より1.9ポイント、「対等」は男性（27.9%）が女性（19.8%）より8.1ポイント高くなっている。一方、『男性が優遇（計）』は女性（67.5%）が男性（57.0%）より10.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇（計）』は男性30代（13.1%）で1割以上となっている。『男性が優遇（計）』は女性40代（82.5%）で8割以上と高くなっている。また、「対等」は男性20代（46.0%）で4割半ばとなっている。（図14-1-7）

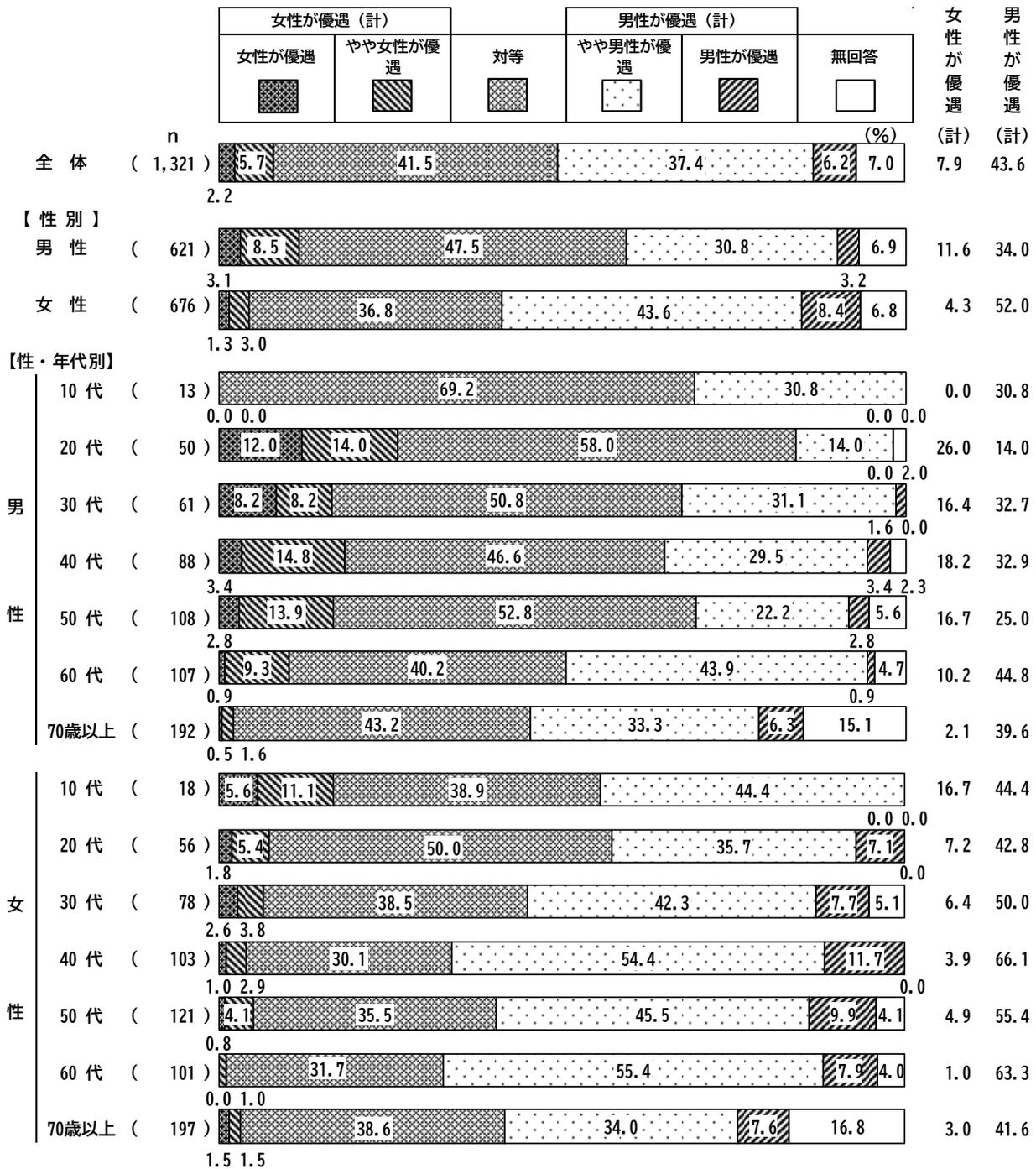
図14-1-8 男女の立場または待遇（性・年代別） 【キ 余暇生活では】



【余暇生活では】を性別にみると、『女性が優遇（計）』は男性（21.1%）が女性（13.7%）より7.4ポイント、「対等」は男性（58.9%）が女性（52.8%）より6.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『男性が優遇（計）』は女性（25.5%）が男性（12.3%）より13.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『女性が優遇（計）』は男性40代（28.4%）で3割近くとなっている。一方、『男性が優遇（計）』は女性40代（40.8%）で約4割となっている。また、「対等」は女性20代（73.2%）で7割以上と高くなっている。（図14-1-8）

図14-1-9 男女の立場または待遇（性・年代別） 【ク 全体としては】



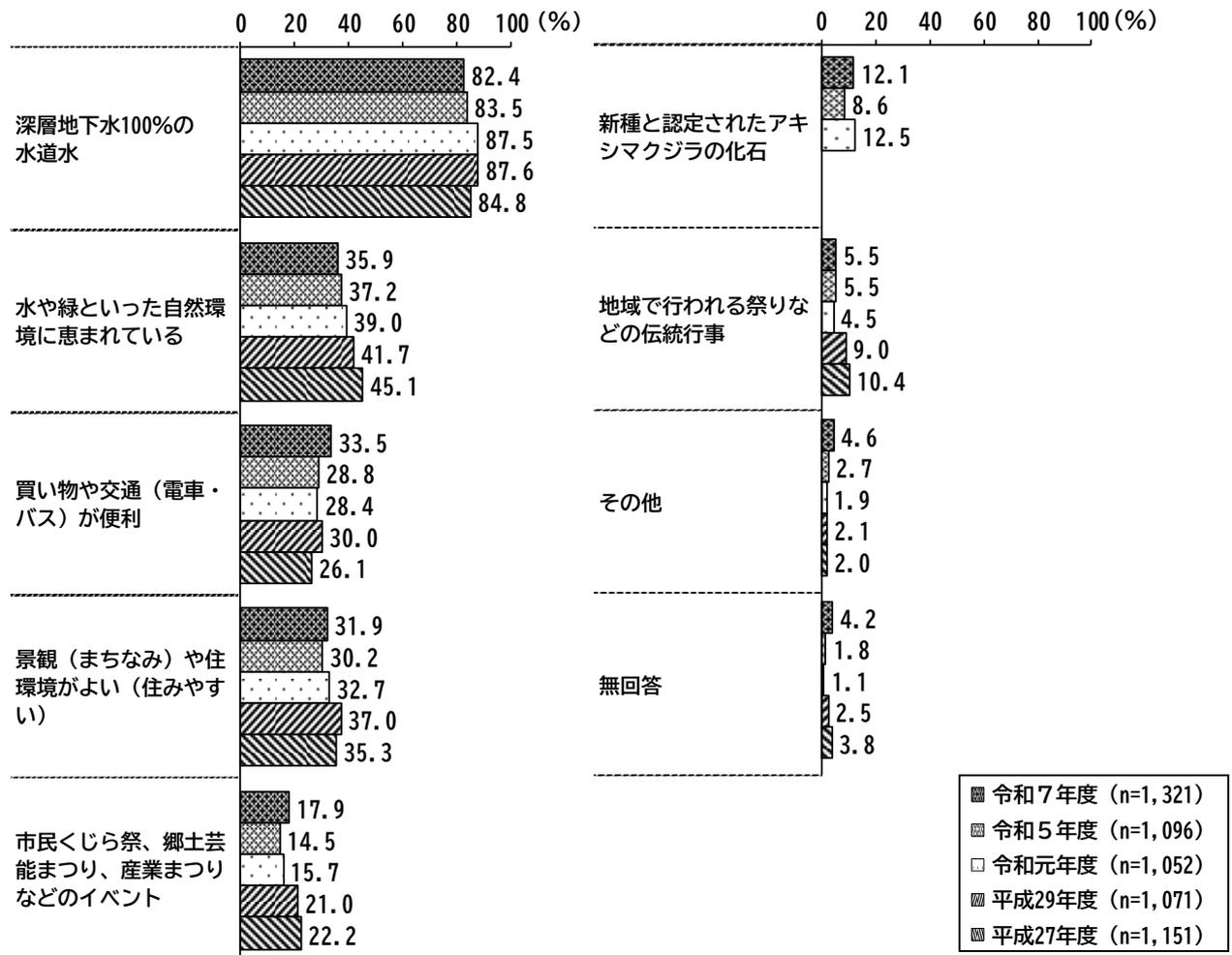
【全体としては】を性別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性 (11.6%) が女性 (4.3%) より7.3ポイント、「対等」は男性 (47.5%) が女性 (36.8%) より10.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『男性が優遇 (計)』は女性 (52.0%) が男性 (34.0%) より18.0ポイント高くなっている。性・年代別にみると、『女性が優遇 (計)』は男性20代 (26.0%) で2割半ばとなっている。『男性が優遇 (計)』は女性40代 (66.1%) で7割近くと高くなっている。また、「対等」は男性20代 (58.0%) で6割近くと高くなっている。(図14-1-9)

15 市政

(1) 昭島の魅力

Q37 あなたは、市外の人に昭島の良さを伝えるとしたら何を伝えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から3つまで選んでください。 (n=1,321)

図15-1-1 昭島の魅力（全体、過年度比較）



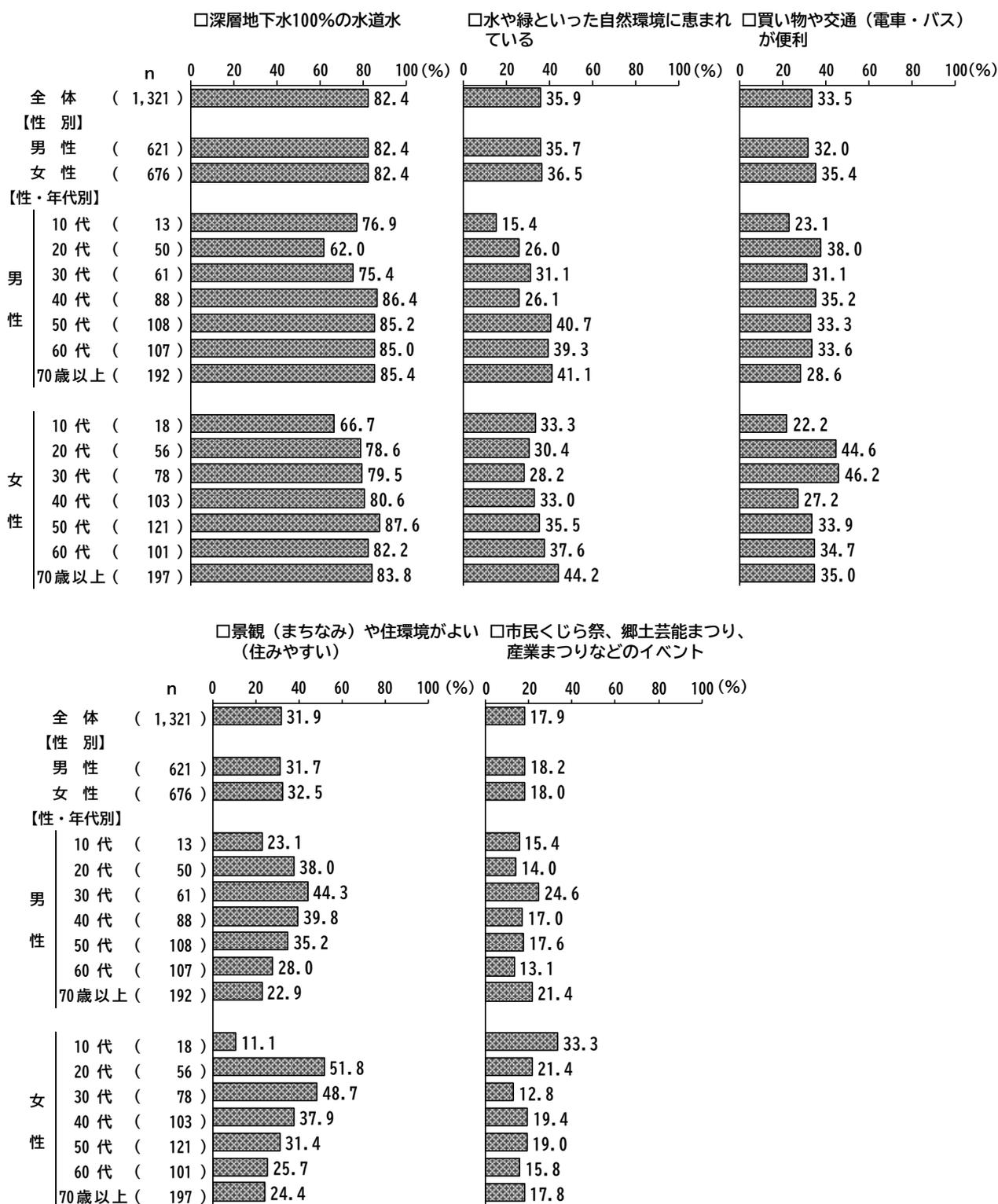
※「景観（まちなみ）や住環境がよい（住みやすい）」は、令和元年度調査までは「住環境がよい（住みやすい）」となっていた。

※「新種と認定されたアキシマクジラの化石」は、令和元年度調査から追加された選択肢。

市外の人に昭島の良さを伝えるとしたら何を伝えるか聞いたところ、「深層地下水100%の水道水」(82.4%)が8割以上で最も高く、次いで「水や緑といった自然環境に恵まれている」(35.9%)、「買い物や交通（電車・バス）が便利」(33.5%)、「景観（まちなみ）や住環境がよい（住みやすい）」(31.9%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「買い物や交通（電車・バス）が便利」は4.7ポイント増加している。一方、「深層地下水100%の水道水」は1.1ポイント、「水や緑といった自然環境に恵まれている」は1.3ポイント、それぞれ減少している。(図15-1-1)

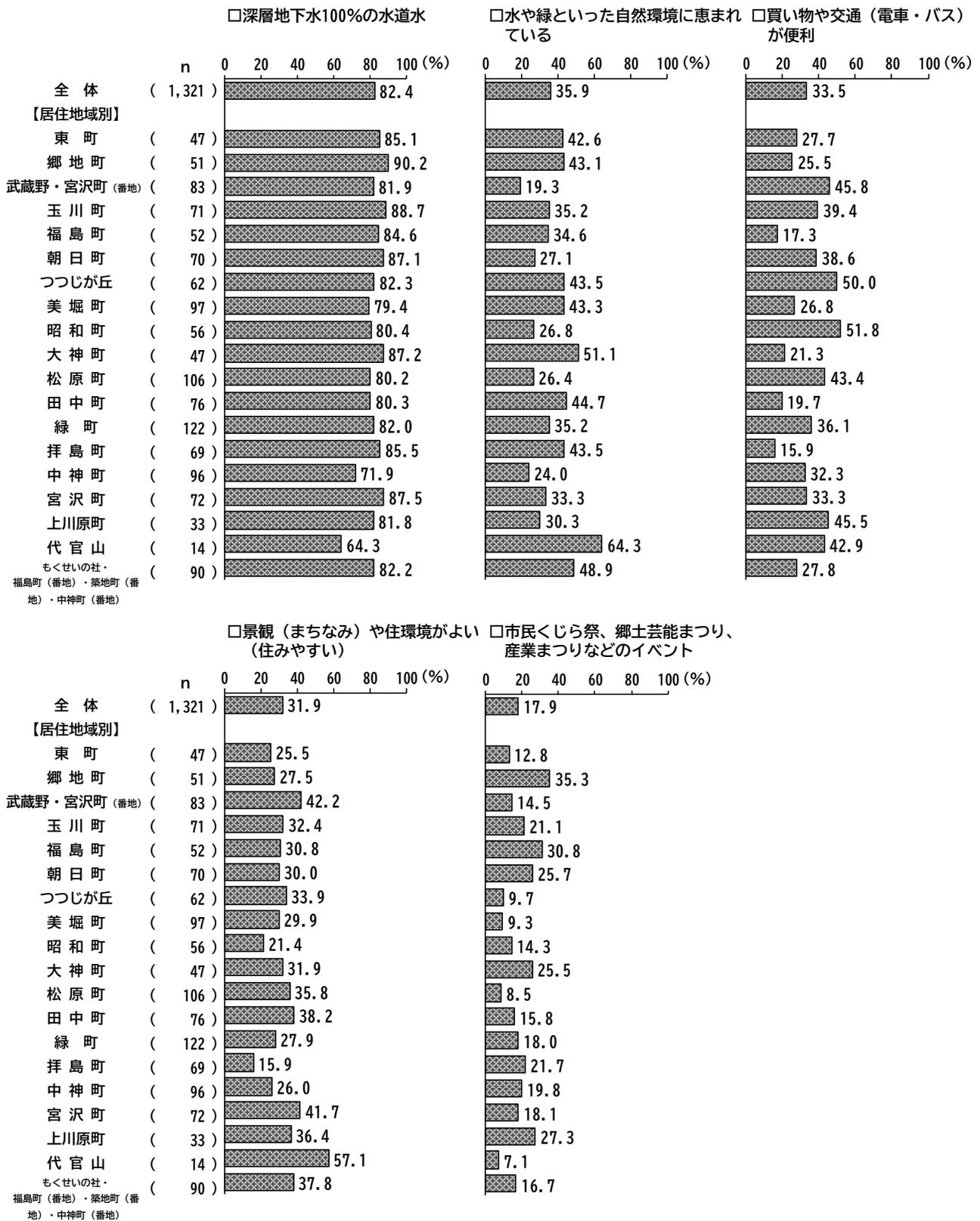
図15-1-2 昭島の魅力（性・年代別）－上位5項目



性別にみると、「買い物や交通（電車・バス）が便利」は女性（35.4%）が男性（32.0%）より3.4ポイント、高くなっている。

性・年代別にみると、「深層地下水100%の水道水」は女性50代（87.6%）で9割近くと高くなっている。「水や緑といった自然環境に恵まれている」は女性70歳以上（44.2%）で4割半ばとなっている。「買い物や交通（電車・バス）が便利」は女性30代（46.2%）で5割近くと高くなっている。（図15-1-2）

図15-1-3 昭島の魅力（居住地域別）－上位5項目

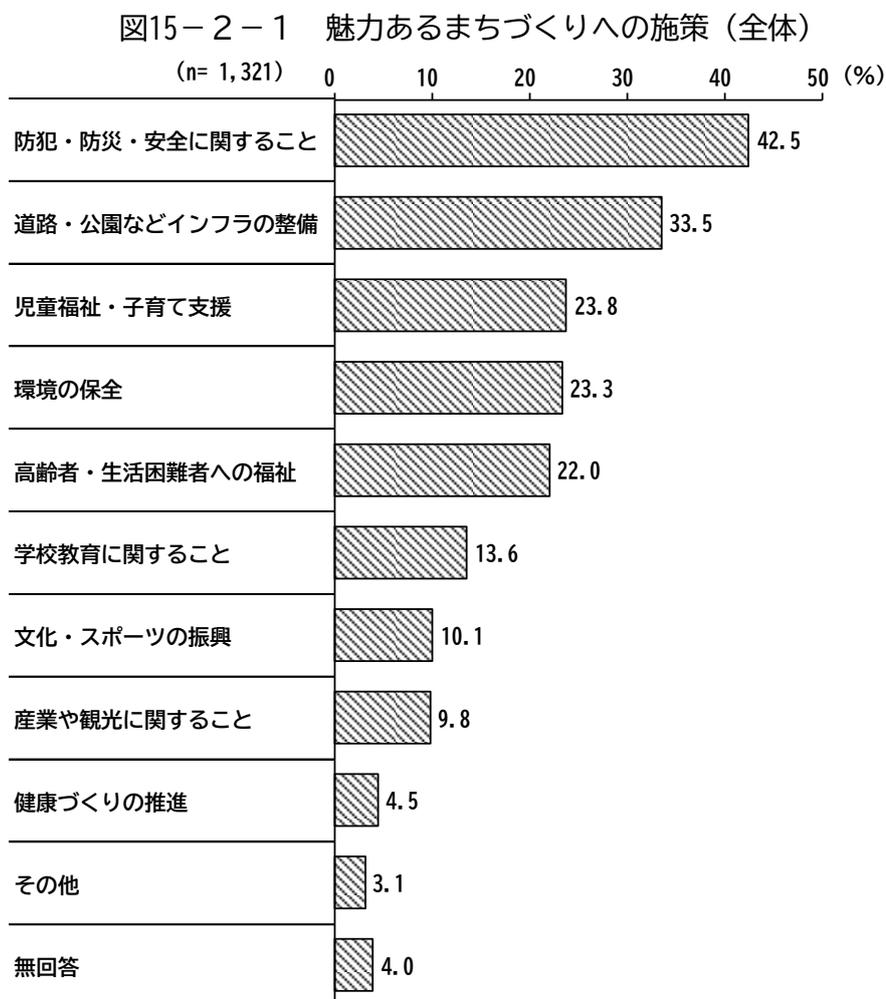


居住地域別にみると、「深層地下水100%の水道水」は郷地町（90.2%）で約9割と高くなっている。「水や緑といった自然環境に恵まれている」は大神町（51.1%）で5割以上と高くなっている。「買い物や交通（電車・バス）が便利」は昭和町（51.8%）で5割以上と高くなっている。

（図15-1-3）

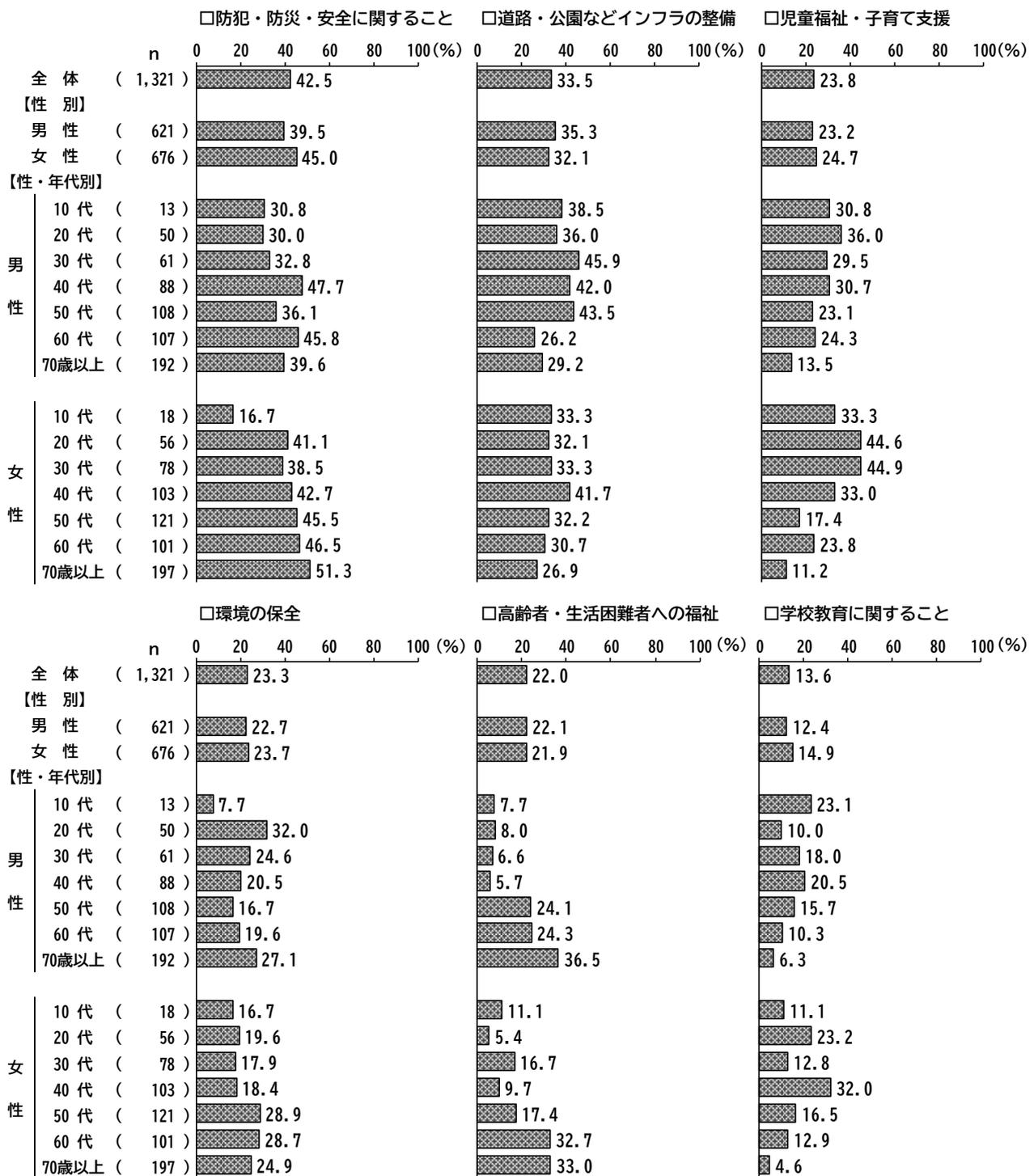
## (2) 魅力あるまちづくりへの施策

Q38 あなたは、市外の人から「住んでみたい」「訪れてみたい」と思っただけの魅力あるまちづくりのため、今後5年間で、昭島市はどのような施策を特に重点的にすすめていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。(n=1,321)



今後5年間で、昭島市はどのような施策を特に重点的にすすめていくべきか聞いたところ、「防犯・防災・安全に関すること」(42.5%)が4割以上で最も高く、次いで「道路・公園などインフラの整備」(33.5%)、「児童福祉・子育て支援」(23.8%)、「環境の保全」(23.3%)などの順となっている。(図15-2-1)

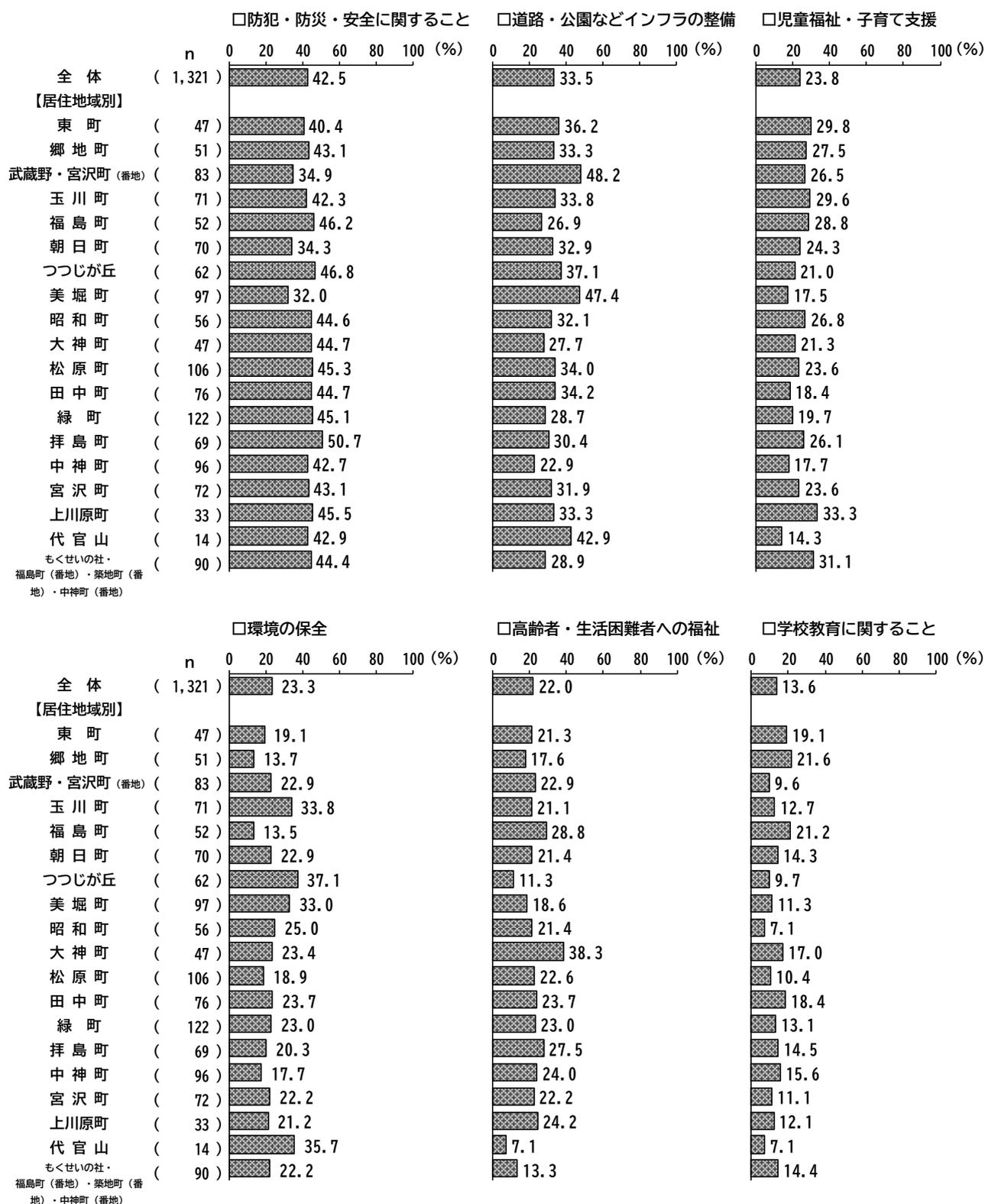
図15-2-2 魅力あるまちづくりへの施策（性・年代別）－上位6項目



性別にみると、「防犯・防災・安全に関すること」は女性（45.0%）が男性（39.5%）より5.5ポイント高くなっている。一方、「道路・公園などインフラの整備」は男性（35.3%）が女性（32.1%）より3.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「防犯・防災・安全に関すること」は女性70歳以上（51.3%）で5割以上と高くなっている。「道路・公園などインフラの整備」は男性30代（45.9%）で4割半ばとなっている。「児童福祉・子育て支援」は女性30代（44.9%）、女性20代（44.6%）で4割半ばとなっている。（図15-2-2）

図15-2-3 魅力あるまちづくりへの施策（居住地域別）－上位6項目

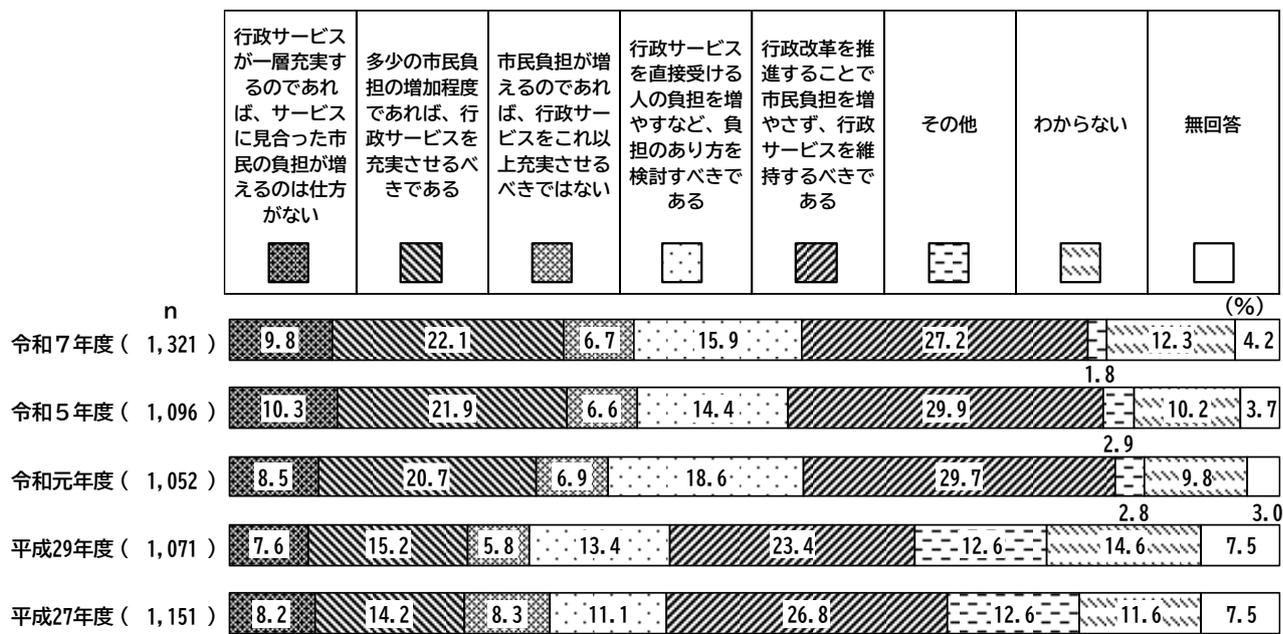


居住地域別にみると、「防犯・防災・安全に関すること」は拝島町（50.7%）で約5割と高くなっている。「道路・公園などインフラの整備」は武蔵野・宮沢町（番地）（48.2%）、美堀町（47.4%）で5割近くと高くなっている。「児童福祉・子育て支援」は上川原町（33.3%）で3割以上となっている。（図15-2-3）

(3) 行政サービスの水準と負担

Q39 あなたは、行政サービスの水準と負担について、どのような対応をすることが望ましいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=1,321)

図15-3-1 行政サービスの水準と負担（全体、過年度比較）



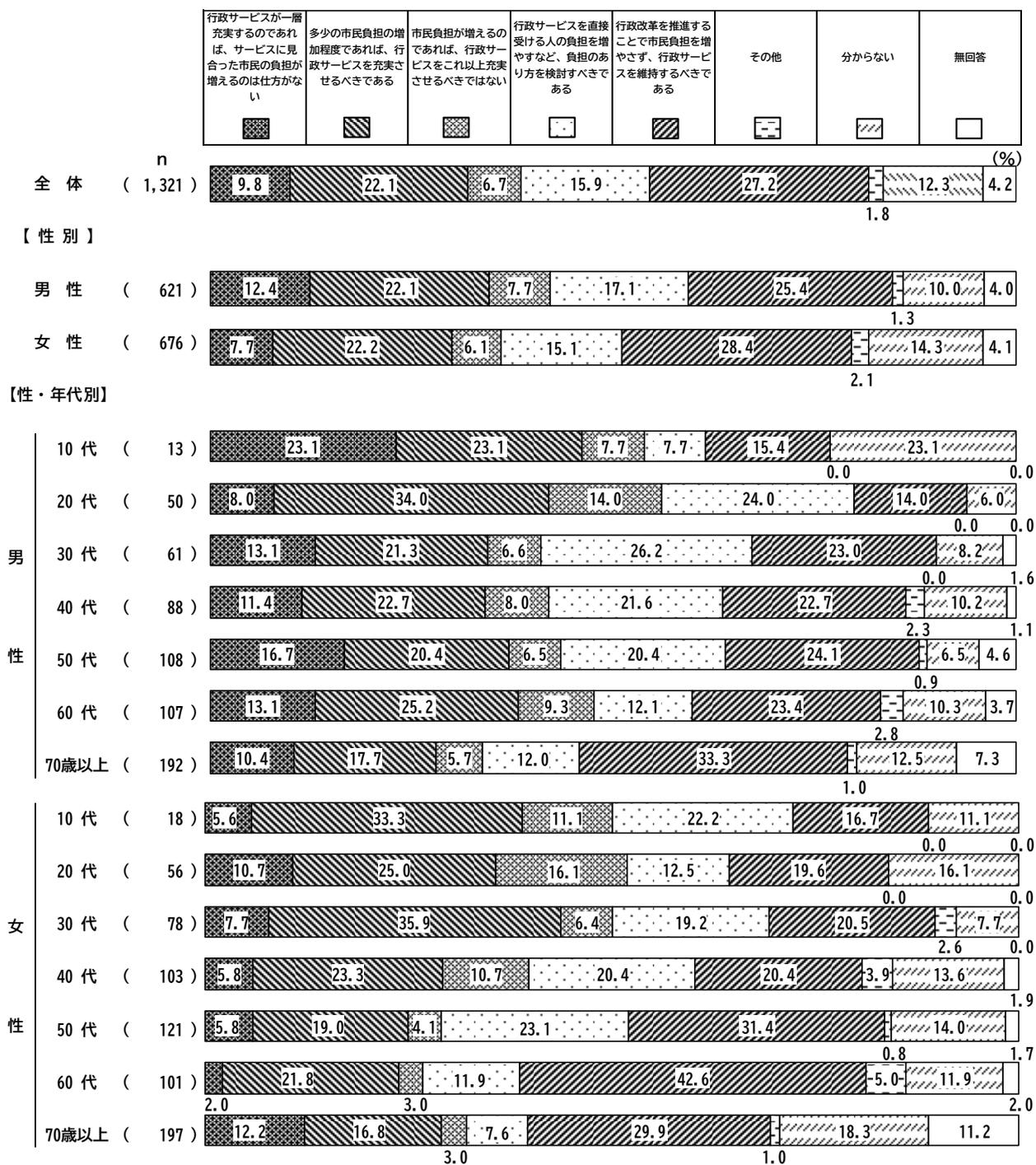
※平成29年度調査までは、「行政サービスを民間企業や市民団体に委託し、一層の効率化を図るべきである」の選択肢が設けられていた。

※平成29年度調査までの「その他」は、「その他」と「行政サービスを民間企業や市民団体に委託し、一層の効率化を図るべきである」を合算している。

行政サービスの水準と負担について、どのような対応をすることが望ましいか聞いたところ、「行政改革を推進することで市民負担を増やさず、行政サービスを維持するべきである」(27.2%)が3割近くで最も高く、次いで「多少の市民負担の増加程度であれば、行政サービスを充実させるべきである」(22.1%)、「行政サービスを直接受ける人の負担を増やすなど、負担のあり方を検討すべきである」(15.9%)、「行政サービスが一層充実するのであれば、サービスに見合った市民の負担が増えるのは仕方がない」(9.8%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「行政改革を推進することで市民負担を増やさず、行政サービスを維持するべきである」は2.7ポイント減少している。一方、「行政サービスを直接受ける人の負担を増やすなど、負担のあり方を検討すべきである」は1.5ポイント増加している。(図15-3-1)

図15-3-2 行政サービスの水準と負担（性・年代別）



性別にみると、「行政改革を推進することで市民負担を増やさず、行政サービスを維持するべきである」は女性（28.4%）が男性（25.4%）より3.0ポイント高くなっている。一方、「行政サービスが一層充実するのであれば、サービスに見合った市民の負担が増えるのは仕方がない」は男性（12.4%）が女性（7.7%）より4.7ポイント高くなっている。

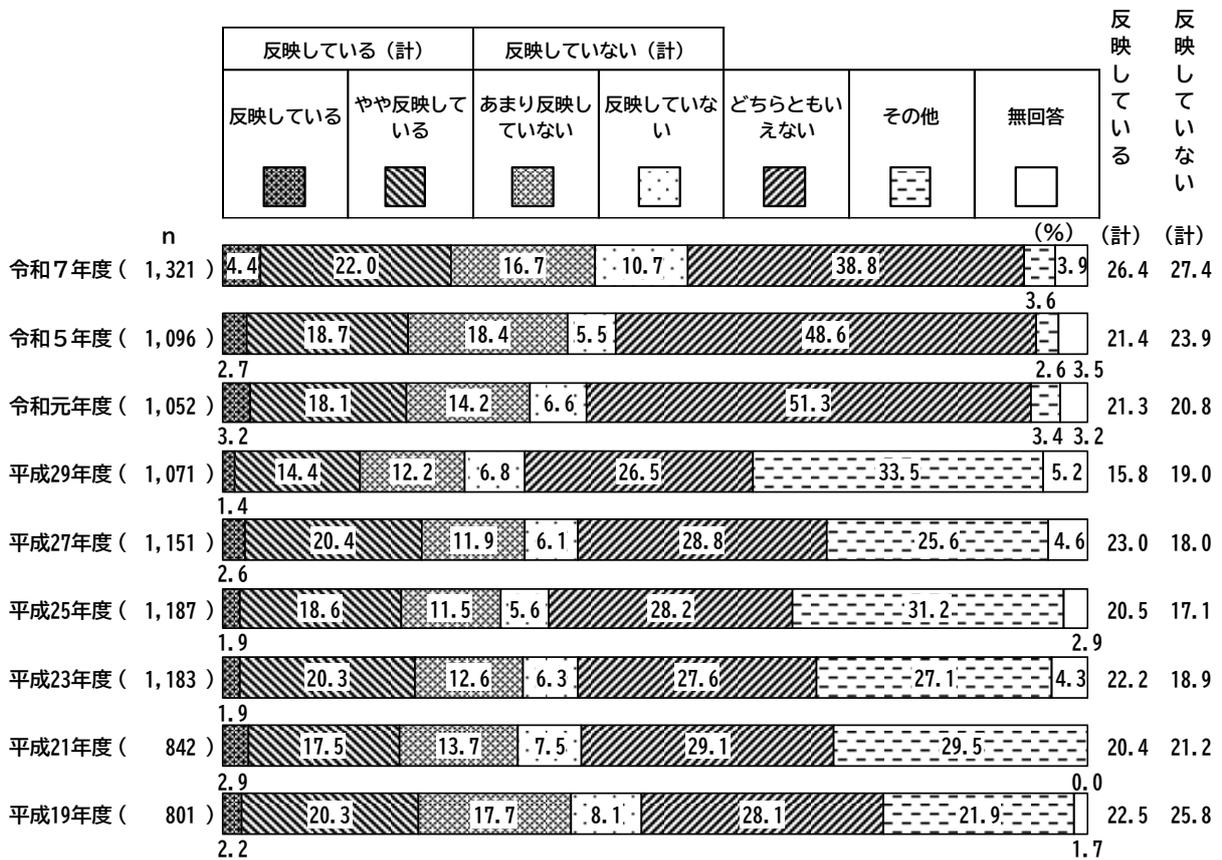
性・年代別にみると、「行政改革を推進することで市民負担を増やさず、行政サービスを維持するべきである」は女性60代（42.6%）で4割以上となっている。「多少の市民負担の増加程度であれば、行政サービスを充実させるべきである」は女性30代（35.9%）で3割半ばとなっている。

（図15-3-2）

(4) 市政への市民の声の反映

Q40 あなたは、現在の市政は、市民の声を反映していると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=1,321)

図15-4-1 市政への市民の声の反映（全体、過年度比較）

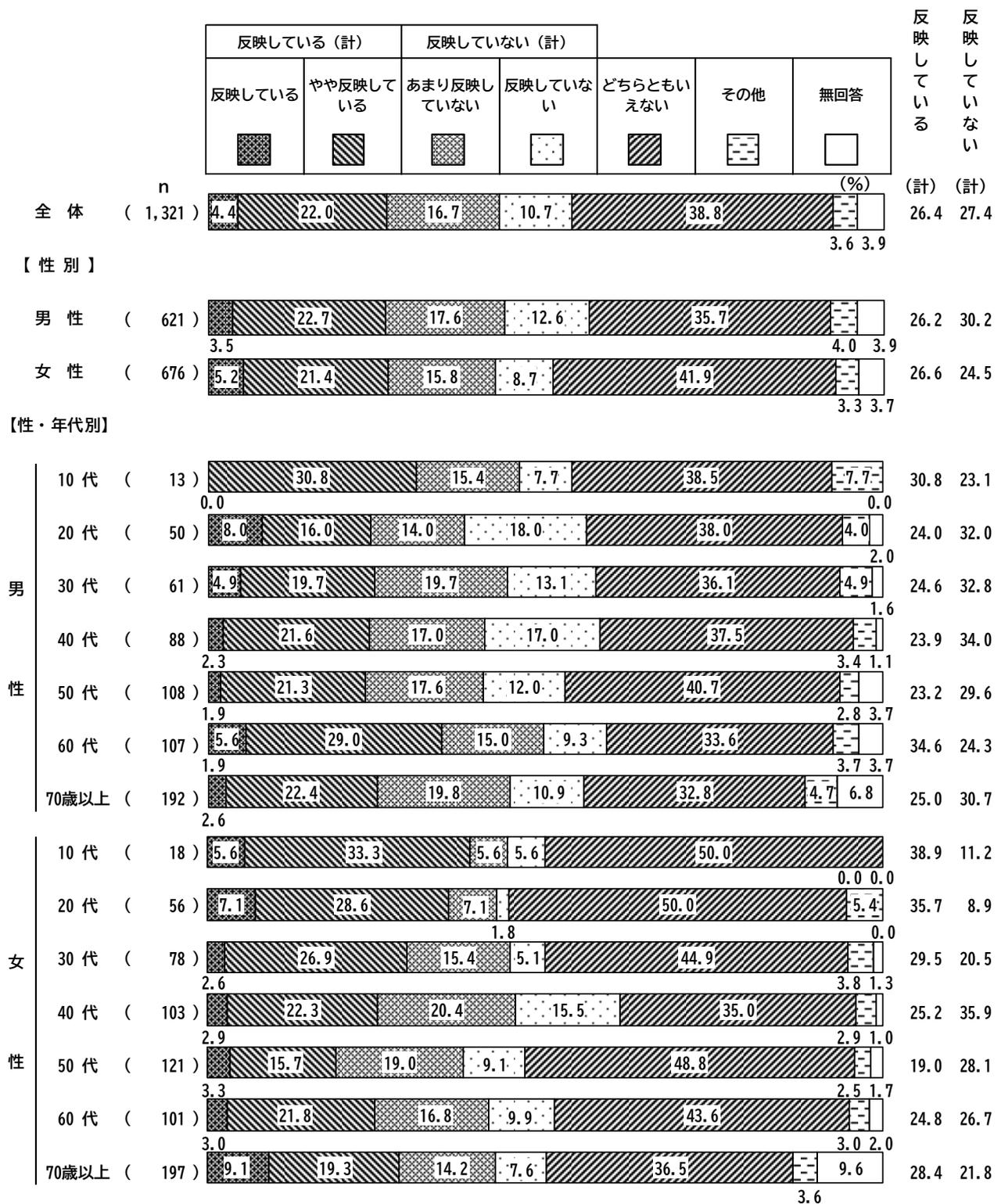


※平成29年度調査までは、「わからない」の選択肢が設けられていた。  
 ※平成29年度調査までの「その他」は、「その他」と「わからない」を合算している。

現在の市政は、市民の声を反映しているか聞いたところ、「反映している」(4.4%)と「やや反映している」(22.0%)を合わせた『反映している(計)』(26.4%)は3割近くとなっている。一方、「あまり反映していない」(16.7%)と「反映していない」(10.7%)を合わせた『反映していない(計)』(27.4%)は3割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(38.8%)は4割近くとなっている。

令和5年度調査と比較すると、『反映している(計)』は5.0ポイント増加している。『反映していない(計)』は3.5ポイント増加している。(図15-4-1)

図15-4-2 市政への市民の声の反映（性・年代別）



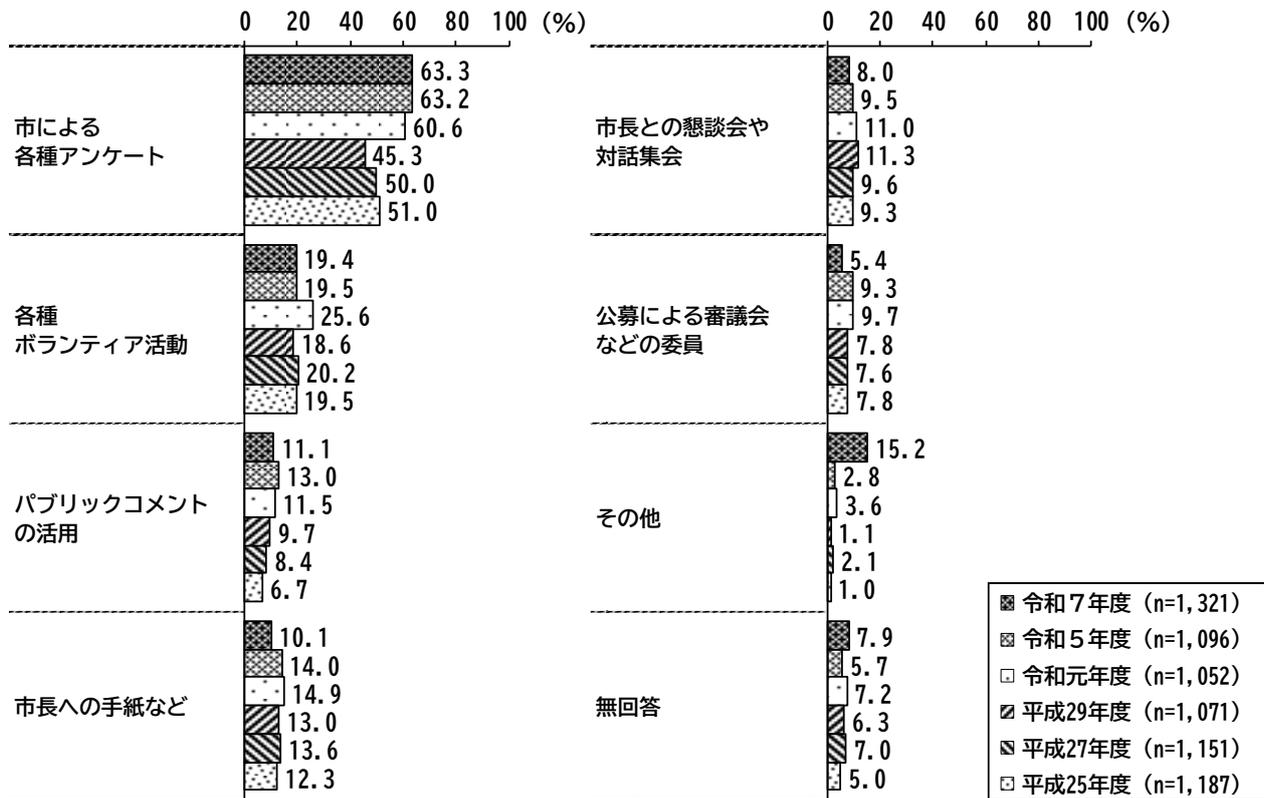
性別にみると、『反映していない（計）』は男性（30.2%）が女性（24.5%）より5.7ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『反映している（計）』は女性20代（35.7%）で3割半ばとなっている。一方、『反映していない（計）』は女性40代（35.9%）で4割半ばとなっている。（図15-4-2）

(5) 市政への参画・協働

Q41 あなたは、「市政への参画・協働」をするにあたって、どのように市政に関わっていき  
たいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。 (n=1,321)

図15-5-1 市政への参画・協働（全体、過年度比較）



「市政への参画・協働」をするにあたって、どのように市政にかかわっていきたいか聞いたところ、「市による各種アンケート」(63.3%)が6割以上で最も高く、次いで「各種ボランティア活動」(19.4%)、「パブリックコメントの活用」(11.1%)、「市長への手紙など」(10.1%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「パブリックコメントの活用」は1.9ポイント、「市長への手紙など」は3.9ポイント、それぞれ減少している。(図15-5-1)

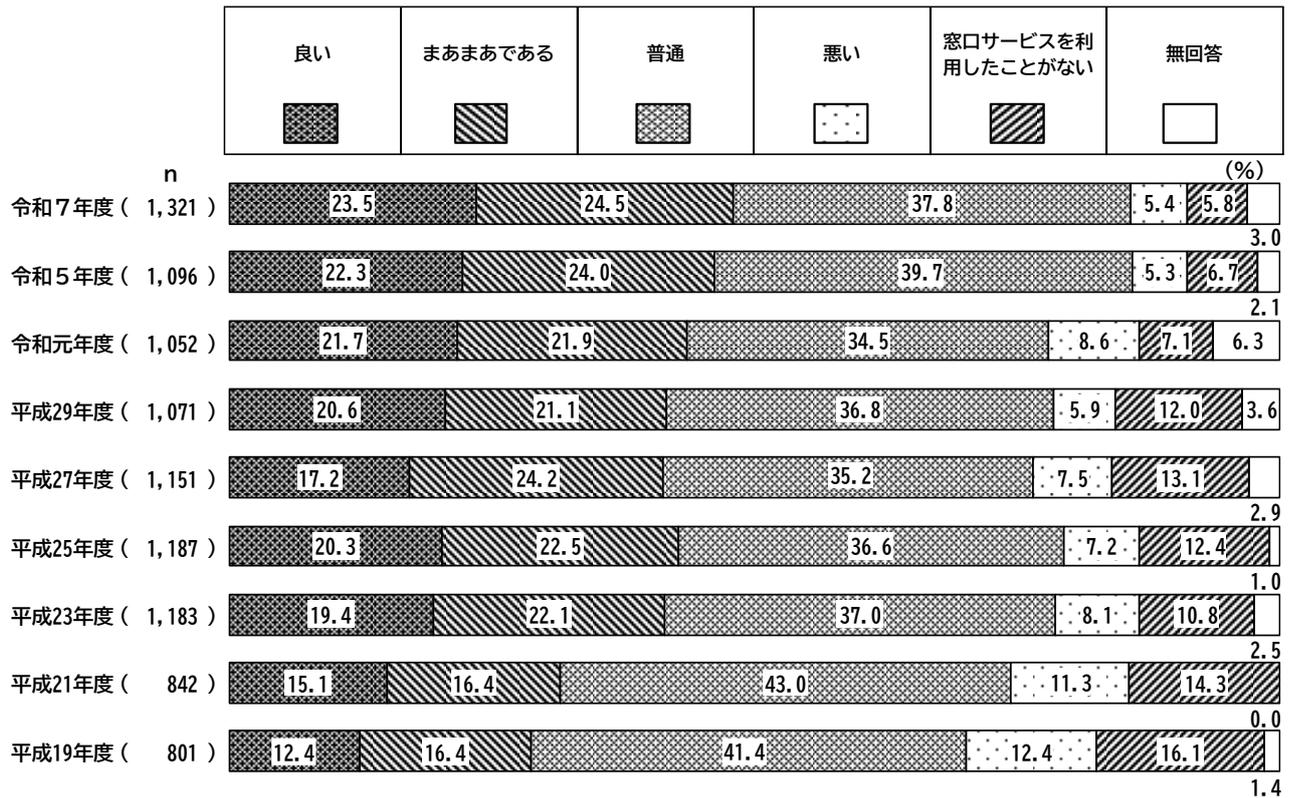


16 市役所

(1) 市役所の窓口サービスについての評価

Q42 あなたは、市役所の窓口サービスについて、どう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(n=1,321)

図16-1-1 市役所の窓口サービスについての評価（全体、過年度比較）

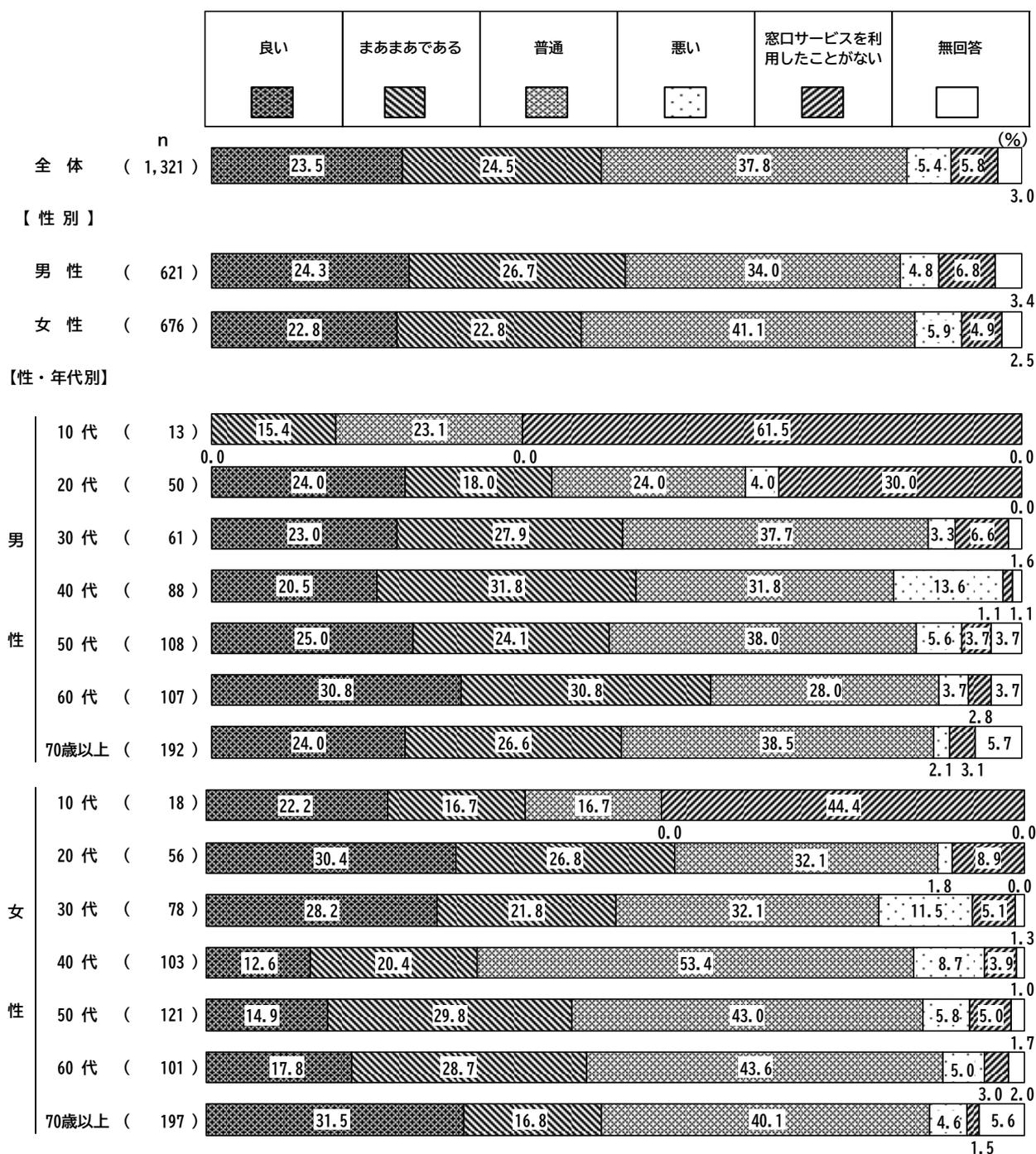


※「窓口サービスを利用したことがない」は、平成29年度調査までは「わからない」となっていた。

市役所の窓口サービスについて聞いたところ、「普通」(37.8%)が4割近くで最も高く、次いで「まあまあである」(24.5%)、「良い」(23.5%)、「窓口サービスを利用したことがない」(5.8%)などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「良い」は1.2ポイント増加している。(図16-1-1)

図16-1-2 市役所の窓口サービスについての評価（性・年代別）



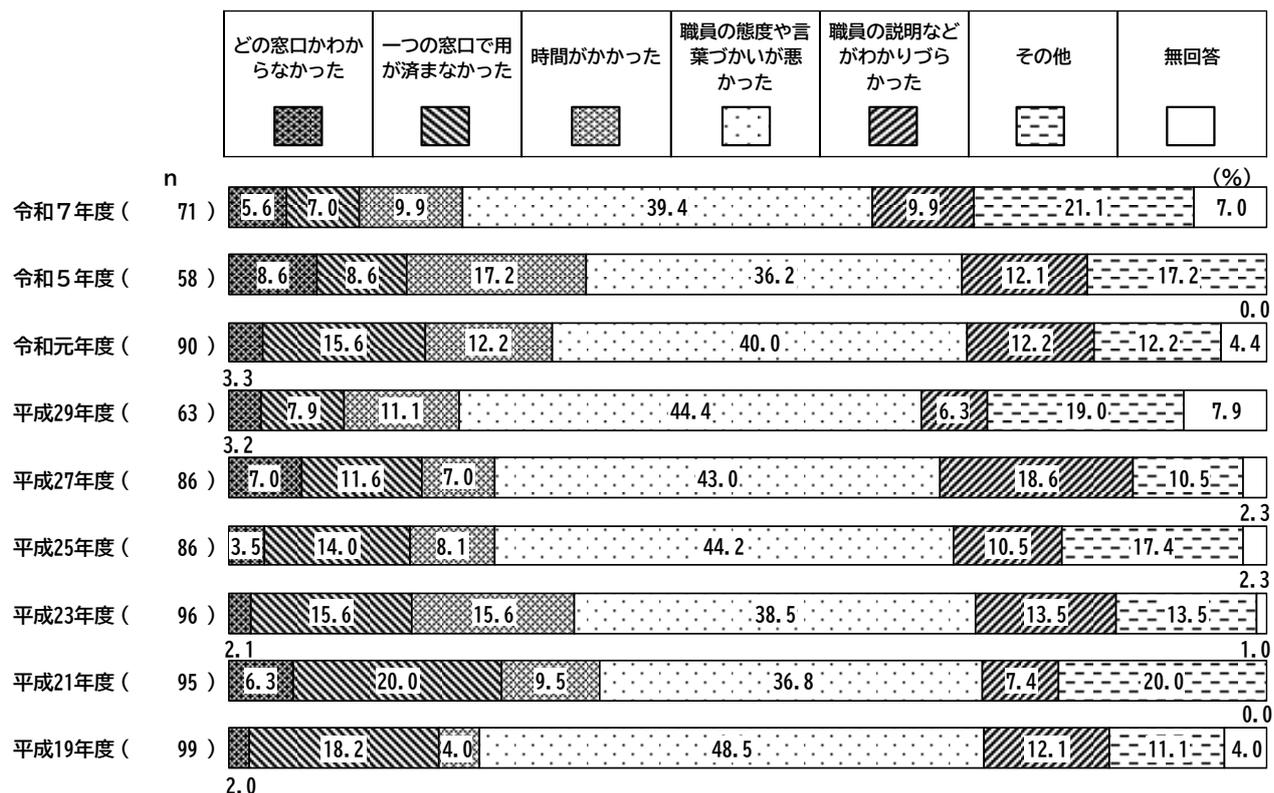
性別にみると、「普通」は女性（41.1%）が男性（34.0%）より7.1ポイント高くなっている。一方、「まあまあである」は男性（26.7%）が女性（22.8%）より3.9ポイント高くなっている。性・年代別にみると、「良い」は女性70歳以上（31.5%）で3割以上となっている。

（図16-1-2）

(2) 窓口サービスが悪いと感じた理由

(Q42で「4 悪い」とお答えの方に)  
 Q43 どのような理由からそう思われましたか。次の中から1つだけ選んでください。  
(n=71)

図16-2-1 窓口サービスが悪いと感じた理由（全体、過年度比較）



※「一つの窓口で用が済まなかった」は、平成25年度調査までは「一つの窓口で用が済まず面倒だった」となっていた。

市役所の窓口サービスが「悪い」と回答した人（71人）に、その理由を聞いたところ、「職員の態度や言葉づかいが悪かった」（39.4%）が約4割で最も高く、次いで「時間がかかった」、（9.9%）、「職員の説明などがわかりづらかった」（9.9%）、「一つの窓口で用が済まなかった」（7.0%）などの順となっている。

令和5年度調査と比較すると、「職員の態度や言葉づかいが悪かった」は3.2ポイント増加している。一方、「時間がかかった」は7.3ポイント、「職員の説明などがわかりづらかった」は2.2ポイント、それぞれ減少している。（図16-2-1）



# 昭島市 市民意識調査 報告書

令和8年1月発行

調査主体 昭島市企画部広報課

〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号

電話 042-544-5111（代表）

調査実施 株式会社都市計画21

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目6番10号

電話 03-5623-6371（代表）